



What's New in Mastercam 2026

2025 7月



What's New in Mastercam 2026

利用規約

本書の使用はMastercamのエンド ユーザー使用許諾契約書の対象となります。Mastercamエンドユーザー使用許諾契約書はここから確認できます。

<https://www.mastercam.com/privacy/>

最新の情報をご確認ください！

このドキュメント発行後に、情報が変更または追加されている可能性があります。ドキュメントの現在のバージョンについては myMastercam.com から入手することができます。What's New と リリースノート のテーブルは、myMastercam.com から入手可能で、Mastercam の機能あるいは強化機能、バグ修正に関する最新情報が確認できます。

目次

目次	3
はじめに	5
リリースハイライト	5
Mastercam リソース	5
Mill加工の強化	7
ツールパス マネージャから マシン グループ 設定にアクセス	7
再設計された ホームポジション / 参照点 ページ	8
2D ツールパス ツールパスの強化	9
3D ツールパス ツールパスの強化	12
穴加工 ツールパスの強化	13
多軸 ツールパスの強化	15
ツーリングの強化	19
旋削の強化	29
Latheドリルの視覚的な平面表示	29
PrimeTurning™の強化	30
旋削加工 ツールパスにおけるパラメタの保存と読み込みのサポート	35
ジョブ設定 の改善	36
パーツハンドリング オペレーションの改善	38
Mill-Turnで利用可能なサーフェスとワイヤフレームのツールパス	40
ツーリングの強化	42
Design の強化	53
メッシュ要素間の偏差の解析	53
ロフトサーフェスの強化	53
ソリッド穴の強化	57
ソリッドボディ、エッジ、フェースの選択	59
CAD ファイル サポート の更新	60
シミュレーションの機能強化	61
シミュレーション速度の微調整	61

現在のオペレーションにフォーカス	61
Mastercam シミュレーターに反射効果が追加	62
システム強化	65
再設計されたレイヤーマネージャ	65
再設計された平面マネージャ	67
オーバーレイ制御による平面表示の制御	69
オートカーソルのプレビュー表示を制御する	70
アクセスできない機能を無効にする	70
新しいフリーハンド選択	71
CONTENTファイルにコンフィグを含める	72
デフォルトの平面ワークオフセットを設定	72
ジオメトリ選択検証	73
マシンシステムの強化	77
マシン エクスプローラから外部ファイルへのリンク	77
Code Expertの Mastercam 固有のアイコン	78
全般的な強化	81
Mastercam Art 販売終了	81

はじめに

ようこそ What's New in Mastercam 2026へ！ Mastercam 2026 は、加工ジョブに速度と効率を提供することに焦点を当てた新機能を備えています。

リリースハイライト

時間がないですか？ 以下は、このリリースのハイライトです：

- ["深さ臨界での平面加工の制御" ページ12](#)
- ["テーパー付きらせん進入による効率の向上" ページ10](#)
- ["保護領域 動作の優先順位付け" ページ13](#)
- ["ソリッド穴の中空サポート" ページ14](#)
- ["ロフトサーフェスの強化" ページ53](#)
- ["Lathe GTC 工具データのインポート" ページ42](#)
- ["マシンエクスプローラから外部ファイルへのリンク" ページ77](#)
- ["旋削加工ツールパスにおけるパラメタの保存と読み込みのサポート" ページ35](#)
- ["Mill-Turnで利用可能なサーフェスとワイヤフレームのツールパス" ページ40](#)
- ["PrimeTurning™の強化" ページ30](#)
- ["工具とホルダを作成するための新しいインターフェース" ページ20](#)
- ["再設計された平面マネージャ" ページ67](#)
- ["再設計されたレイヤーマネージャ" ページ65](#)
- ["ジオメトリ選択検証" ページ73](#)
- ["ツールパスマネージャからマシングループ設定にアクセス" ページ7](#)
- ["CAD ファイルサポートの更新" ページ60](#)

Mastercam リソース

Mastercam の知識を高めるために、以下のリソースをご利用ください：

- **Mastercam ドキュメント**-Mastercam インストール箇所の Documentation フォルダに多くの役立つドキュメントが Mastercam にインストールされています。
- **Mastercam ヘルプ**-Mastercam ヘルプにアクセスするには、Mastercam の「**ファイル**」タブから「**ヘルプ**」、「**コンテンツ**」を選択するか、キーボードの **[Alt+H]** を押してアクセスします。
- **Mastercam チャンネルパートナー**-Mastercam チャンネルパートナーは、Mastercam に関するほとんどの質問にお答えします。
- **技術サポート**-株式会社 ゼネテックのサポートセンター(050-5491-3983/ support@genetec.co.jp) は、月曜日から金曜日 (祝日を除く)、午前9時から午後18時00分まで対応しております。
- **Mastercam チュートリアル**-ユーザーが Mastercam の基本的な機能に慣れ親しんでいただけるよう、チュートリアルシリーズを提供しています。弊社のウェブサイト [にアクセスしていただくか](#)、Mastercam の「**ファイル**」タブから「**ヘルプ**」、「**チュートリアル**」を選択し、最新の出版物をご覧ください。

- *myMastercam*ラーニングハブ- Teach Me記事やShow Meビデオなど、重要なコンセプトや高度なトピックを探求する追加学習リソースを提供しています。 my.mastercam.com/hubs/learning/をご覧ください。
- *Mastercam University*-Mastercam Universityは、手頃な価格のオンライン学習プラットフォームで、24時間いつでもMastercamのトレーニング教材にアクセスできます。Mastercam認定資格取得の準備のため、ご自身のペースでスキルを習得できるよう、多くのビデオをご活用ください。Mastercam Universityの詳細については、 university.mastercam.com/をご覧ください。 training@mastercam.comまでお問い合わせください。
- オンラインコミュニティ- www.mastercam.comでは豊富な情報を入手できます。
 - Facebook(www.facebook.com/Mastercam)、X([X.com/Mastercam](https://x.com/Mastercam))、Instagram (<https://www.instagram.com/mastercam/>) で最新の技術情報やMastercam ニュースをフォローしてください。
 - Mastercam の活動についてはYoutube(www.youtube.com/user/MastercamCadCam) をご覧ください。
 - Mastercamの詳細、求人の検索と応募、Mastercamを使用している人々とのつながりについては、LinkedIn (www.linkedin.com/company/cnc-software/) をご覧ください。
 - 登録ユーザーは、Mastercam Webフォーラムforum.mastercam.comで情報を検索したり、質問をしたり、Mastercamナレッジベース(英語 kb.mastercam.com) をご利用いただけます。

お問い合わせ

この文書や他のMastercam 文書に関する質問は、 techdocs@mastercam.comまで電子メールでコンテンツ開発部に連絡してください。

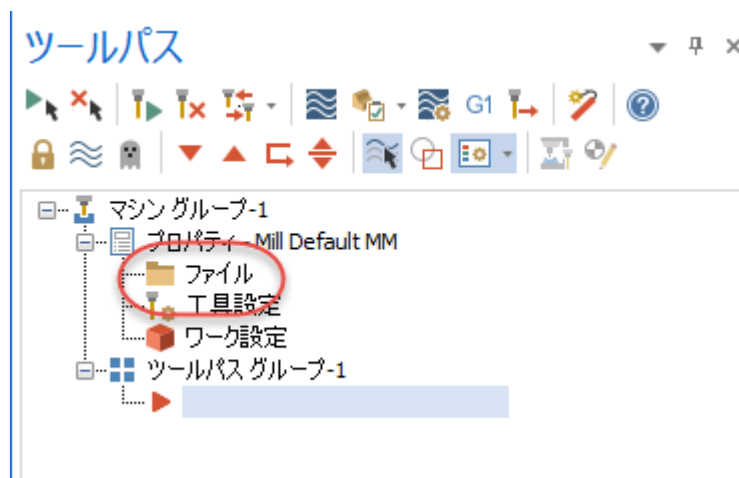
Mill加工の強化

以下は、Mill製品の主な強化点です。これらには、2D、3D、多軸ツールパスの改良が含まれます。

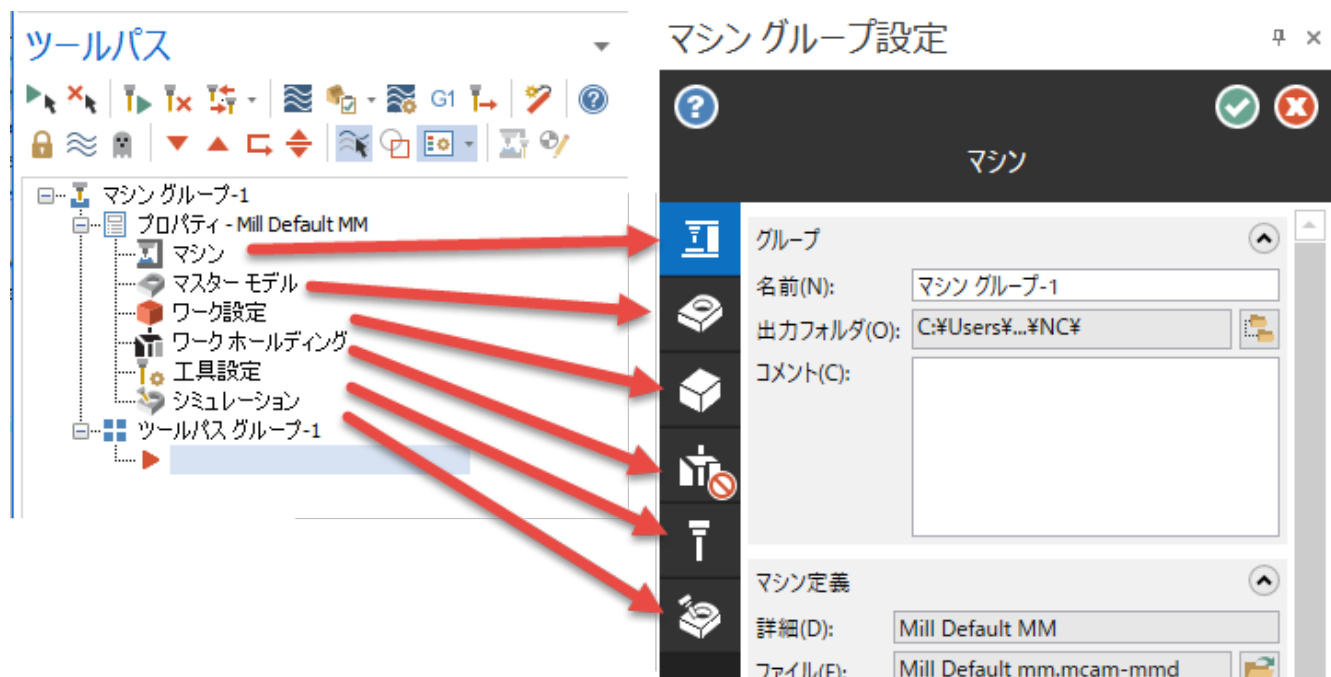
メモ:
特に記載のない限り、このセクションに記載されている新機能と特徴は、MillライセンスとRouterライセンスの両方に適用されます。

ツールパス マネージャから マシン グループ 設定 にアクセス

以前のバージョンの Mastercam では、ツールパス マネージャの プロパティ リストには、ファイル、工具設定、ワーク設定のみが含まれていました。マシングループ設定 ページを表示するには、次の画像に示す ファイル エントリをクリックしていました。



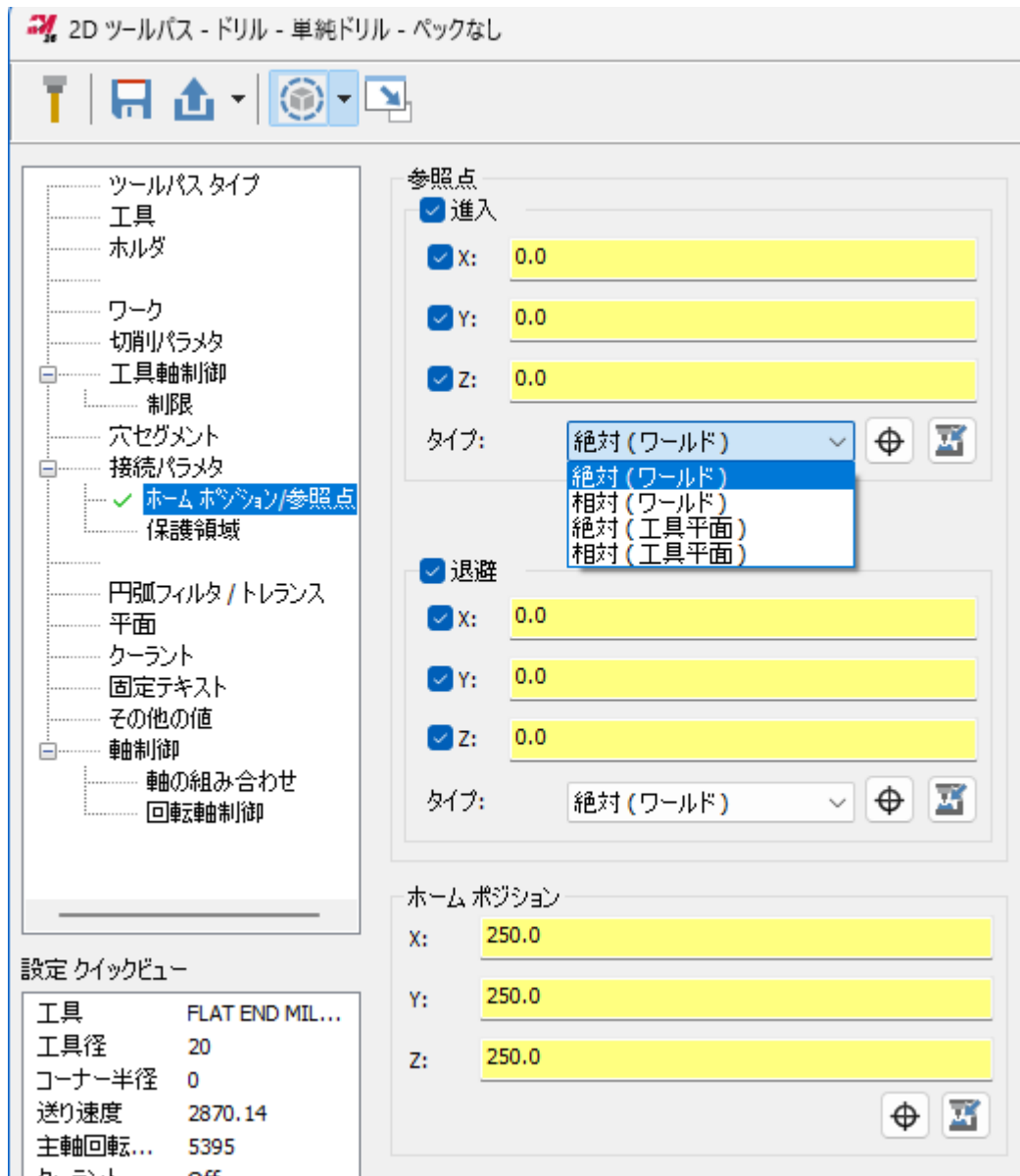
より簡単にアクセスできるように、個々のマシングループ設定 パネル ページはツールパス マネージャの プロパティ リストに昇格しました。ツリーでアイコンを選択すると、該当するパネルに直接移動します。



再設計されたホームポジション / 参照点 ページ

ホームポジション / 参照点 ページがMastercam 2026用に再設計されました。更新されたレイアウトは、最近更新された他のダイアログボックスのデザインテーマと一致しています。新しいページデザインと工具平面オプションでは、ワールド座標の工具平面を参照する相対値または絶対値のいずれかを基準として進入点と退避点を設定できます。

これらの更新は、すべての2D、3D、多軸、および穴加工 ツールパスで確認できます。ツールパスパラメタのダイアログボックスで接続パラメタを開き ホームポジション / 参照点 サブページを見つけてください。



以下は新しいタイプオプションのリストです：

- **絶対(ワールド)** :従来の絶対 機能を模倣していますが、ワールド座標からの相対的な位置が表示されます。
- **絶対(工具平面)** :工具平面座標でデータを入力できます。座標は工具平面の変更に追従します。
- **相対(ワールド)** :従来の相対 機能を模倣していますが、ワールド座標からの相対的な位置が表示されます。
- **相対(工具平面)** :オペレーションの工具平面からの相対座標を入力できます。座標は工具平面の変更に追従します。

2D ツールパス ツールパスの強化

2D Mill加工ツールパス機能の主な強化点は以下の通りです。

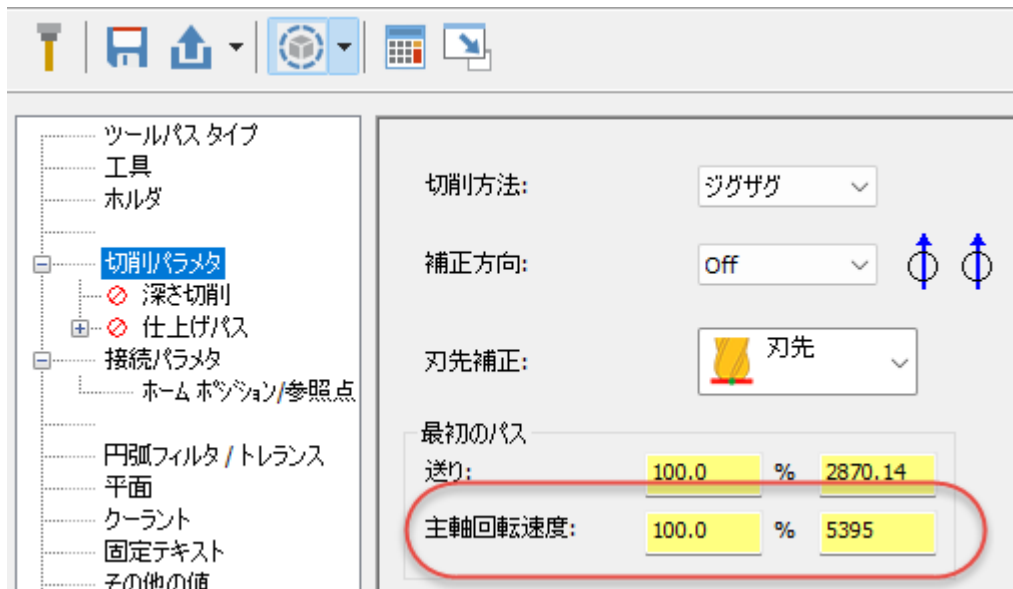
エリア Mill と正面切削ツールパスのダイアログボックスのデザインが変更されました。

エリア Mill および 正面切削 ツールパスの **切削パラメタ** および **深さ切削** ページが、最近の設計変更に合わせて更新されました。これらの変更は主に外観的なものですが、Mastercamの各エリアをリフレッシュし、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。このアップデートは、より合理的なワークフローと一貫性のあるユーザーエクスペリエンスを提供します。

ブレード加工 とダイナミック Mill ツールパスの主軸回転速度のカスタマイズ

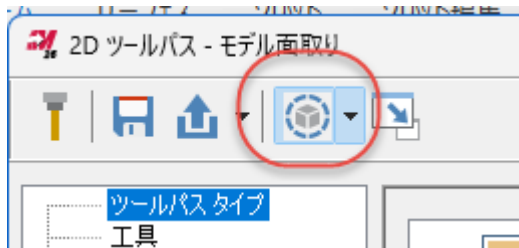
ブレード Mill とダイナミック加工 ツールパスの **最初のパス** コントロールセットに、新しい **主軸回転数** フィールドが追加されました。以前のバージョンでは、最初のパスでカスタム送り速度を入力することができましたが、今回の機能強化では、それに付随するカスタム主軸速度も指定できるようになりました。新しい **主軸回転数** オプションは、切りくずの負荷と切削条件をよりコントロールし、工具寿命を向上させながら、安全で効率的な動作を保証します。

これらのツールパスの **切削パラメタ** ページで、新しい **主軸回転速度** 機能を見つけてください。

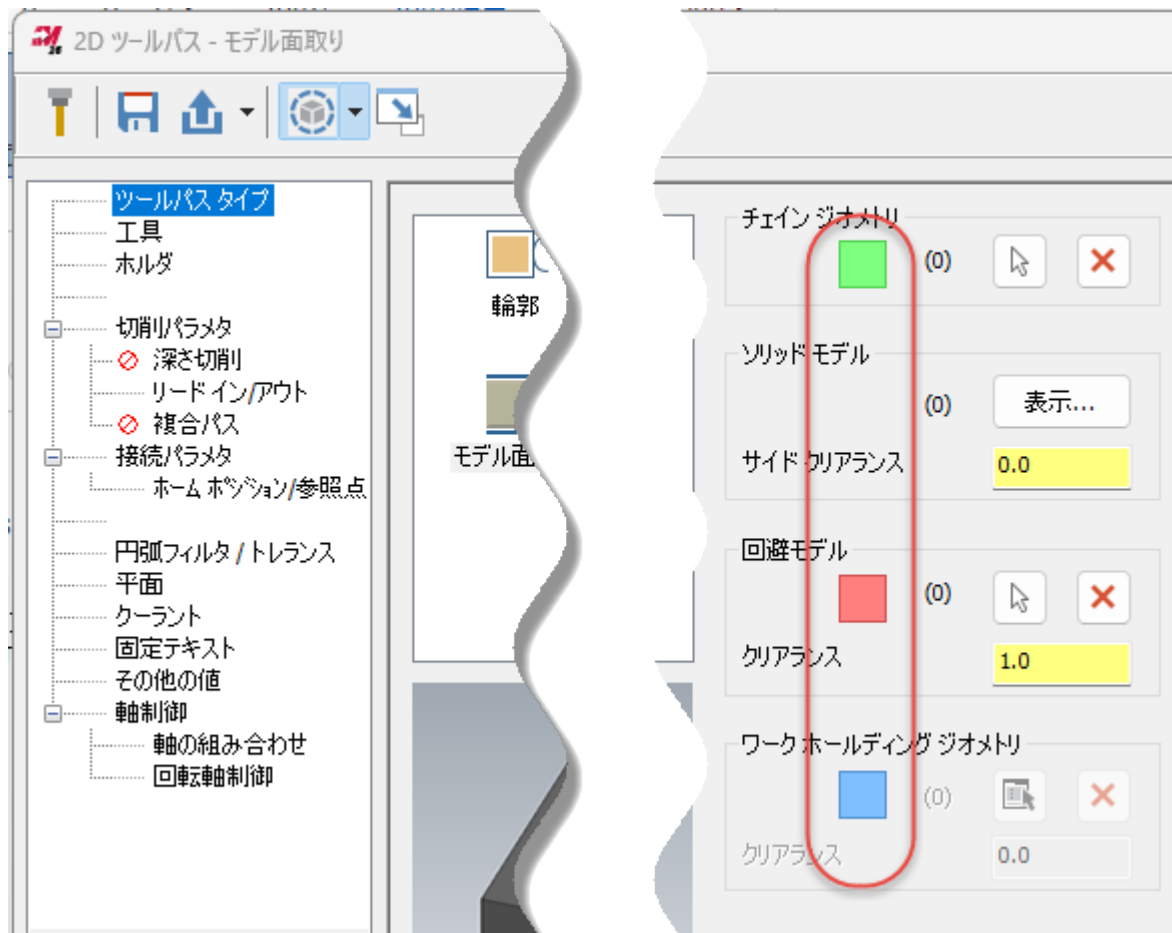


2D Mill加工の色選択

2D Mill加工で色選択オプションが追加されました。2D Tツールパス パラメタ ダイアログ ボックスで色選択を使用し、**グラフィカル要素を表示** ボタンをオンにして、ジオメトリやその他の要素を表示または非表示にします。



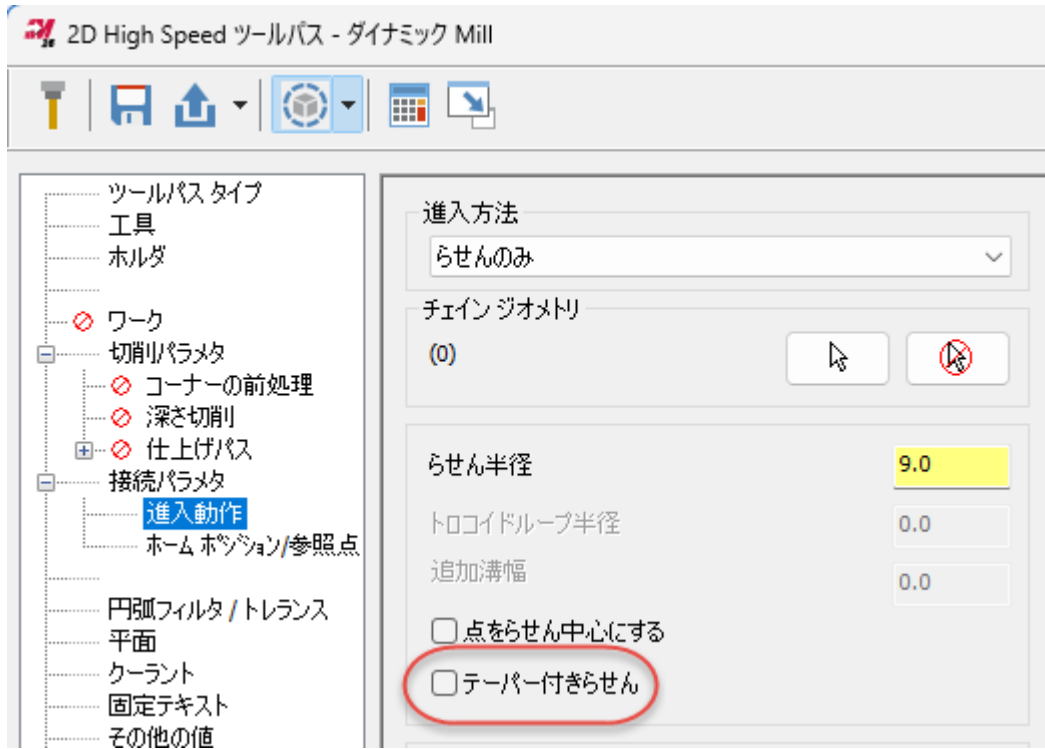
2D Mill加工 ツールパスパラメタの **ツールパスタイプ** ページで、新しい色選択を見つけてください。**グラフィカル要素を表示** 機能の詳細については、Mastercam ヘルプの "グラフィカル要素を表示機能" のトピックを参照してください。



テーパー付きらせん進入による効率の向上

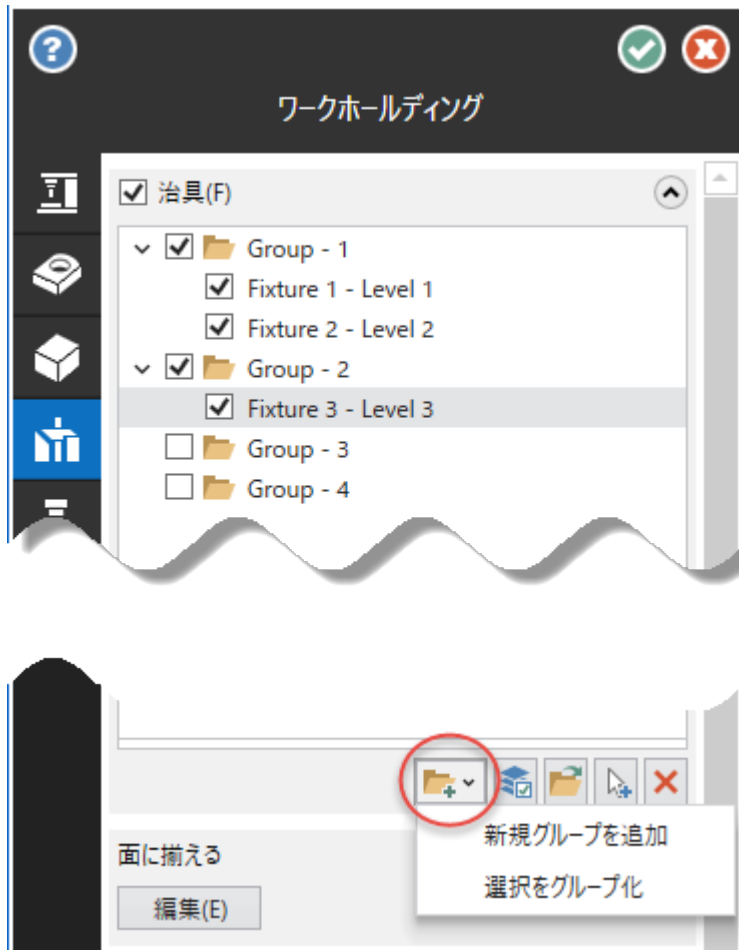
らせんのみ 進入方法に新しいチェックボックスが追加され、テーパー付きらせんを作ることができるようになりました。テーパー付きらせんをポケットへの進入に用いることで、切りくずの排出が改善され、クーラント/エアーのアクセスが向上し、一般的に円筒のらせんよりも効率的です。テーパー付きらせんは工具寿命を向上させ、より効率的なツールパス作成を可能にします。テーパー、工具径の95%をらせんの上部に、25%をらせんの下部に使用することで定義されます。

新しい**テーパー付きらせん**機能は、ダイナミック Mill および 最適荒取りツールパスダイアログの**進入動作**ページにあります：



ワークホールディンググループの作成と管理

Mastercam 2026 のワークホールディンググループの作成と管理を改善し、ワークホールディング構成要素をよりよく整理できるようになりました。新しいドロップダウンリストにより、より有能で簡単なグループ分けが可能になりました。このドロップダウンにより、名前の付いたグループとサブグループを作成し、選択したワークホールディング構成要素をこれらのグループに追加することができます。また、空のグループを作成して、ワークホールディングのグループ構造を整理しながら使用することもできます。必要であれば、グループを空にしておくこともできます。



3D ツールパス ツールパスの強化

多軸ツールパス機能の主な強化点は以下の通りです。

深さ臨界での平面加工の制御

深さ臨界 を使用して、同時3軸加工を行いながら、重要な平坦部を加工します。この新機能には2つのオプションがあります：

- **平面を含める** :Mastercamによる平坦部の自動検出と加工が可能になります。
- **手動を含める** :選択ボタンと選択解除ボタンを使用して、加工する平坦部を定義できます。

ツールパスを作成する際、**深さ臨界** を使用すると、平坦部加工を制御できるため、深さ臨界で平坦部加工を追加する必要がなくなります。ダイナミック最適荒取りオペレーションの **深さ臨界** は、ツールパスのステップダウン動作でのみ有効であることに注意してください。

ダイナミック最適荒取りおよびエリア荒取りの **切削パラメタ** ページで **深さ臨界** を見つけてください。



穴加工ツールパスの強化

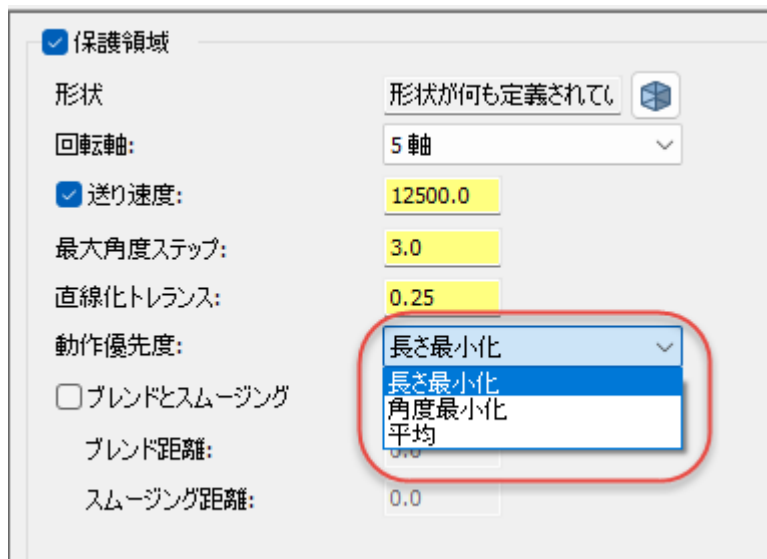
穴加工ツールパス機能の主な強化点は以下の通りです。

保護領域 動作の優先順位付け

以前は、メッシュベースの安全領域は常にサンプルスライスの最短経路を選択していました。しかし、このアプローチでは、角度の変化を考慮しない望ましくないパスが生じる可能性があります。これを解決するために、角度の変化が最も少ないパスを選ぶこともできるようになりました。多くのツールパスが保護領域を使用していますが、これらの変更は穴加工ツールパスのみに適用されます。

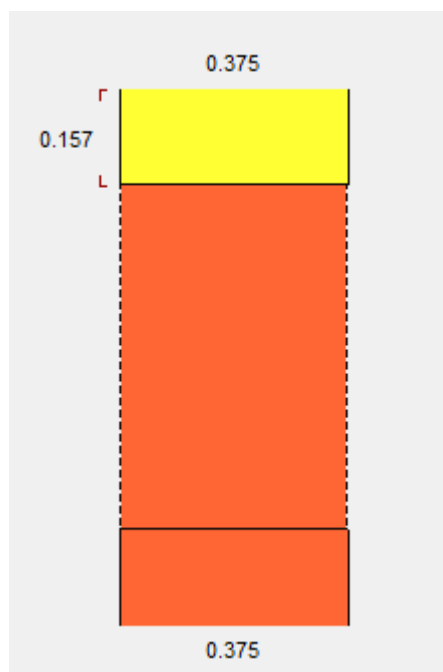
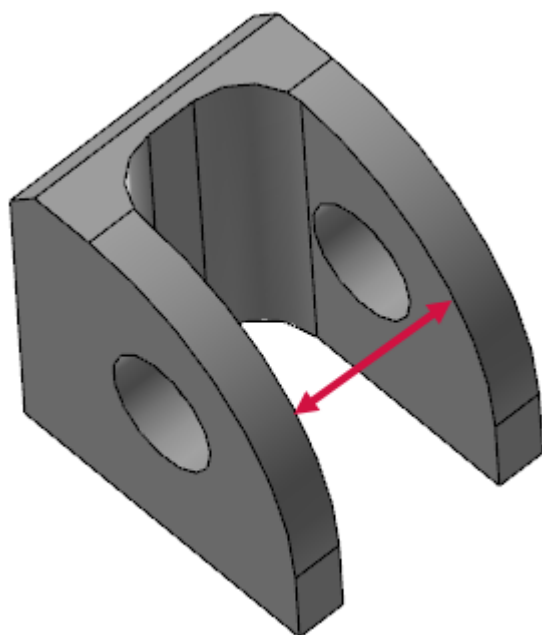
以下のパラメタは、保護領域の動きに優先順位をつける3つの方法を提供します：

- **角度最小化** : 角度の変化が最も少ないパスを生成します。
- **長さを最小可** : 点間の最短距離を持つパスを生成します。
- **平均** : 最短距離と最小角度変化の間にバランスの取れたパスを生成します。

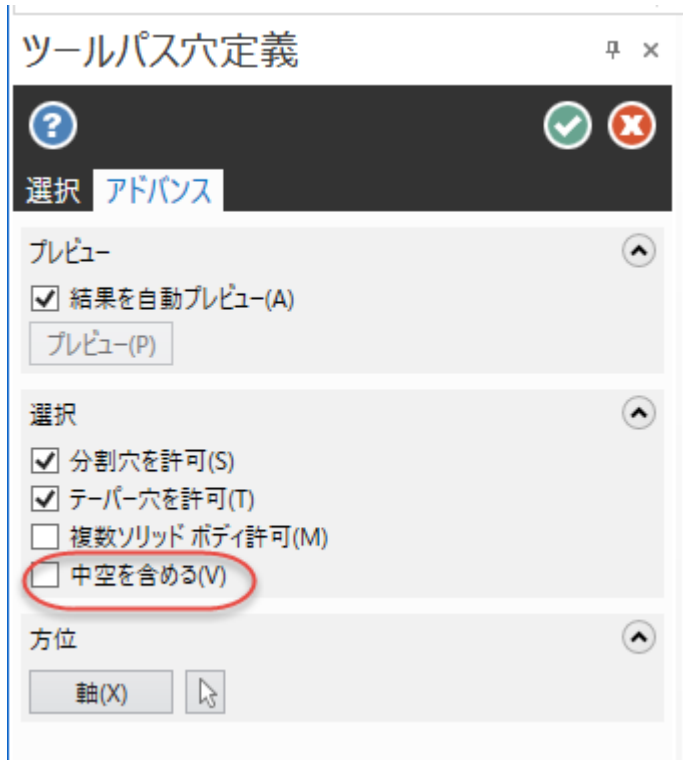


ソリッド穴の中空サポート

穴加工ツールパスの穴を作成するとき、新しい **中空を含める** チェックボックスは、穴セグメント間の中空の選択コントロールを提供します。その結果、穴の形状は、選択された穴と平行な穴セグメントに加え、穴セグメント間の中空を含み、1つの穴の形状を構成します。最初の画像の赤い矢印は、穴セグメント間の中空を示します。2つ目の画像は、ツールパスのパラメタダイアログボックスの **穴セグメント** ページで穴がどのように表示されるかを示しています。破線で囲まれた部分が中空です。



中空を含める チェックボックスがチェックされていない場合、間に中空がある同一線上の穴は個々の穴形状とみなされます。次の図は、**ツールパス穴定義** パネルの **中空を含める** オプションを示しています。



多軸ツールパスの強化

多軸ツールパス機能の主な強化点は以下の通りです。

バリ取りツールパスの非対称エッジ形状オプション

Mastercam 2026 多軸バリ取りツールパスに新しい非対称オプションを搭載しました。**非対称エッジ形状を許可**は、アンダーカットのフィーチャに到達するために、45度以外の角度でエッジを切削することができます。以下のツールパスと工具タイプ、および以下のマシンタイプに適用されます：

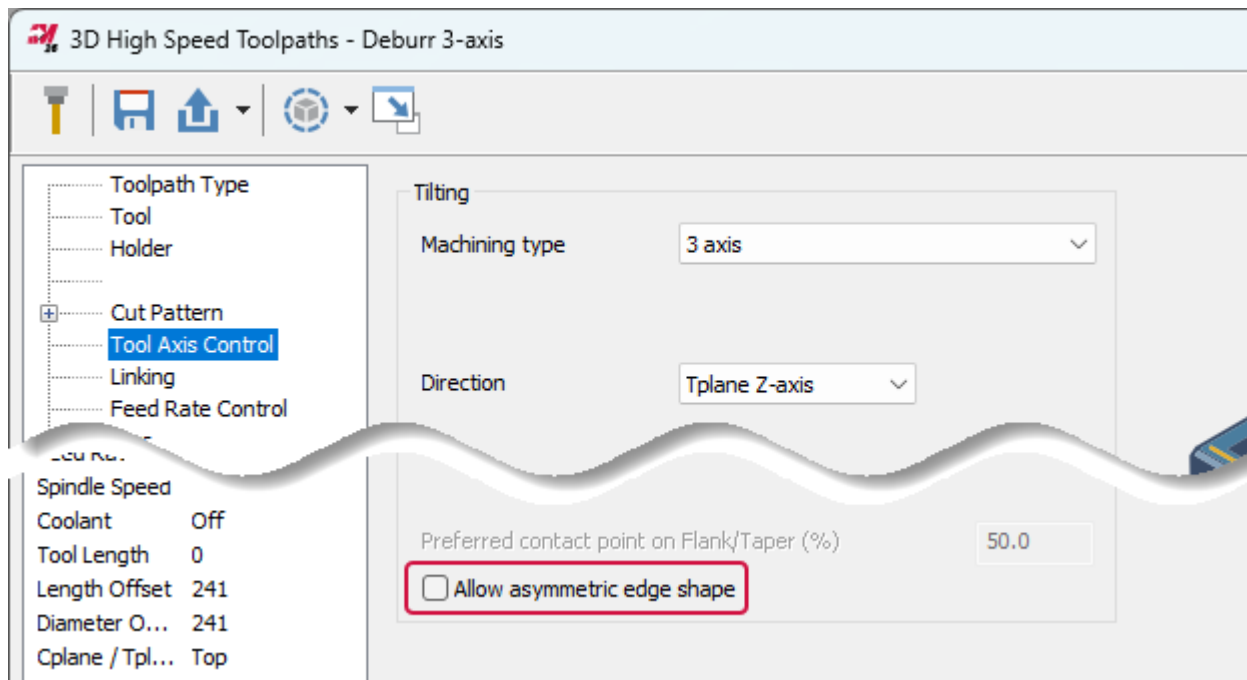
ツールパスと工具：

- バリ取り3軸
- バリ取り5軸
- すべての工具タイプ

マシン：

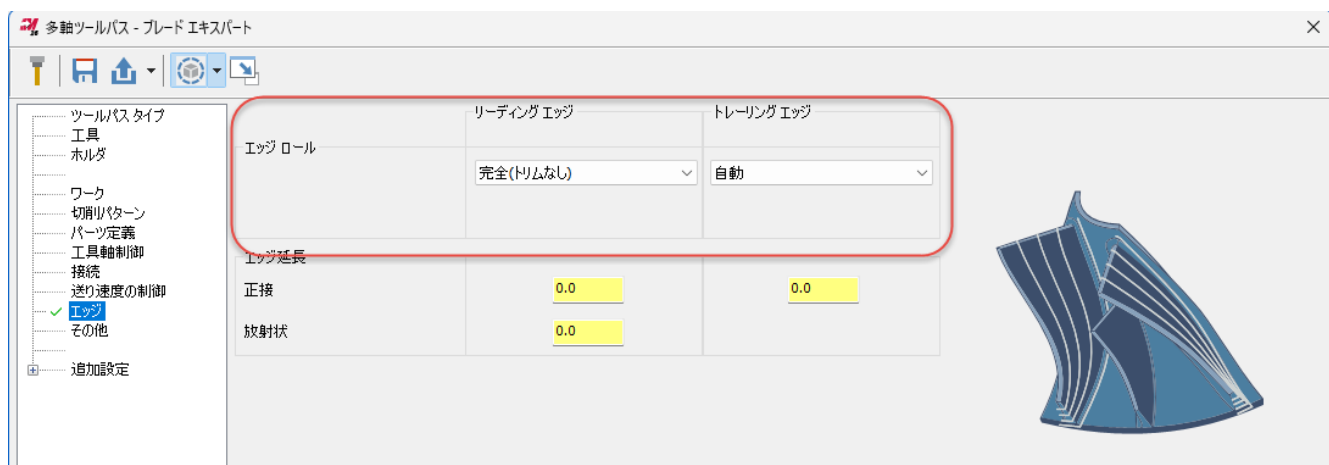
- 3軸
- 4+1軸
- 4軸
- 3+2軸

非対称を選択するには、ツールパスのダイアログボックスで**工具軸制御**ページを開き、**非対称エッジ形状を許可**を選択します。

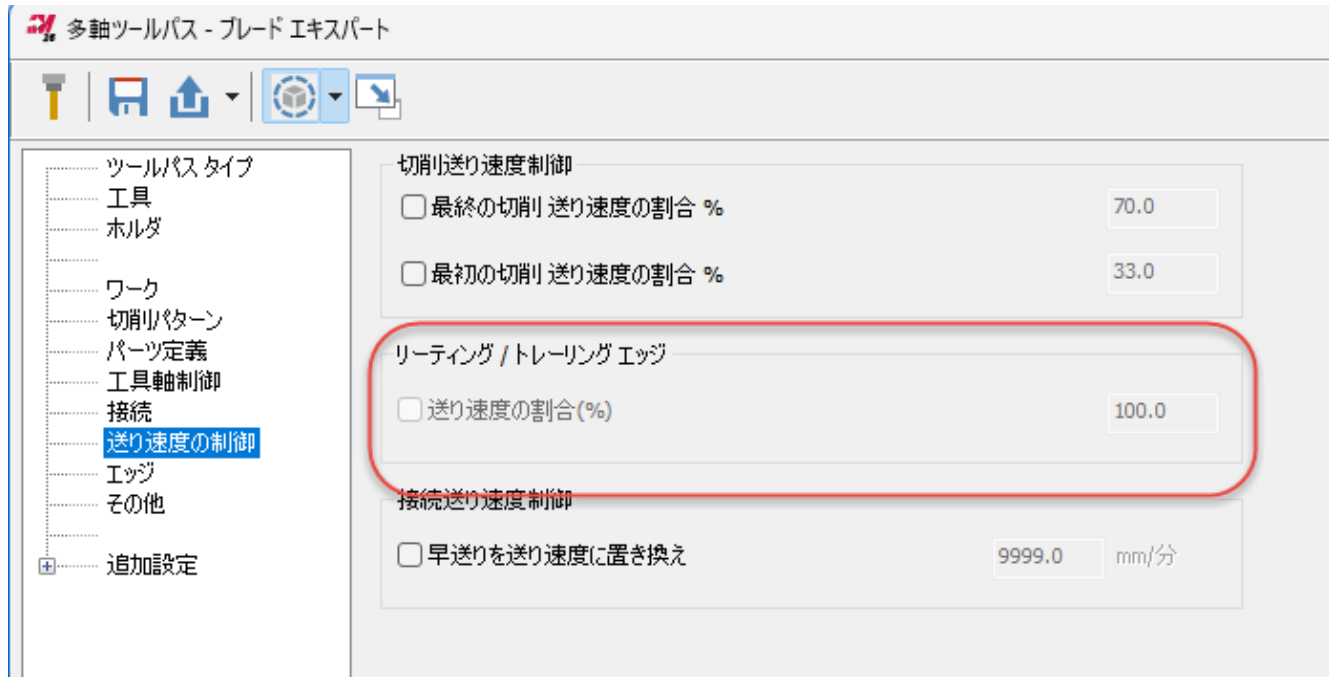


強化されたエッジ ロールコントロール

以前のバージョンの Mastercam では、選択したエッジロールの定義は、リーディングエッジとトレイリングエッジの両方に適用されていました。このリリースでは、ブレード エキスパート ツールパスのエッジロールが強化され、リーディングエッジとトレイリングエッジを個別に定義できるようになりました。進入と退避をコントロールすることで、よりスムーズな仕上げが可能になり、干渉が発生する可能性も回避できます。エッジロールのコントロールは、**ブレード エキスパート** ダイアログボックスの **エッジ** の下にあります。

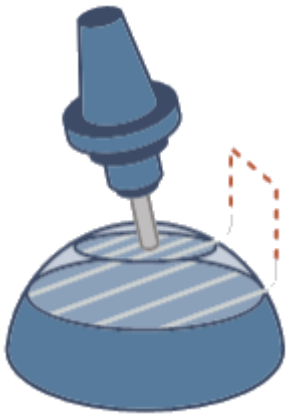


さらに、**ブレード エキスパート** の **送り速度の制御** ページで、リーディングエッジとトレイリングエッジに別々の送り速度を定義できるようになりました。

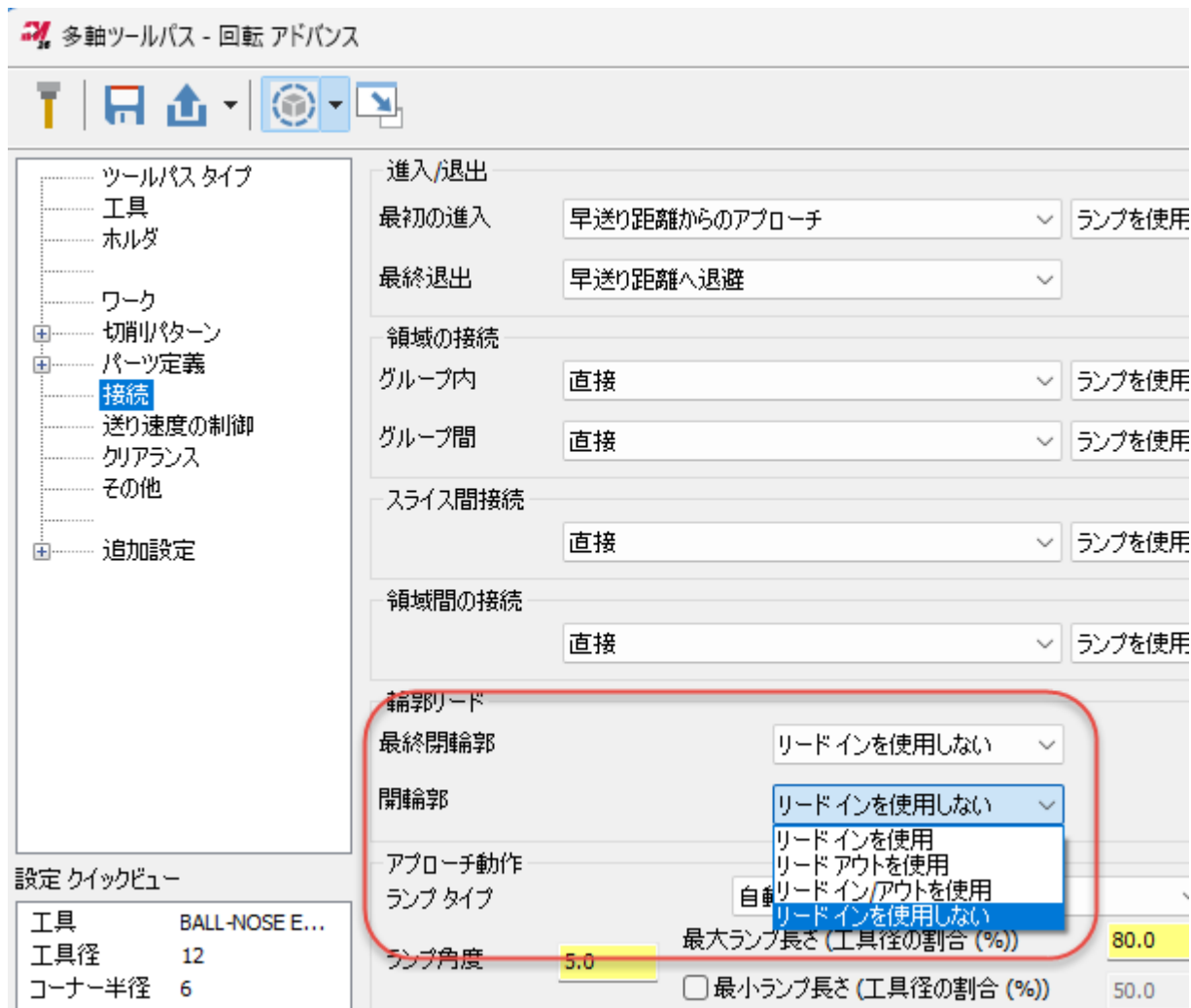


回転アドバンスの輪郭リードの強化

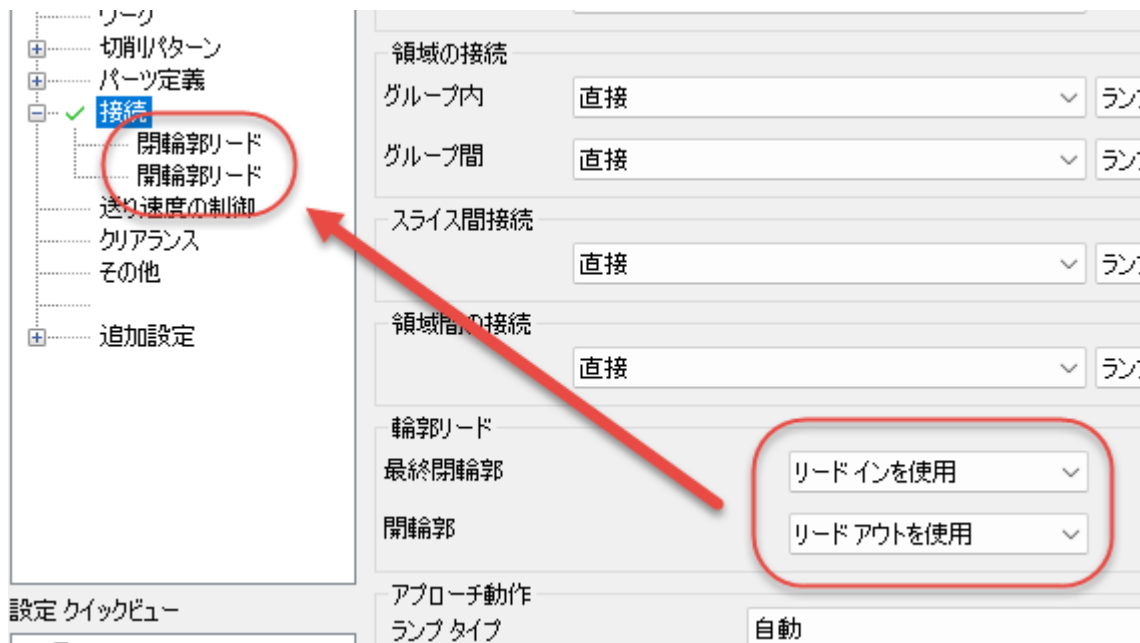
回転アドバンスツールパスを強化し、ツールパス内で輪郭間のリードイン/アウトを制御できるようになりました。以前は、スライス、領域、最終退出、最初の進入間でのみコントロールができていました。次の画像は、2つの輪郭間のリードイン/アウトを示しています。



ツールパスのパラメータダイアログボックスの **接続** ページに、**輪郭リード** という新しい機能グループが追加されました。(下図の通り) 追加された輪郭間のリードのオプションは、リードインを使用、リードアウトを使用しない、リードイン/アウトを使用、リードインを使用しないです。

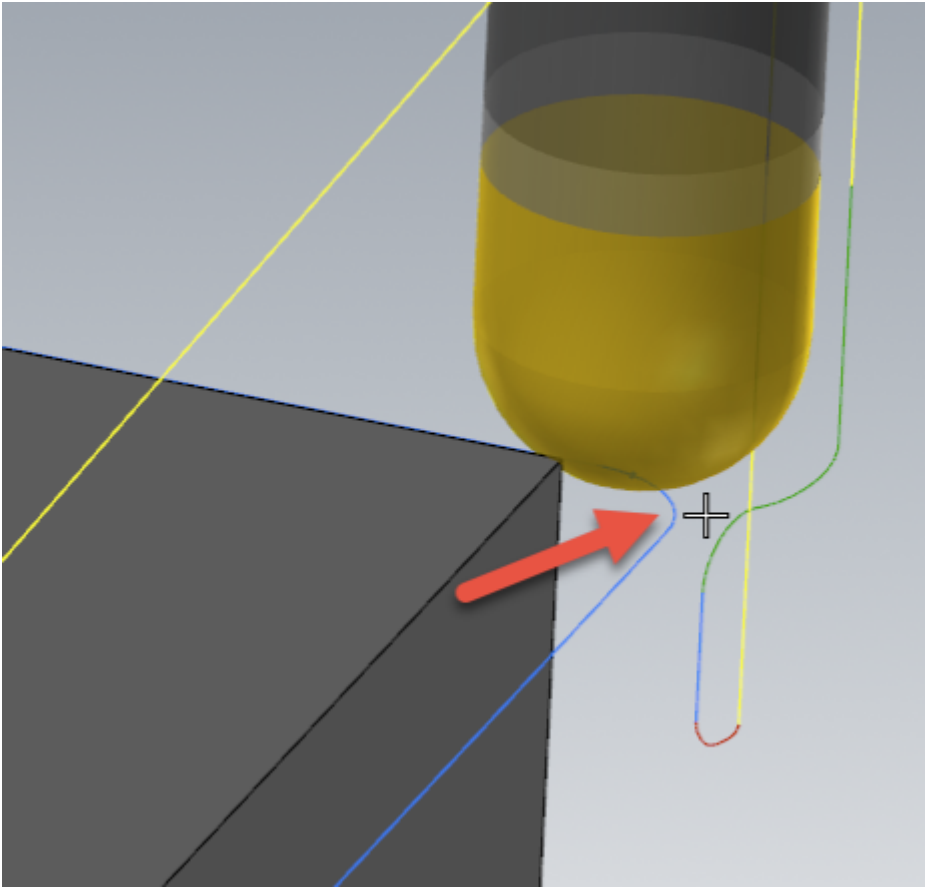


リードインを使用しない以外のオプションを選択すると、次の画像に示すように、プロパティダイアログ・ボックスの **接続** セクションに新しいページが表示されます。これらのページには、ツールパス輪郭間の工具の動きを細かく制御するためのオプションが含まれています。



バリ取りでコーナー円弧サポート

旧バージョンのMastercamで面取りツールを使用した場合、内角や外角の一部で工具が一定の切削を維持できませんでした。その代わりに、工具は退避し、新しいエッジに再進入していました。Mastercam 2026では、不要な退避をせずに工具がコーナー補間する接続動作が自動的に追加されます。

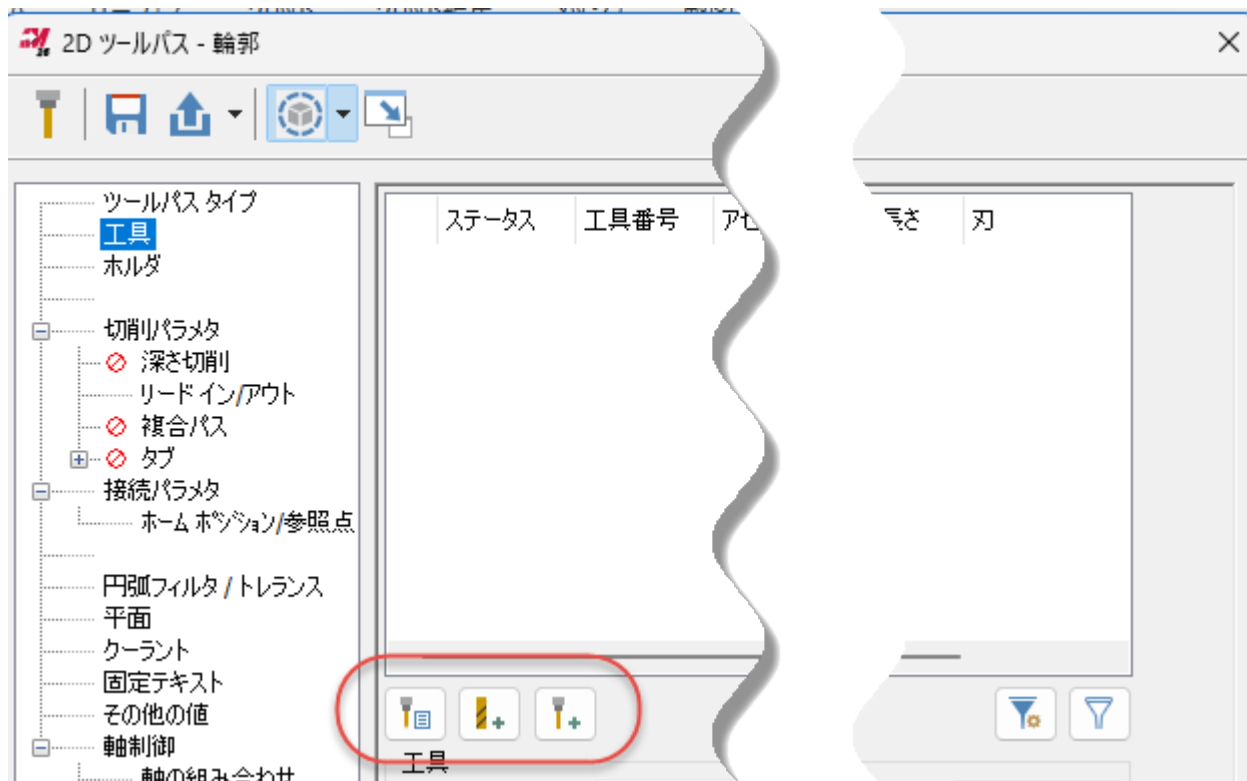


ツーリングの強化

以下は、工具や関連機能の主な強化点です。

新しい工具とアセンブリの作成

新規工具作成 および **新規工具アセンブリ作成** ボタンが、すべてのMill加工ツールパスの**工具** ページに追加されました。新しいボタンに対応するため、以下の画像のように、工具関連のコマンドはダイアログボックスの左側に、フィルタボタンは右側に表示されるようになりました。新しいボタンは、右クリックメニューにもあるコマンドを表しています。これらのボタンは、新しい工具や新しい工具アセンブリを作成するために必要なマウスクリックの回数を減らします。



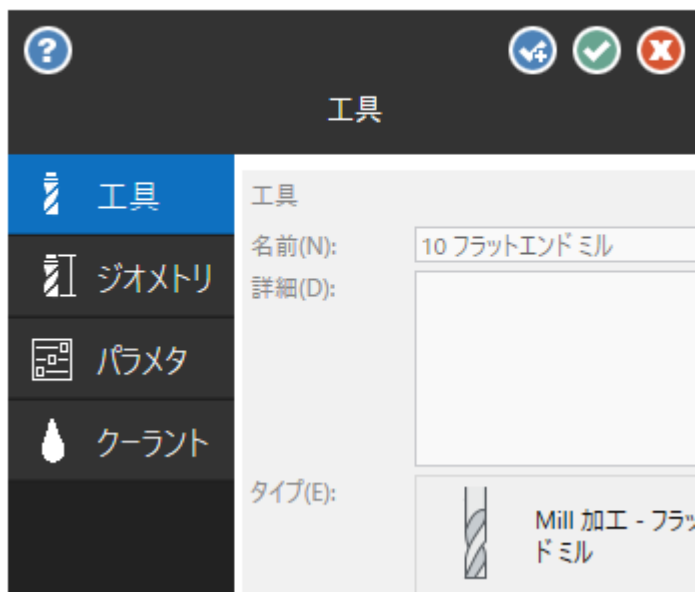
工具とホルダを作成するための新しいインターフェース

Mastercam 2026は、Mill工具とホルダを作成するために再設計されたインターフェースを備えています。古いウィザードスタイルのダイアログボックスは、Lathe 3D ツールデザイナーに似たモダンな機能パネルに置き換えられました。さらに、ワークフローを合理化する機能が追加されました。新しいインターフェースを使用して、MillとRouter用のあらゆる種類のツールを作成できます：

- 正確なシミュレーションのための構成要素モデルを備えた3D工具
- ソリッドモデルを必要としないパラメトリック定義によるシンプルな工具

[Mill 工具 デザイナー] は工具設定を4つのページに整理します。

Mill 工具 デザイナー



[工具] ページを使って、工具の関連情報を指示し、工具 [タイプ] を選択します。

Mill アセンブリデザイナー 🔍 ✕

工具アセンブリ > 工具 ✓ ✕






工具

名前(N): CoroMill® 745 face milling cutter

詳細(D): CoroMill® 745 face milling cutter

タイプ(E):  Mill 加工 - フェースミル ▼

工具番号(T): 1 ▲▼

長補正(O): 1 ▲▼

径補正(D): 1 ▲▼

ヘッド番号(B): 0 ▲▼

製造者(A): + ↶

製造者コード(F): 725-063C6-21M

等級(R): +

[ジオメトリ] ページのレイアウトは、選択した工具 **タイプ** によって決まります。ページ上部のコントロールを使用して、シミュレーションと干渉チェック用の工具を表すソリッドモデルを選択し、管理します。



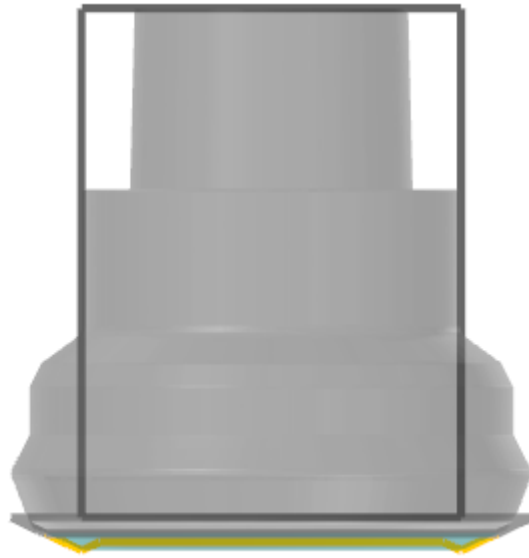
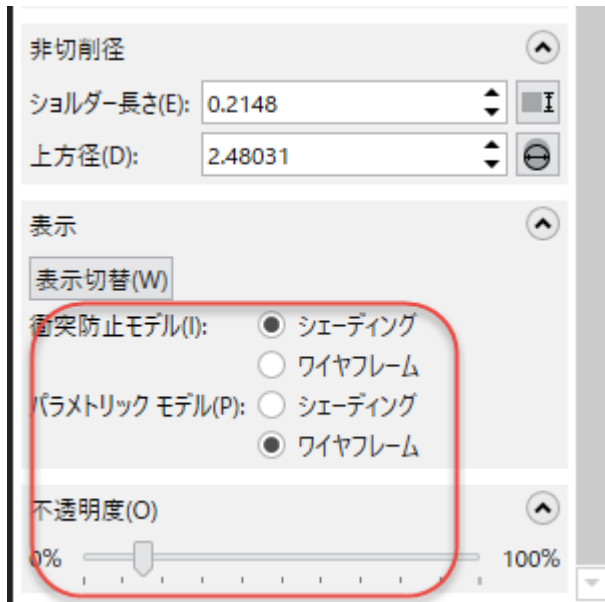
Mastercamは2つの異なるモデルの工具を保持しています：

- 衝突防止モデルは、インポートされたソリッドモデルに基づきます。Mastercamはこのモデルをシミュレーションと干渉チェックに使用します。
- パラメトリックモデルは、このパネルに示されているように、工具の寸法に基づきます。Mastercamはツールパスを計算する際にこのモデルを使用します。

ソリッドモデルをインポートすると、Mastercamはモデルに基づいて自動的に寸法を記入します。これにより、2つのモデルが可能な限り近くなります。しかし、ツールパスの結果を改善するために、必要に応じて寸法を編集したり微調整したりすることができます。[モデル偏差] フィールドは、2つの間の最大偏差を表示します。

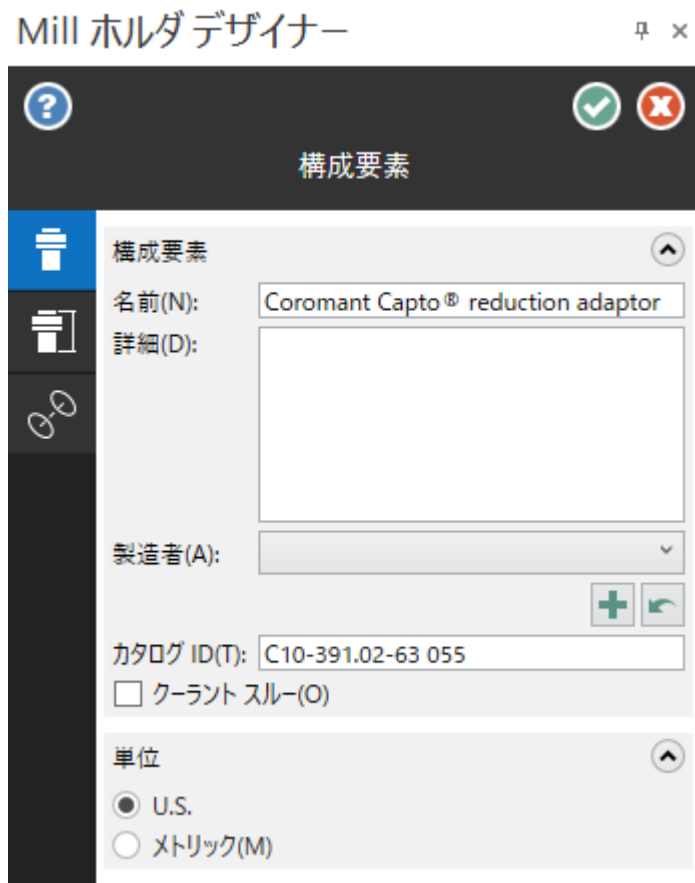
ソリッドモデルをインポートする必要はありません。この場合、寸法を手動で入力すると、Mastercamがその寸法からパラメトリックモデルを作成します。シミュレーションと干渉チェックのために、Mastercamは回転プロファイルを使用します。

新しいインターフェースは、2つのモデルを視覚的に比較しやすくしています。各モデルをワイヤフレームとして表示するか、シェーディングされたソリッドとして表示するかを選択できます。**不透明度** スライダーを使って半透明度を調整し、互いが重なってはつきり見えるようにします。

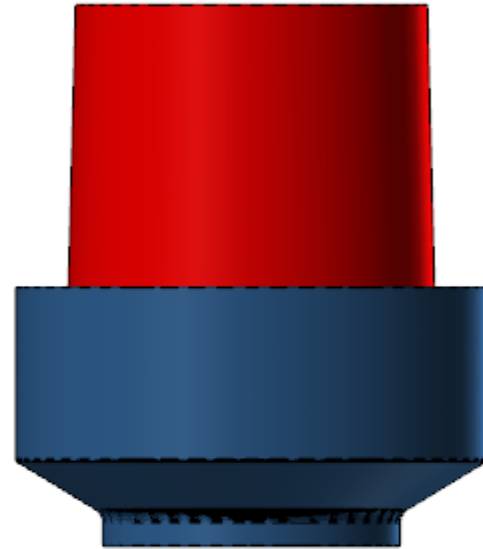
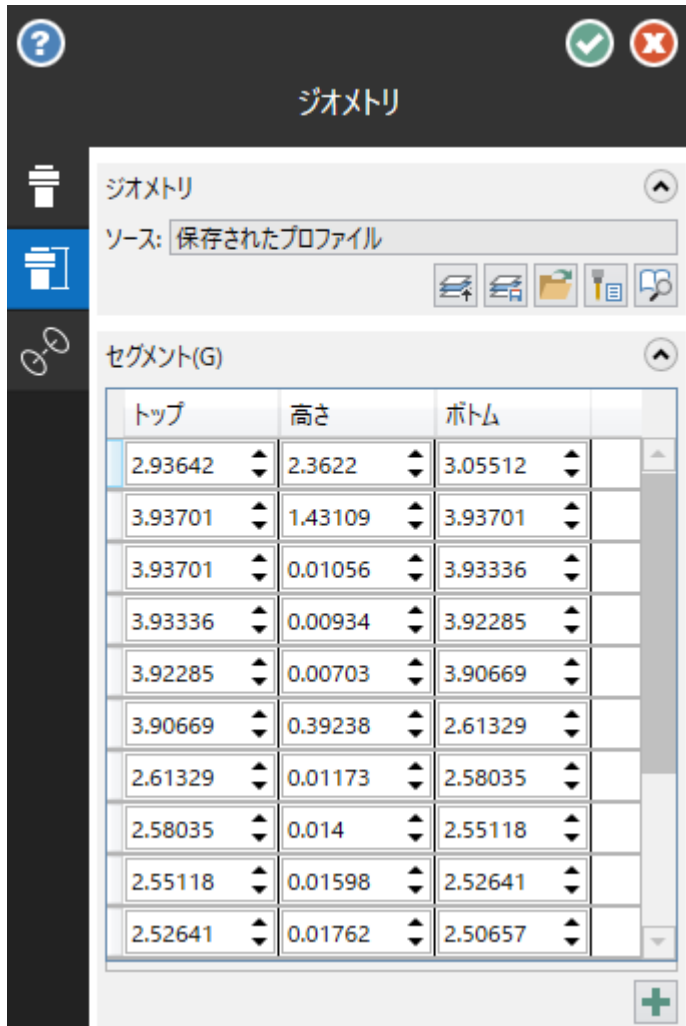


パラメタ および **クーラント** ページを使用して、以前のバージョンと同様のデフォルトの送り、速度、およびクーラントオプションを設定します。

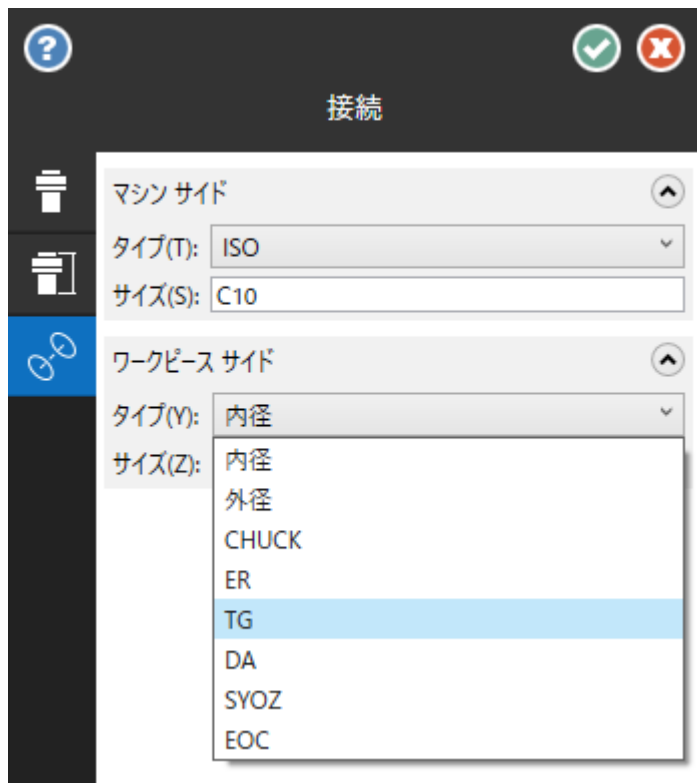
新しい Mill ホルダ デザイナー は、工具ホルダの設計と管理のための同様のワークフローを提供します。



ジオメトリコントロールを使用して、**工具デザイナー** パネルと同様にソリッド 構成要素 モデルを選択および管理します。センタープロファイルは、グリッドで構成された断面として表されます。必要に応じて各断面の寸法を編集するか、グリッドの最初の列を右クリックしてその他のオプションを表示します。

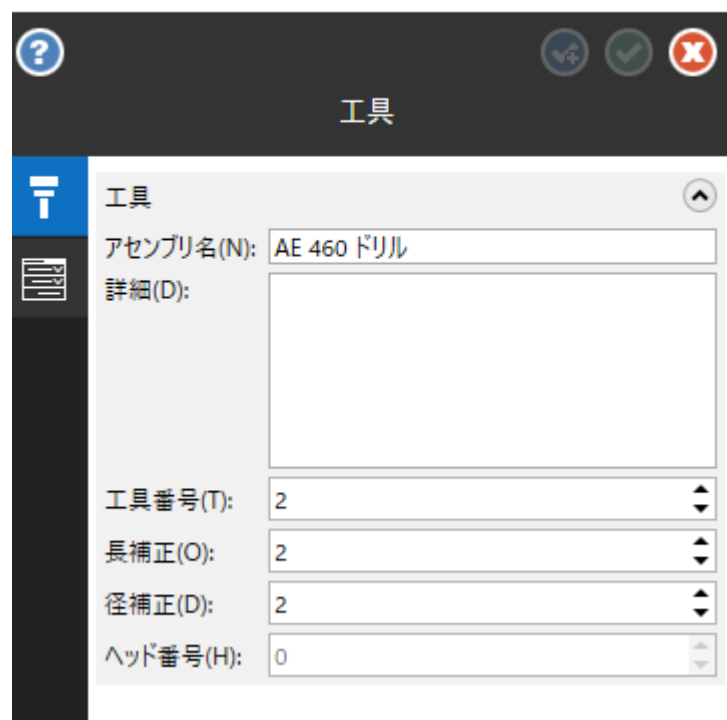


[接続] ページを使用して、ホルダの各 端に業界 標準のサイズとタイプを選択します。



最後に、Mill 工具アセンブリには、より簡単に管理できるプロパティが追加されています。新しいプロパティには、オペレーションにアセンブリを選択する際にMastercamが適用できる、デフォルトの工具番号とオフセット番号が含まれます。工具定義に関連付けられたデフォルトの工具番号は変更されません。各アセンブリは、工具定義の番号とは無関係に、独自の工具番号を持つことができます。

Mill アセンブリデザイナー



[工具突き出し] フィールドも追加されました。これにより、グラフィック画面で工具をドラッグする代わりに、設計図やデータシートから既知の突き出し値を簡単に入力することができます。必要であれば、グラフィック画面で構成要素をドラッグして、工具またはホルダの構成要素の突き出しを設定し続けることができます。



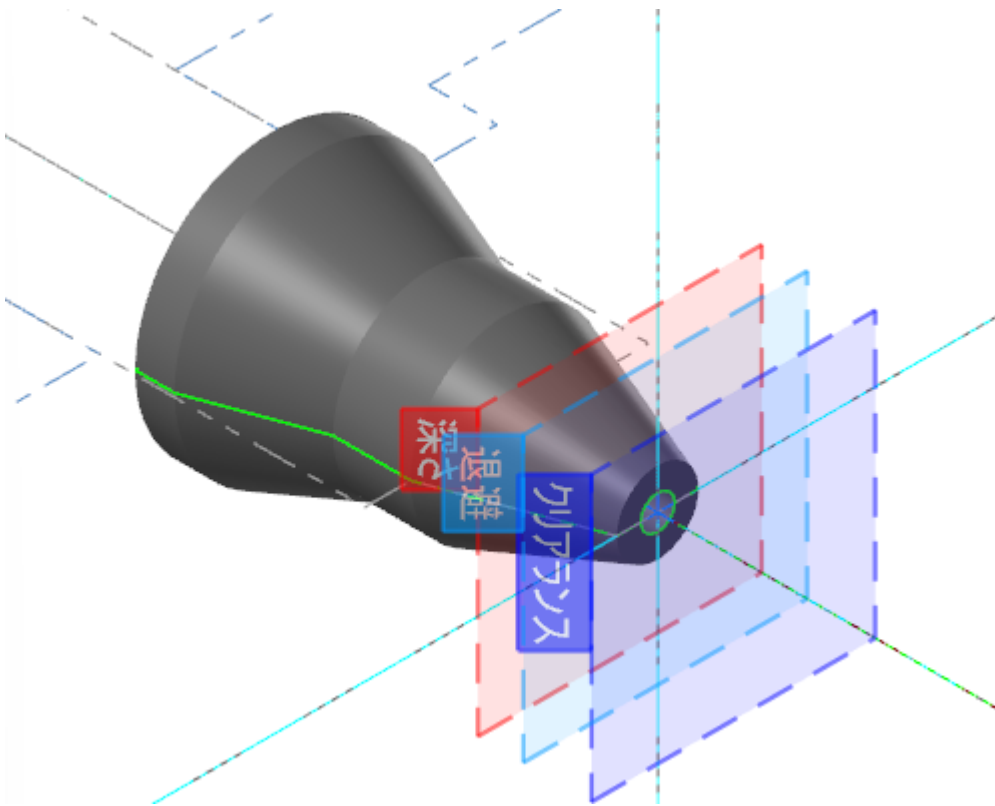
旋削の強化

以下は、LatheやMill-Turn製品の主な強化点です。

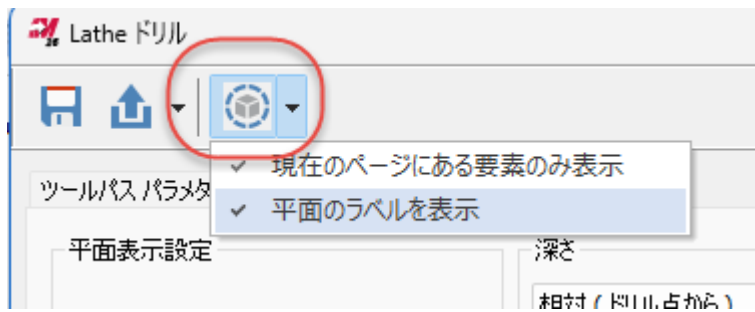
メモ:
特に記載のない限り、このセクションに記載されている新機能と特徴は、LatheライセンスとMill-Turnライセンスの両方に適用されます。

Latheドリルの視覚的な平面表示

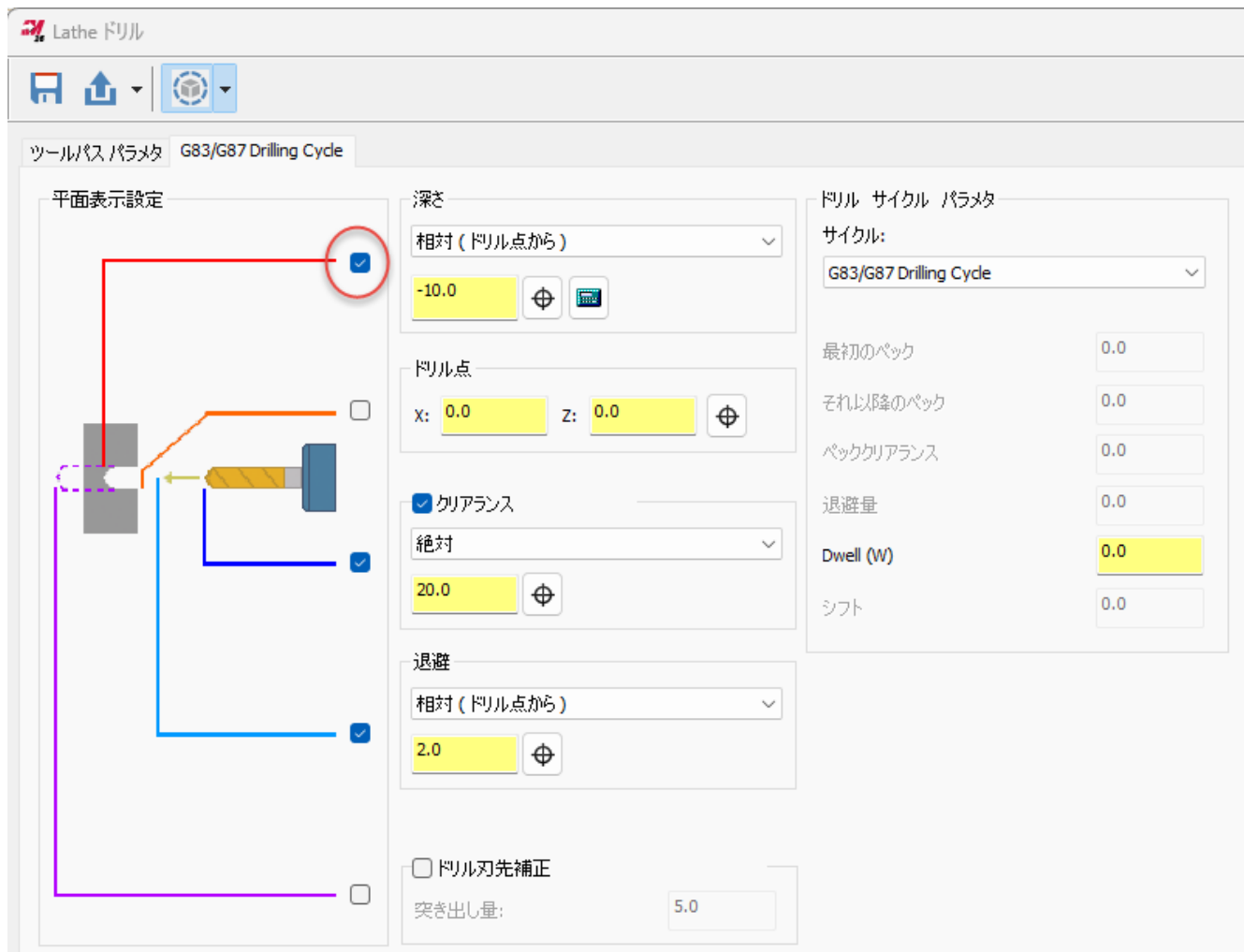
Latheドリルオペレーションで、クリアランスや退避高さ、ドリルの深さなどの平面が視覚的に表示されるようになりました。LatheとMill-Turnの両方のユーザーにご利用いただけます。



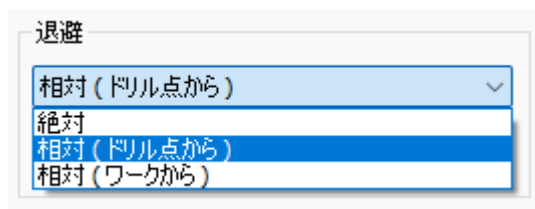
この機能は、LatheとMillで同様に機能します。ツールバーのボタンを使って平面の表示を切り替え、表示内容を設定します。



ツールパスの設定で表示したい平面をそれぞれ選択します。この例では、**深さ**、**クリアランス**、**退避** 平面が選択されています。



さらに、ダイアログボックスのレイアウトが更新され、合理化されました。各平面について、**相対**と**絶対**のオプションが単一のドロップダウン・リストに統合されました：

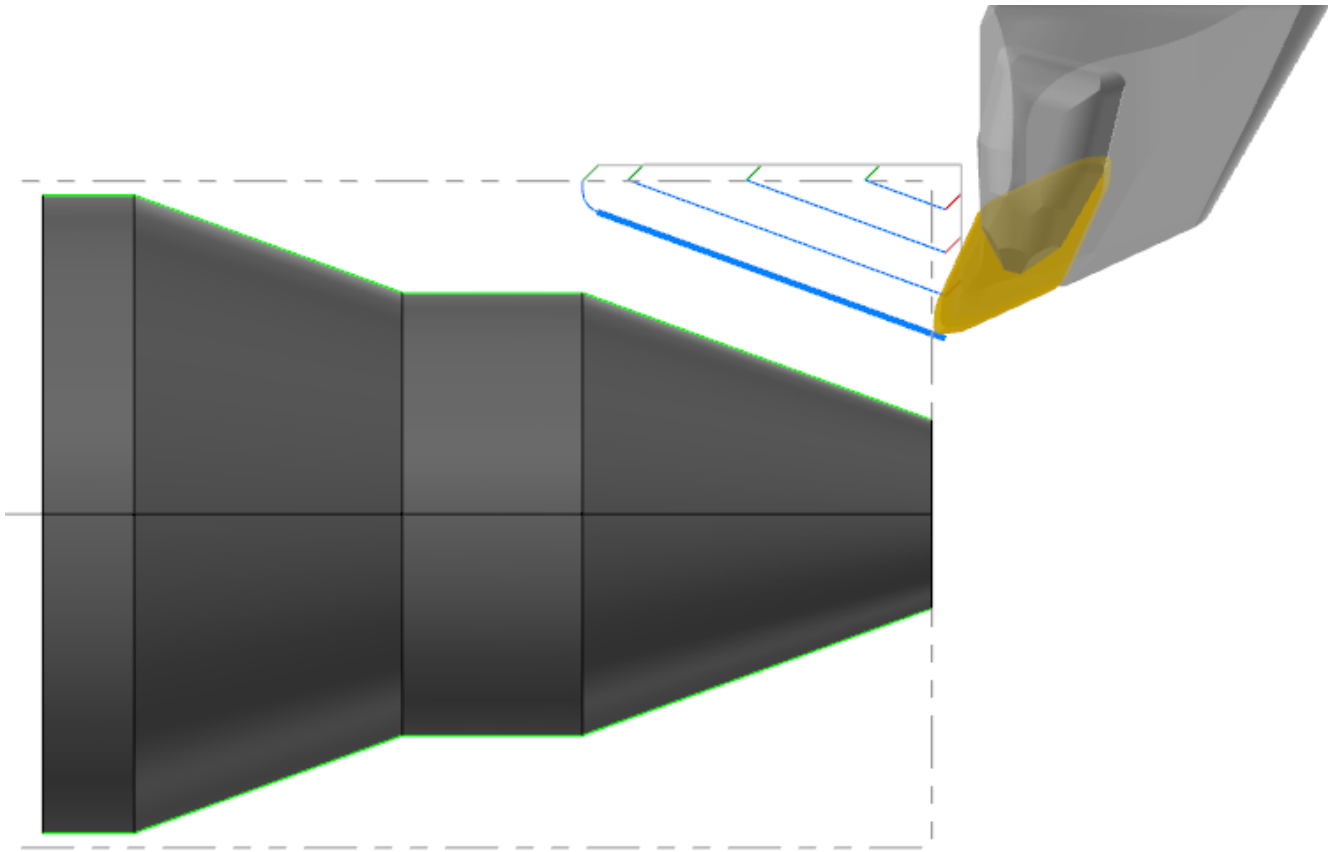


PrimeTurning™の強化

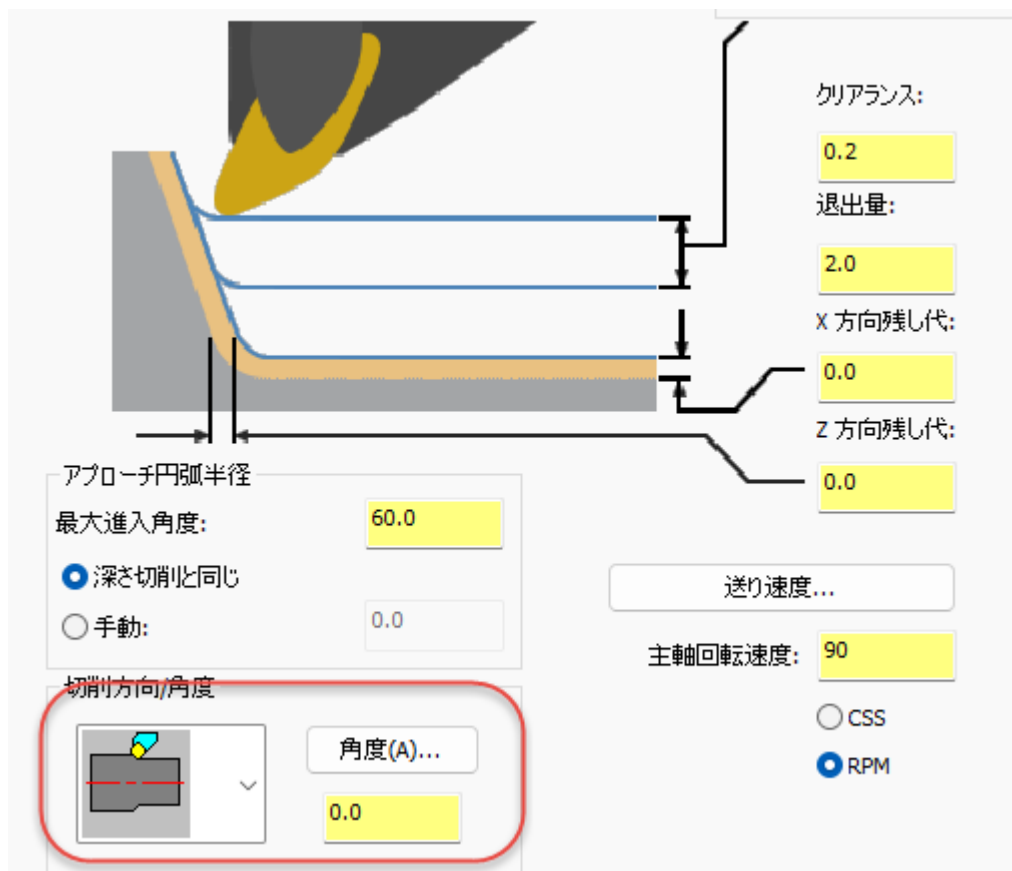
PrimeTurningには多くの改良が加えられています。これらにより、この一般的なツールパスを使用できるアプリケーションの範囲が広がり、全体的なワークフローが改善されます。

PrimeTurning用 角度付き切削

PrimeTurningでは、角度をつけて荒取り切削ができるようになりました。つまり、パーツの角度のある面に対して平行な切削を作成できるため、加工が非常に容易になります。例えば、この写真は荒削りの角度を-20度にしてあります：



PrimeTurning ツールパスの **荒取りパラメタ** タブで角度を指定します。

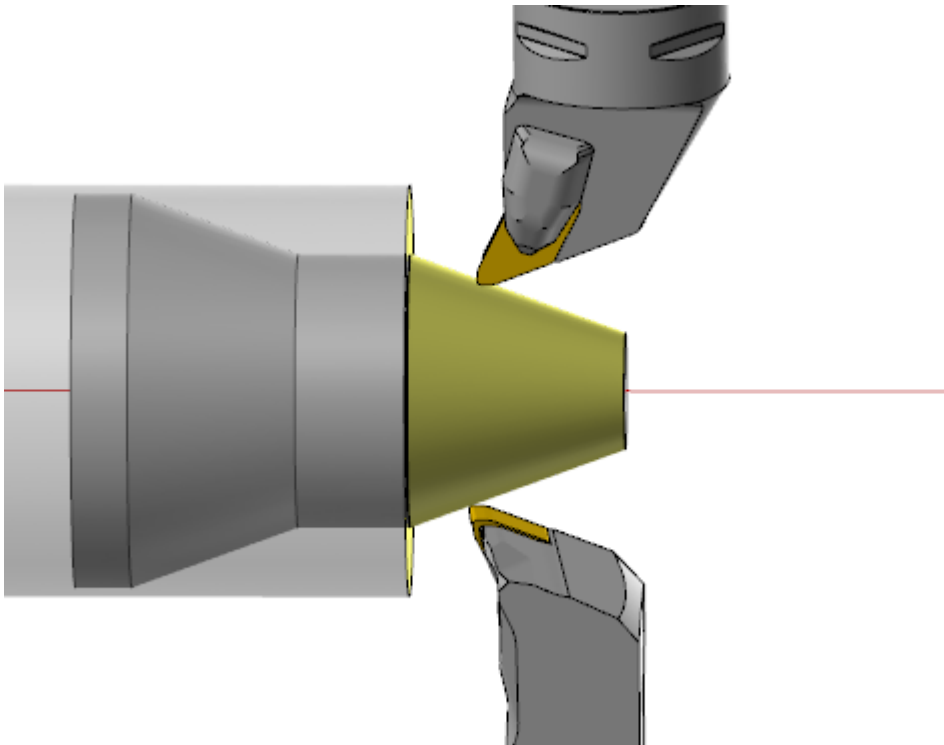


角度 ボタンをクリックして、ダイヤルから、またはグラフィック画面でジオメトリを選択して角度を設定します。

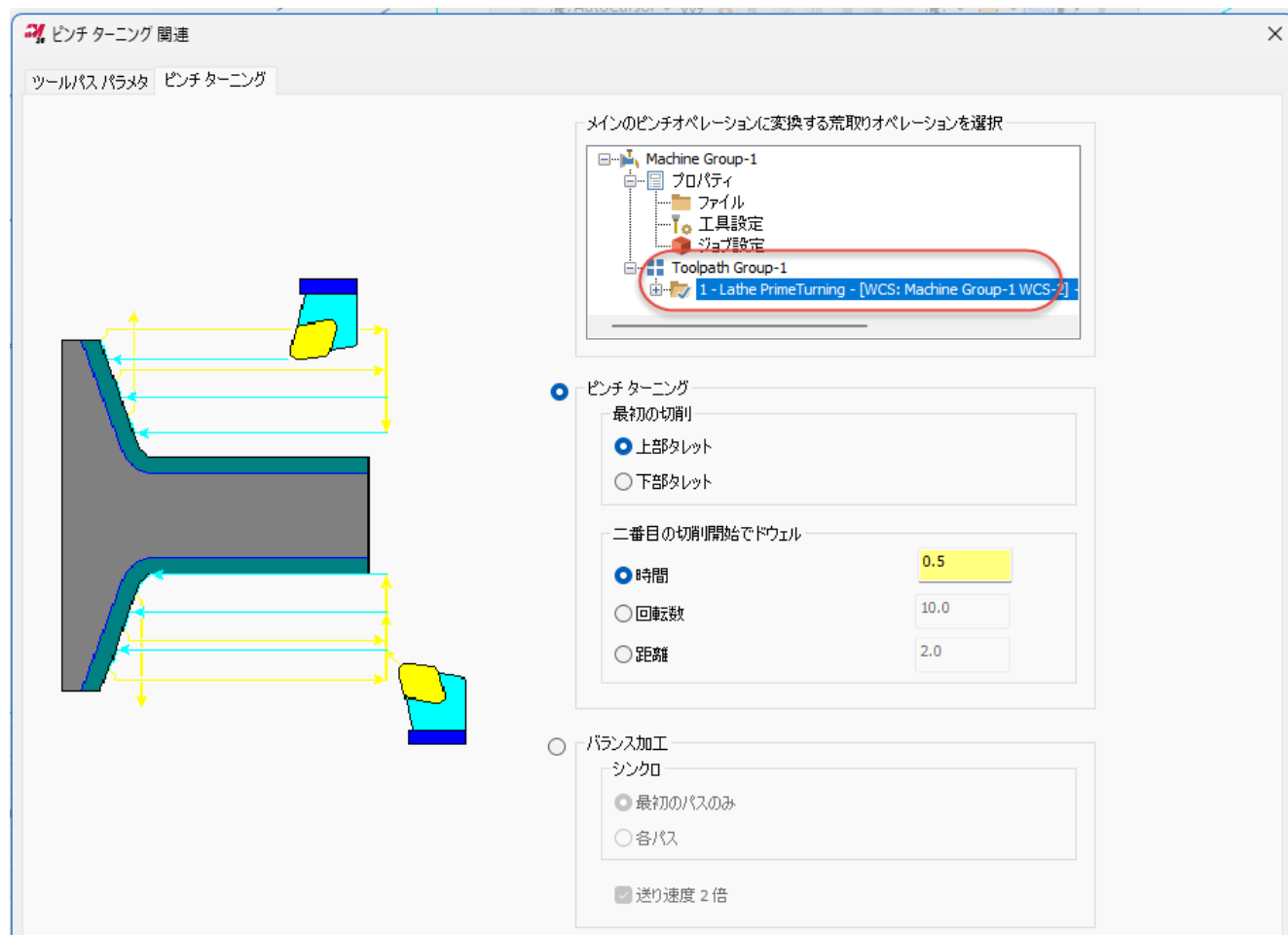


PrimeTurning に対応したピンチ ターニング

PrimeTurning ツールパスは、ピンチターニングとバランス加工で使用するために選択できるようになりました。



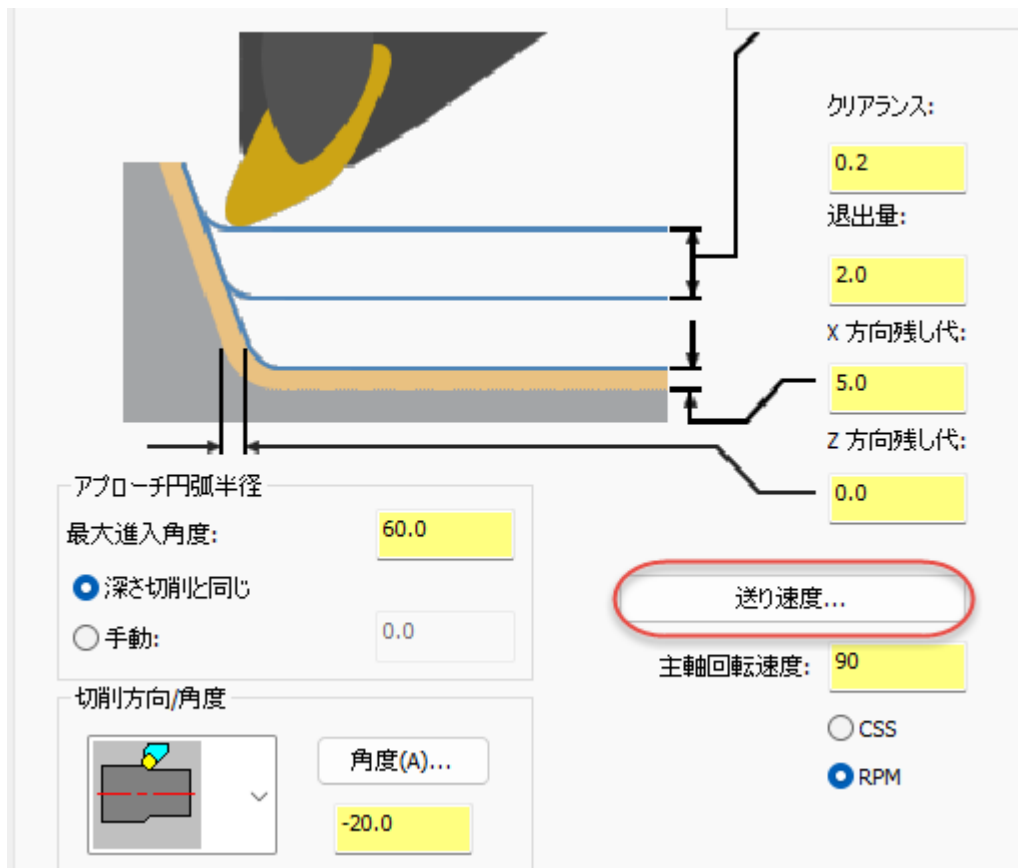
メインのピンチ ターン オペレーションを選択する際に、他のツールパスと同じように PrimeTurning オペレーションを選択するだけです。
ピンチターンとバランス加工の両方のモードがサポートされています。



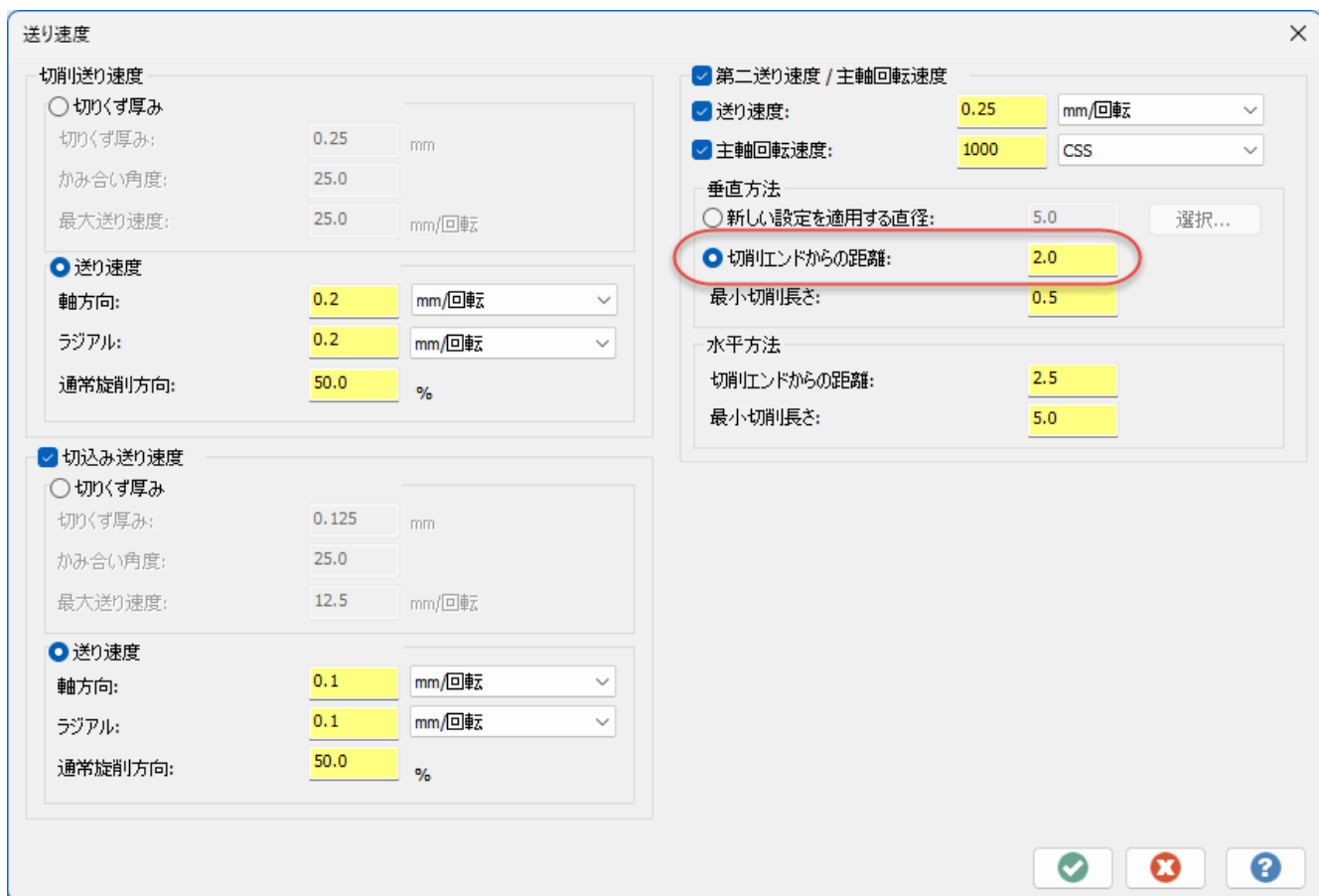
切削終了時の送り速度の調整

PrimeTurningには、切削終了時の一定距離手前で送り速度を調整できるオプションがあります。Mastercam 2026以前は、この機能は水平切削に限定されていました。

これを行うには、PrimeTurningツールパスの**荒取りパラメタ**タブにある**送り速度** ボタンをクリックします。



新しいオプションは **送り速度** ダイアログボックスにあります。ダイアログ ボックスのレイアウトも新しくなりました。

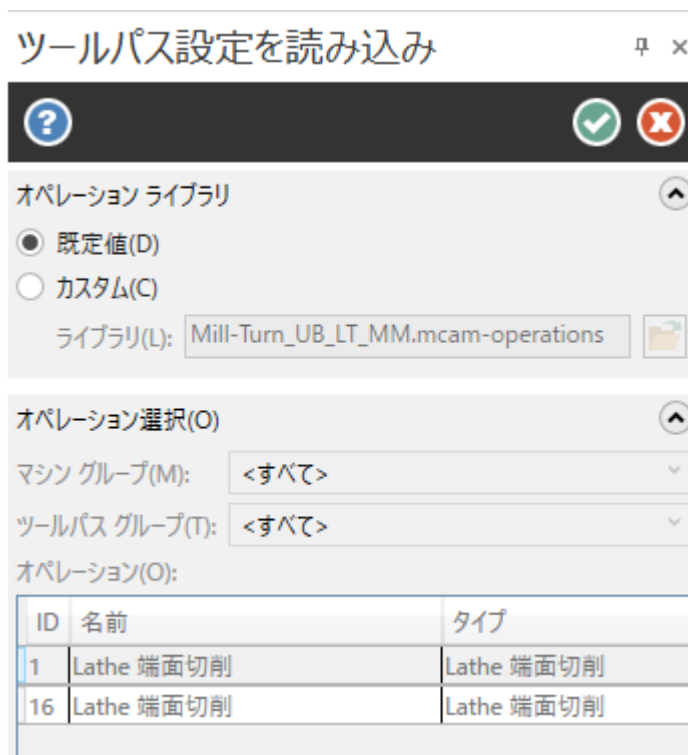


旋削加工ツールパスにおけるパラメタの保存と読み込みのサポート

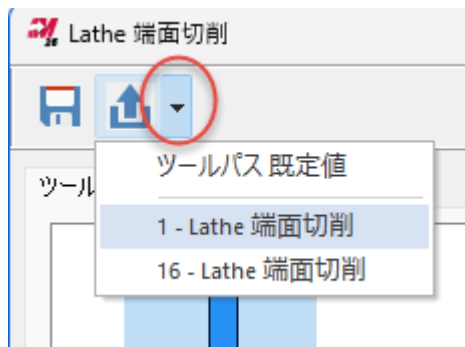
LatheおよびMill-Turnの旋削ツールパスは、ツールバーボタンを使用してツールパスパラメタを保存およびロードできるようになりました。



- 左のボタンをクリックすると、現在のツールパス設定が既定値ファイル(*.mcam-defaults)に保存されます。
- 右ボタンをクリックしてツールパス設定を読み込みパネルを開き、既定値ファイル(*.mcam-defaults)または選択したオペレーションライブラリ(*.mcam-operations)から読み込む設定のソースを選択します。



右ボタン横の矢印をクリックすると、現在のライブラリに素早くアクセスできるフライアウトメニューが表示されます。



- ツールパス既定値 を選択して、アクティブな既定値ファイルからツールパス設定を読み込みます。
- 他のオプションは、現在のオペレーションライブラリ(*.mcam-operations) で利用可能なツールパスを一覧表示します。リストから目的のツールパスを選択し、その設定を読み込みます。

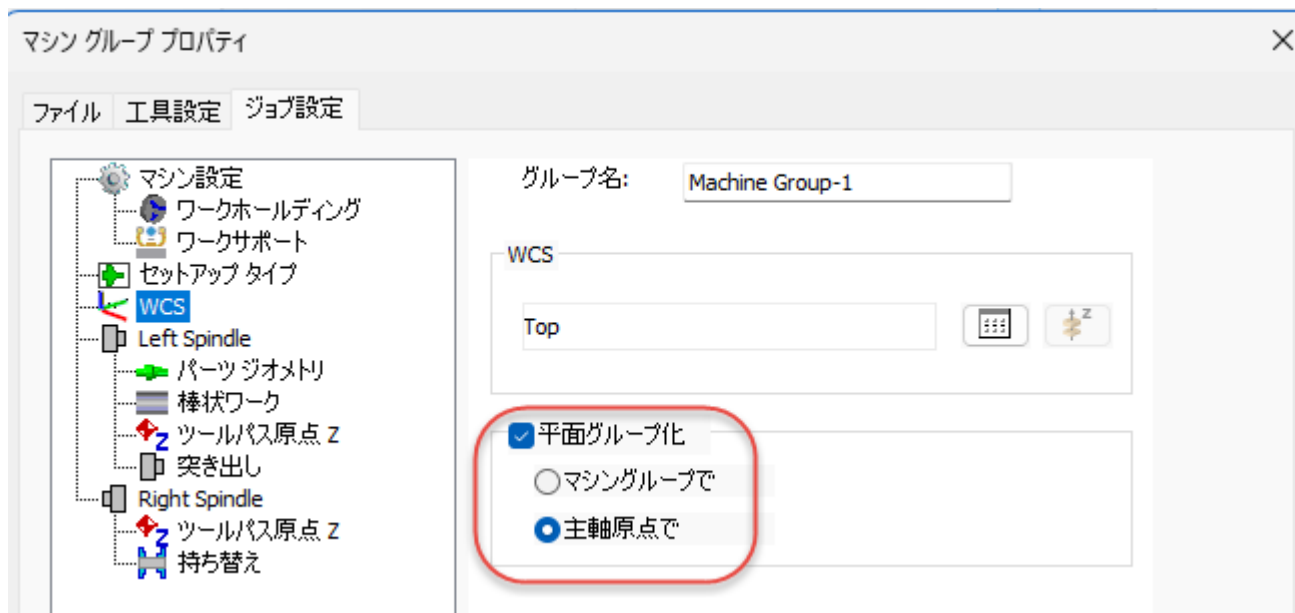
これらのボタンは、以前のバージョンのMastercamで使用されていた状況依存メニューオプションに代わるものです。これらはもう利用できません。

ジョブ設定 の改善

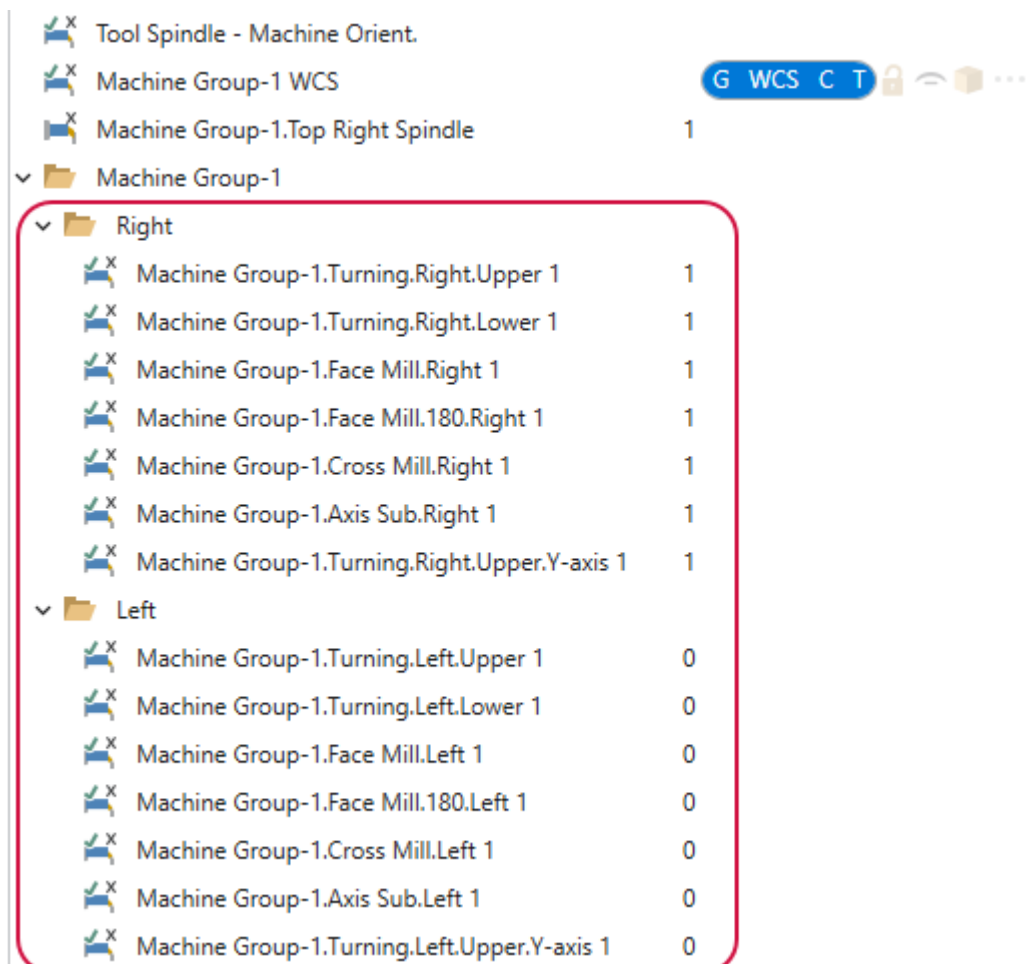
Mill-Turnユーザーのワークフローを合理化するために、ジョブ設定 にいくつかの便利な機能が追加されました。

ジョブ設定の平面をグループ化

ジョブ設定 プロセスの一環として、Mastercamはパーツのプログラミングに使用する平面をいくつか作成します。Mill-Turnユーザーは、Mastercamにこれらの平面をグループにまとめるよう指示できるようになりました。WCS ページに新しいオプションが追加され、マシングループまたは主軸原点ごとに平面を整理できるようになりました：

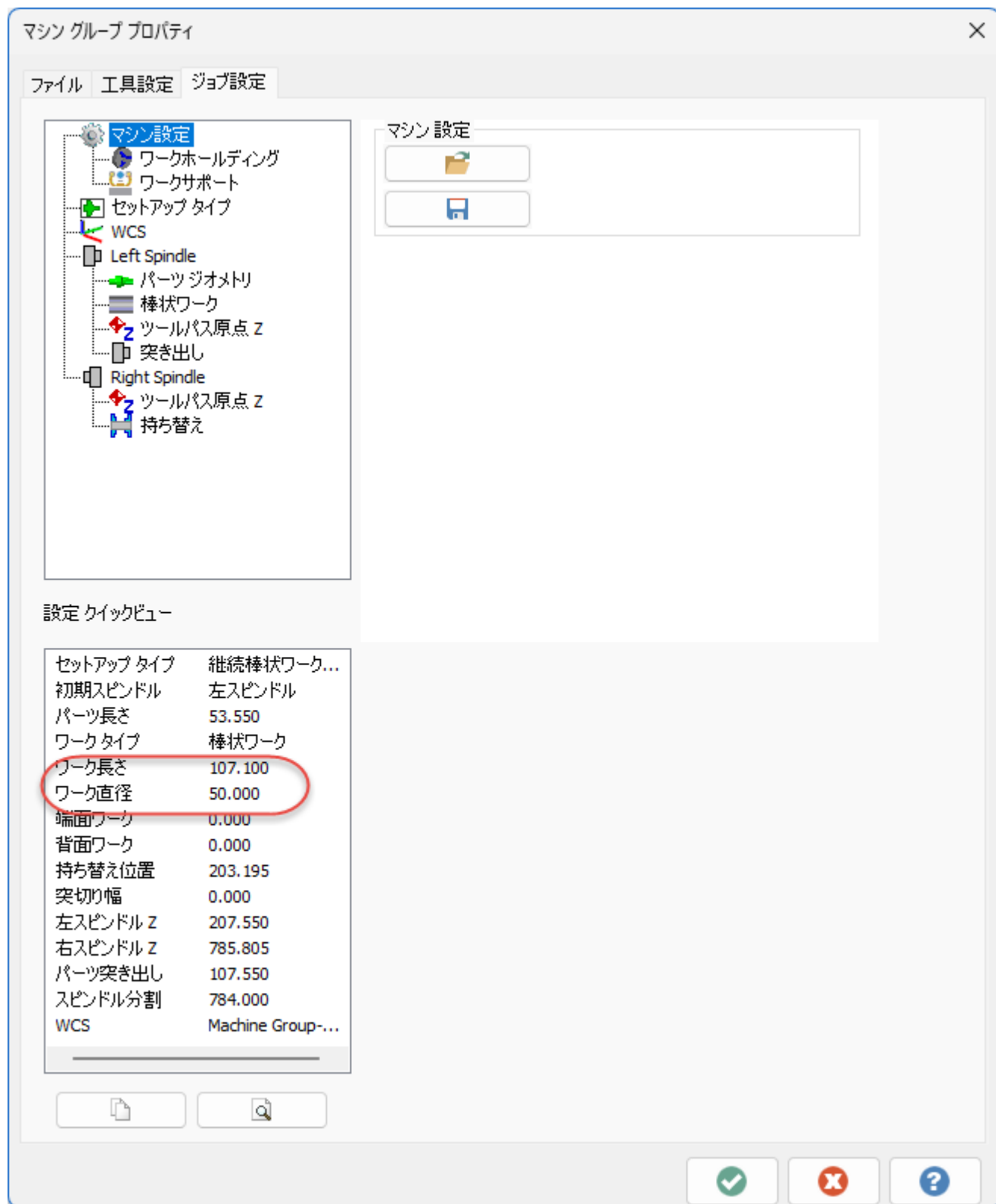


ジョブ設定を終了すると、平面 マネージャでグループを見ることができます：



クイックビューの設定の改善

Mill-Turnユーザーの便宜のため、ワークの長さや直径がクイックビュー設定表示に追加されました。



パーツハンドリング オペレーションの改善

Mill-Turnユーザーは、主軸移動およびバー送りオペレーションで作成される平面と主軸原点を、ジョブ設定で作成されるグループと同じグループに追加できるようになりました。

新しい主軸原点を作成を選択した後、平面をグループに追加を選択します。

バー送り

バー送り

ジオメトリ

☐ ジオメトリ移動

選択... 表示...

☐ 以前作成したジオメトリを削除

レイヤー オプション

☒ 変更なし

☐ レイヤーにコピー: 1

☐ オフセット: 0

設定

移動先: 位置 選択(S)...

相対距離 91.45

チャック面からの距離 199.0

ジョーからの距離 144.0

送り速度: ☒ 早送り ☐ 送り 250.0 mm/分

データストリーム: Upper

☒ 新しい主軸原点を作成

名前: Machine Group-1

主軸: ☒ 左 ☐ 右

ワーク オフセット: ☒ 自動 ☐ 手動 -1

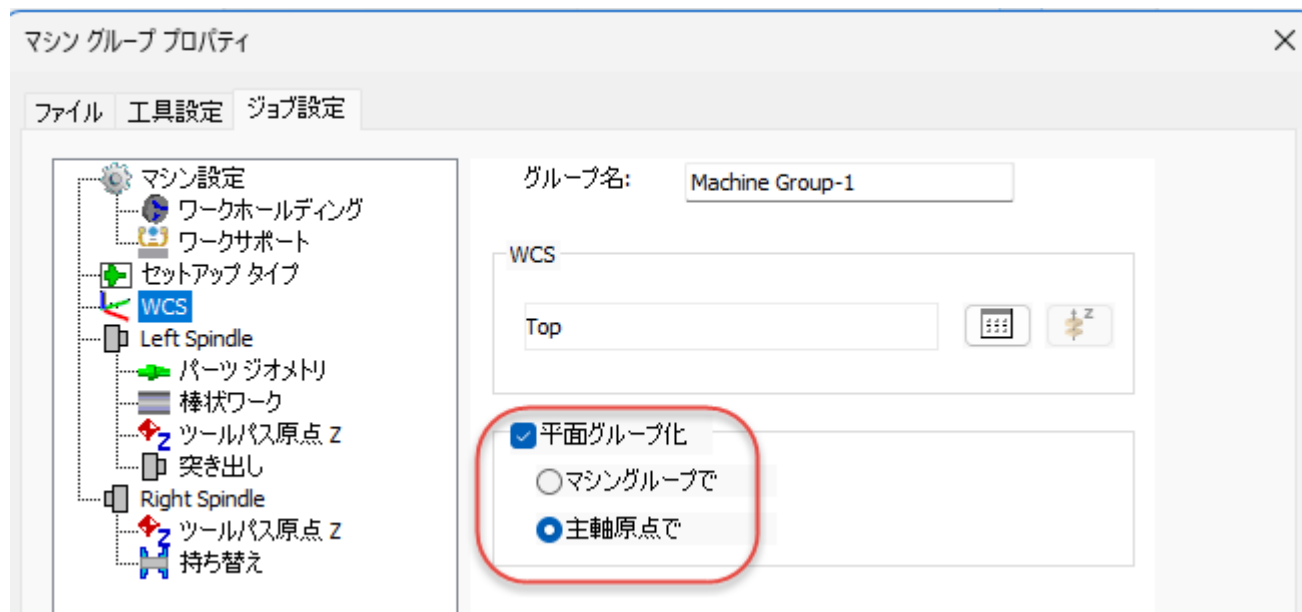
☒ 平面をグループへ追加

コメント:

☒ ツールパスを生成

✓ ✗ ?

Mastercam はジョブ設定の設定に従って新しい平面をグループ化します。ジョブ設定で **平面グループ化** オプションが選択されていない場合、**平面をグループへ追加** オプションは使用できません。



さらに、主軸移動オペレーションを作成する際に、選択した形状を主軸と一緒に移動することを選択できるようになりました。



Mill-Turnで利用可能なサーフェスとワイヤフレームのツールパス

Mastercam 2026のMill-Turnユーザーは、Mastercamのサーフェス荒取り、サーフェス仕上げ、ワイヤフレームツールパス一式を使用できるようになりました。次の表は、使用可能なすべてのツールパスの一覧です。

サーフェス荒取り	サーフェス仕上げ	ワイヤフレーム
平行	平行	ルールド
放射状	平行スティーブ	回転
投影	放射状	スウィープ 2D

サーフェス荒取り

フローライン

等高線

追い込み

ポケット

プランジ

複合面ポケット

サーフェス仕上げ

投影

フローライン

等高線

シャロー

ペンシル

取り残し

スキヤロップ

ブレンド

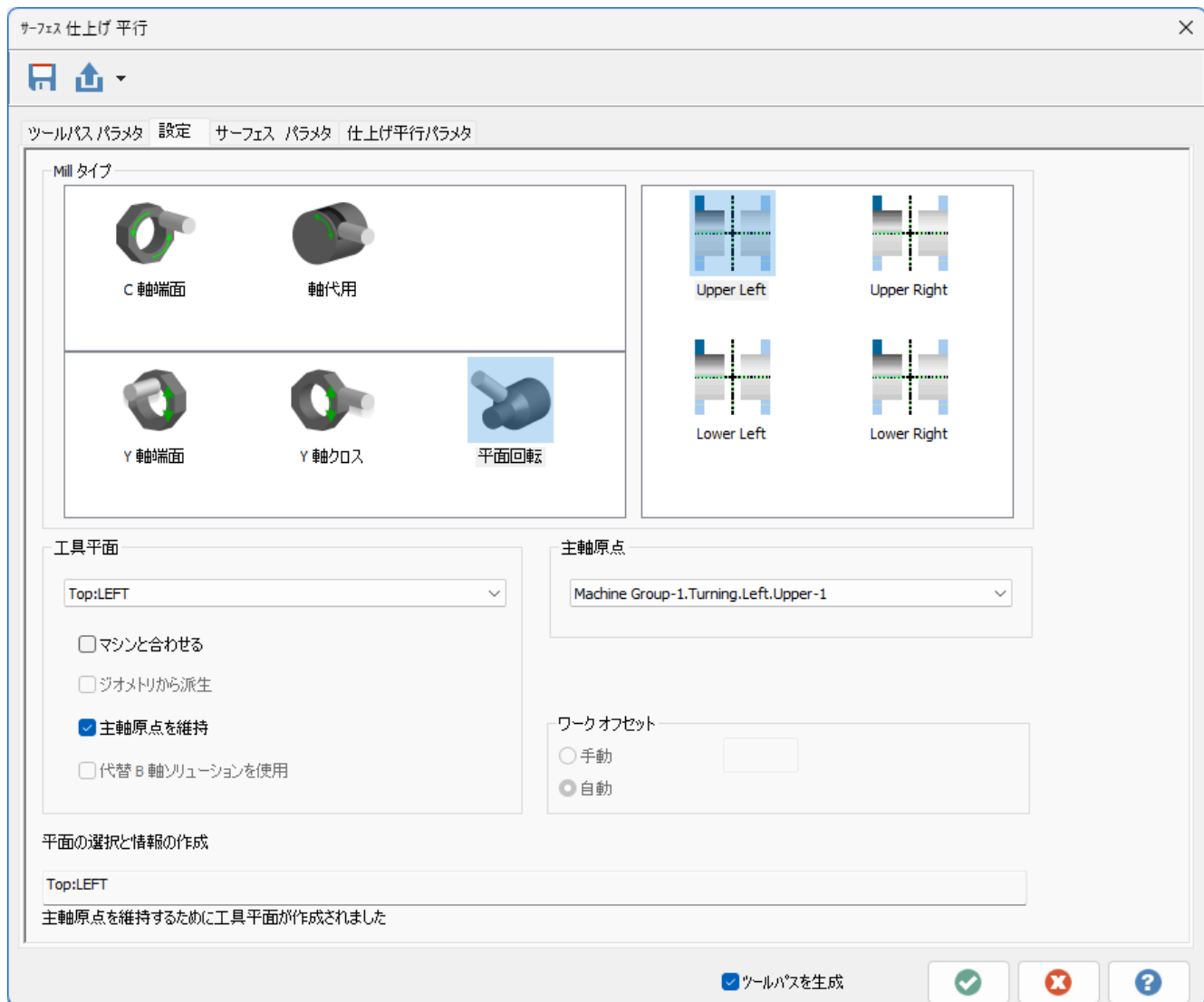
ワイヤフレーム

スウィープ 3D

クーンズ

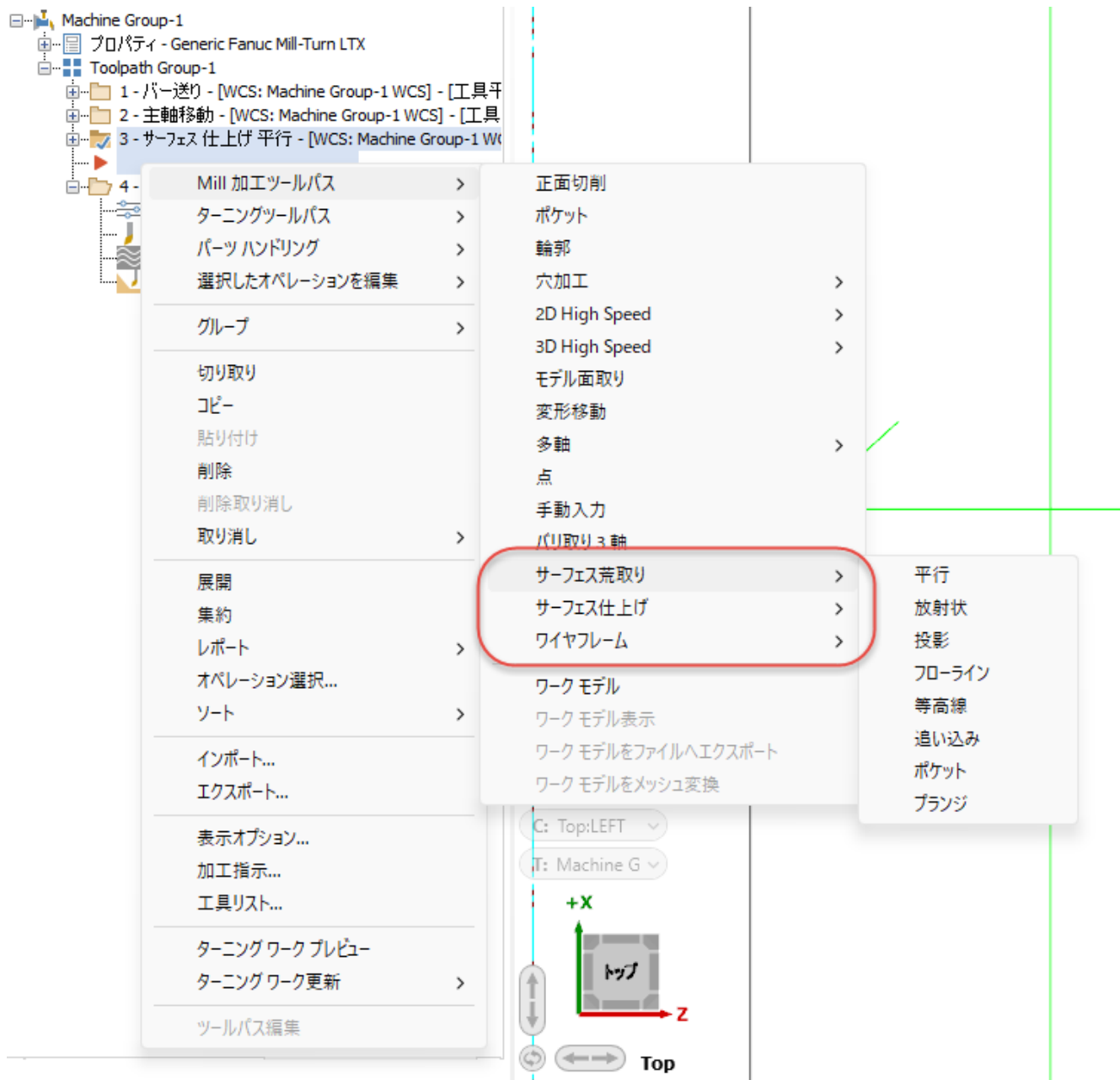
ロフト

Mastercam 2026は、これらのツールパスの使い慣れたインターフェースを維持し、**設定** タブを追加することで、これらのツールパスをあなたのMill-Turn マシンに合わせることができます。



通常 **ツールパス パラメタ** タブで利用可能な機能の一部は、Mill-Turn ワークフローと一貫性を持たせるために **設定** タブに移動されました。これには、軸の組み合わせの選択、回転軸の設定、平面の選択が含まれます。

ツールパスにアクセスするには、ツールパス マネージャで右クリックし、**Mill 加工 ツールパス**を選択します：



ツールパスのいくつかは、Mastercam Millで使用すると多軸出力が可能です。Mill-Turnではこのようなことはできないので、Mill-Turnのオプションは削除されました。このようなオペレーションをMill-Turnグループにインポートしようとすると、Mastercamは警告を表示し、オペレーションをインポートしません。

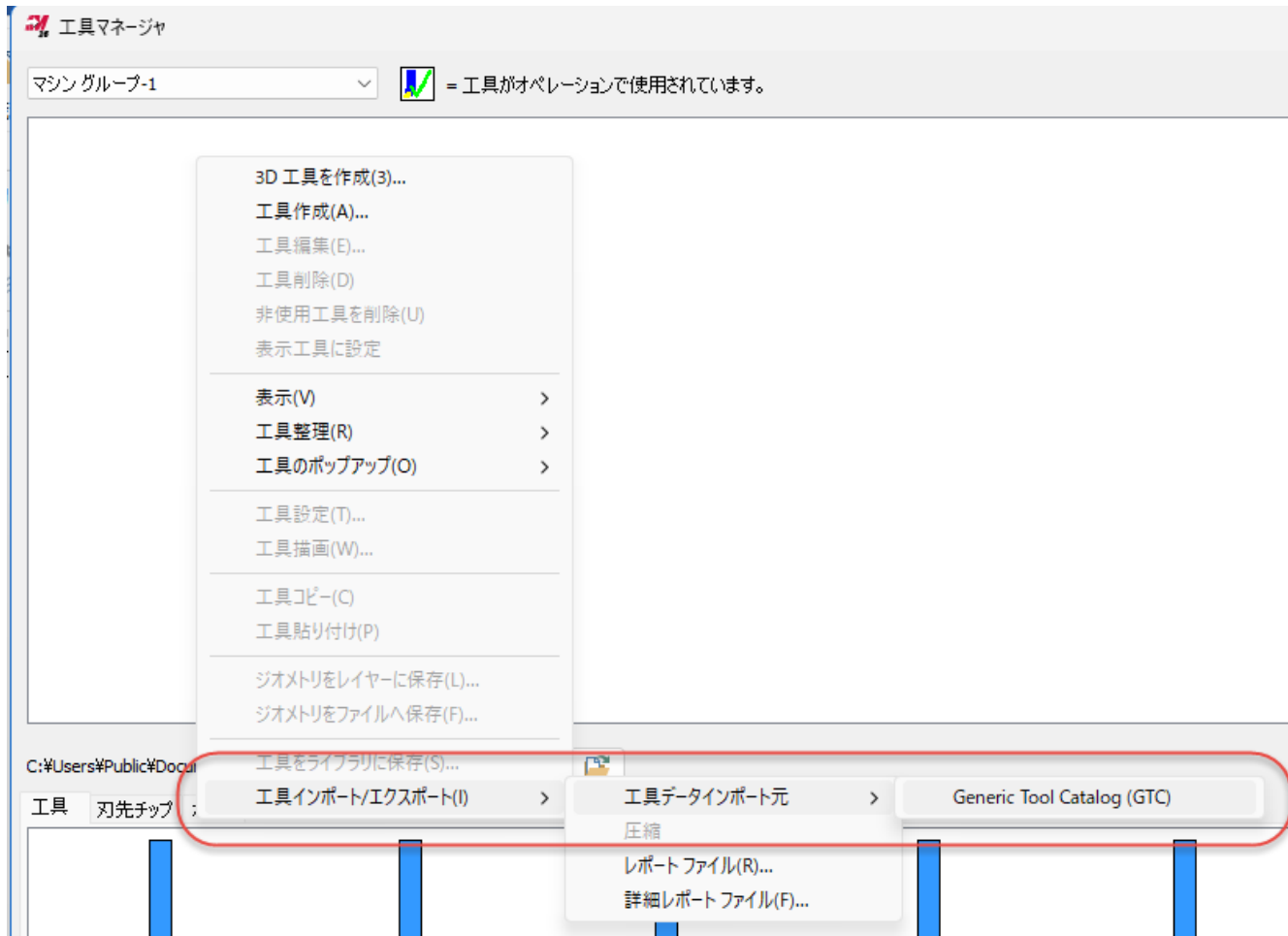
ツーリングの強化

以下は、工具や関連機能の主な強化点です。

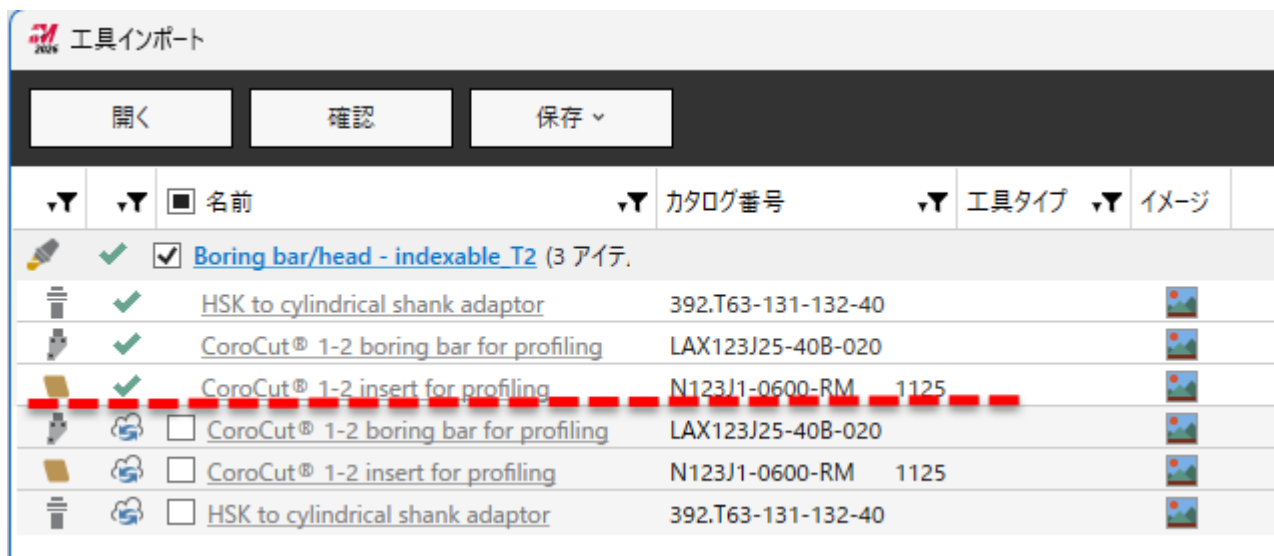
Lathe GTC 工具データのインポート

MastercamはGTC(Generic Tool Catalog) パッケージから Lathe 工具データをインポートできるようになりました。以前は、この機能はMill加工工具に限定されていました。これにより、3D Lathe工具の作成にかかる時間が大幅に短縮されます。Mill加工工具と同様に、Mastercamではインポートするアセンブリまたは個々の構成要素を選択できます。その後、データを検証し、工具またはアセンブリをMastercam工具ライブラリ(*.toldb) またはアクティブなマシングループに直接インポートします。

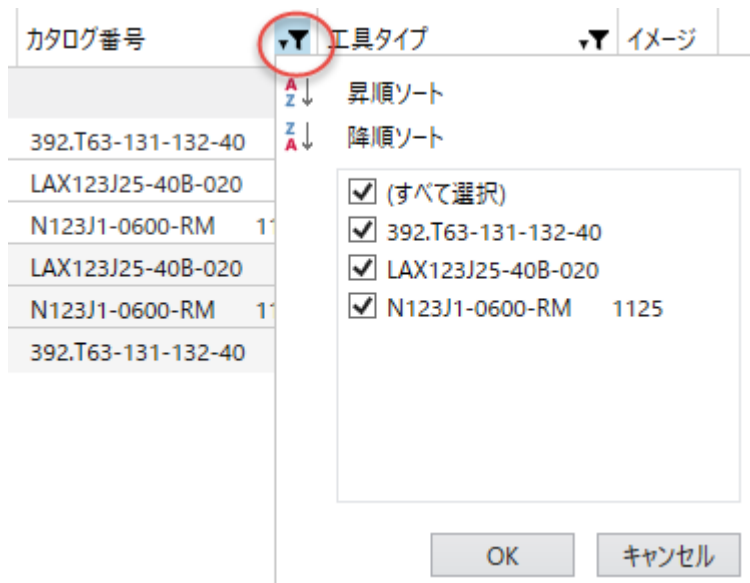
GTCパッケージをインポートするには、[工具 マネージャ] で右クリックし、[工具のインポート/エクスポート] を選択し、**Generic Tool Catalog (GTC)**を選択するまで続けます。



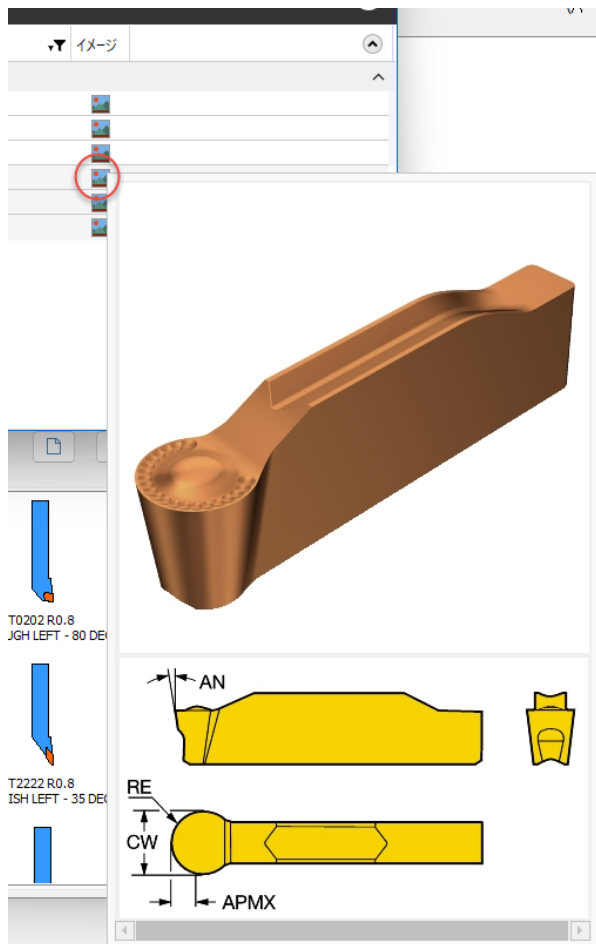
[開く] をクリックして、インポートするGTCパッケージを選択します。各工具アセンブリについて、Mastercamはその下に個々の構成要素をリストアップします。また、個々の構成要素を選択してインポートすることもできます。これらはアセンブリの後 (赤い破線の下) に再度リストアップされ、チェックボックスが付いているので選択できます。例えば、刃先チップだけを選択して、刃先チップライブラリに直接追加することもできます。[確認] をクリックすると、Mastercamがデータとモデルを検査します。



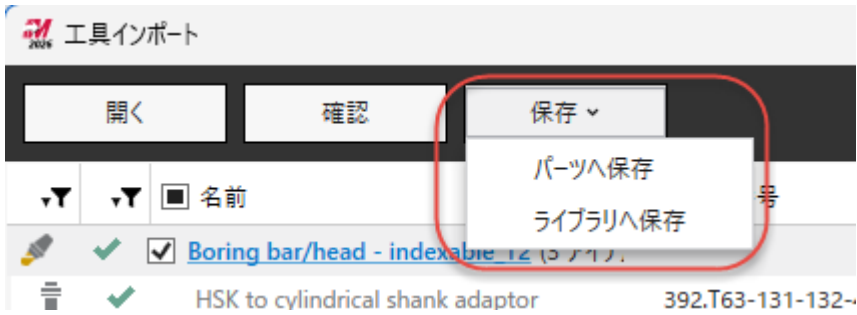
[フィルタ] ボタンをクリックすると、構成要素の並び替えやフィルタリングができます。



構成要素のアイコンにマウスカーソルを合わせると、詳細が表示されます。



工具データに満足したら、構成要素をアクティブなマシングループに保存するか(パーツへ保存)、または *.tooldb ファイル(ライブラリへ保存)を選択できます。



カスタムねじ切りにY軸ツーリングのサポートを追加

Mill-Turnの**カスタムネジ切り**ツールパスで、Y 軸ツーリングを使用できるようになりました。これにより、切削時の剛性が向上し、振動が減少し、工具寿命が長くなります。

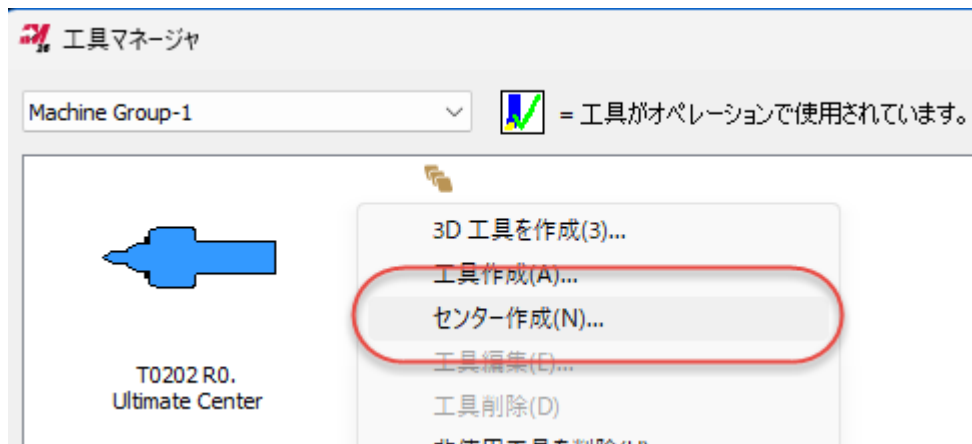
Y軸ツールのサポートは、アプローチと退避参照点で使用するための3軸すべてを可能にします。Y軸ツールを使用すると、3軸すべてを選択できます。



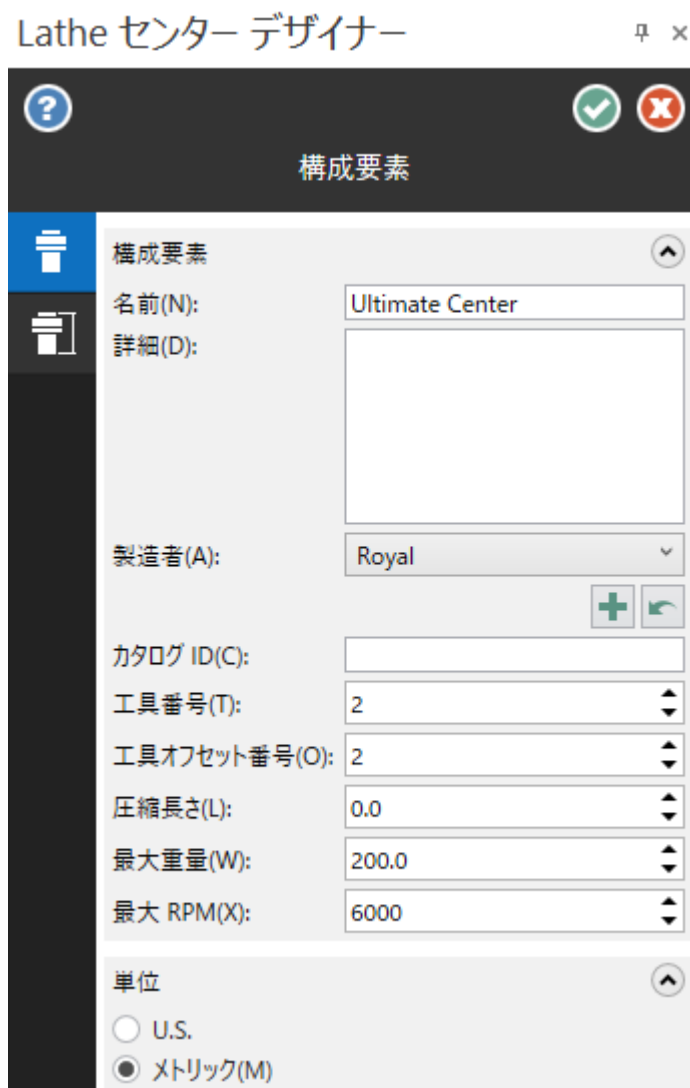
新しい Lathe センター デザイナー

Mastercamの新しいLathe センターデザイナーは、異なるMastercam製品間で工具、ホルダー、アセンブリを作成するための単一の標準化されたワークフローを作成する努力を続けています。Mill-Turnユーザーのみ、センター構成要素の作成に使用できます。ライブセンターと固定センターの両方を作成し、心押し台またはタレットに取り付けるセンターを作成するために使用します。

工具マネージャで右クリックし、[センター作成]を選択して、[Lathe センターデザイナー]にアクセスします。また、[センター点]操作や心押し台のパーツハンドリングストラテジーを作成する際にもアクセスできます。



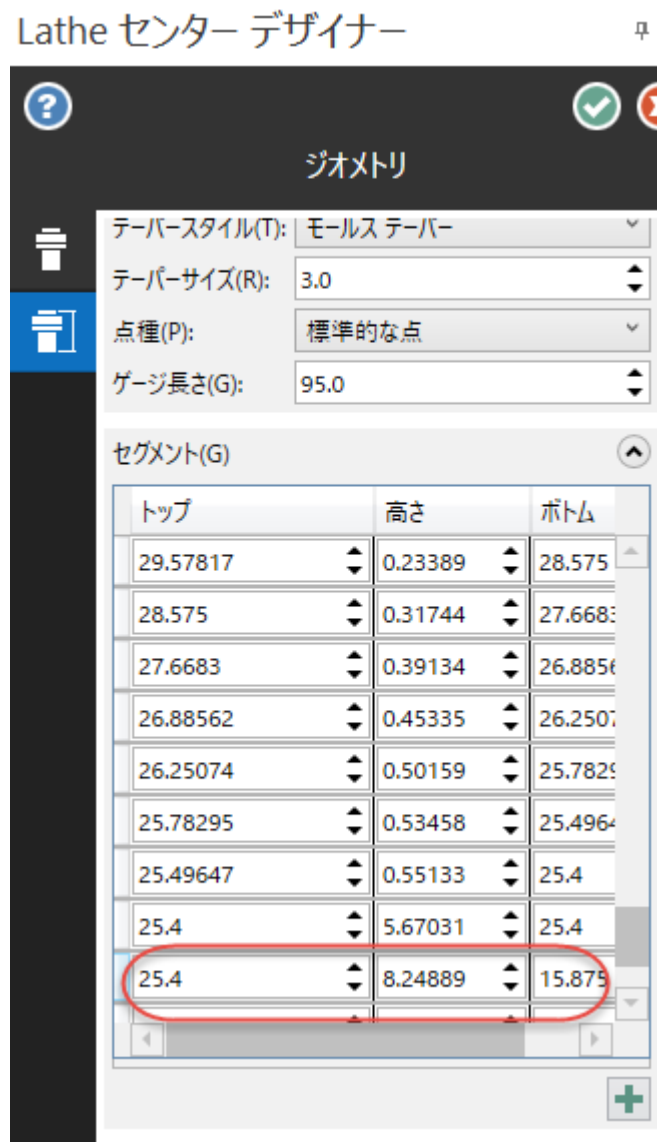
パネルのデザインは、新しい「Mill ホルダ デザイナー」インターフェースに非常によく似ています。



2ページ目の[ジオメトリ]コントロールを使用して、センターを表すソリッドモデルを選択し、管理します。

- [テーパスタイル]と[点種]のドロップダウンリストでは、業界標準の用語でセンターを記述することができます。
- [ゲージ長さ]は、中心がクイルまたはタレットからどれだけ突出しているかを指定します。

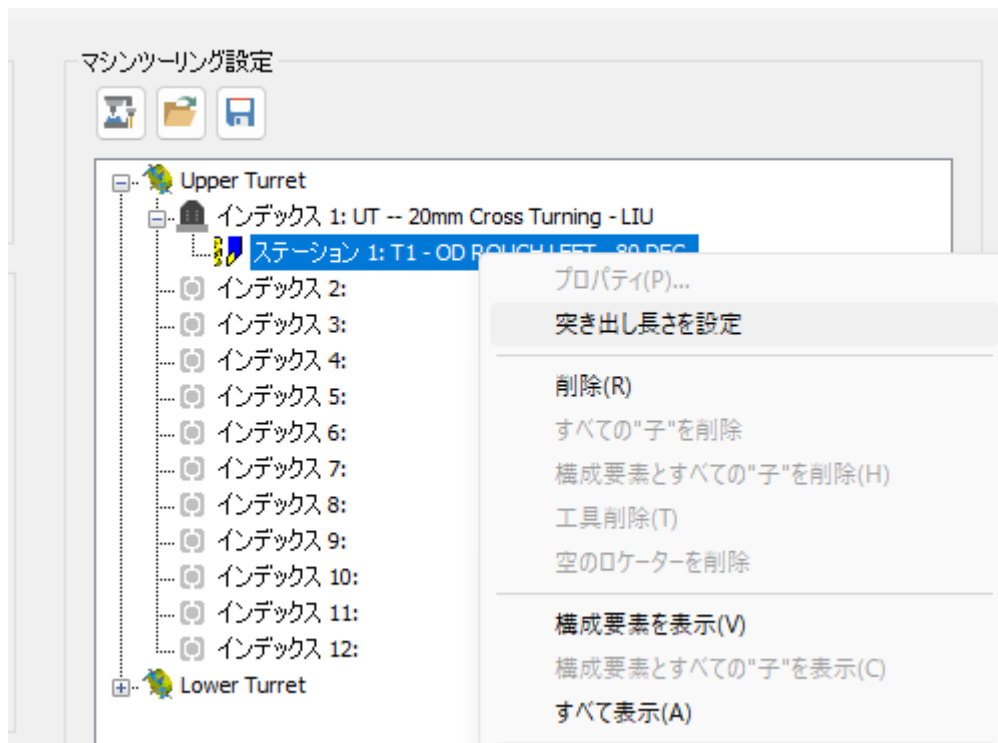
センタープロファイルは、グリッドで構成された断面として表されます。必要に応じて各断面の寸法を編集してプロファイルを微調整するか、グリッドの最初の列を右クリックしてその他のオプションを表示します。



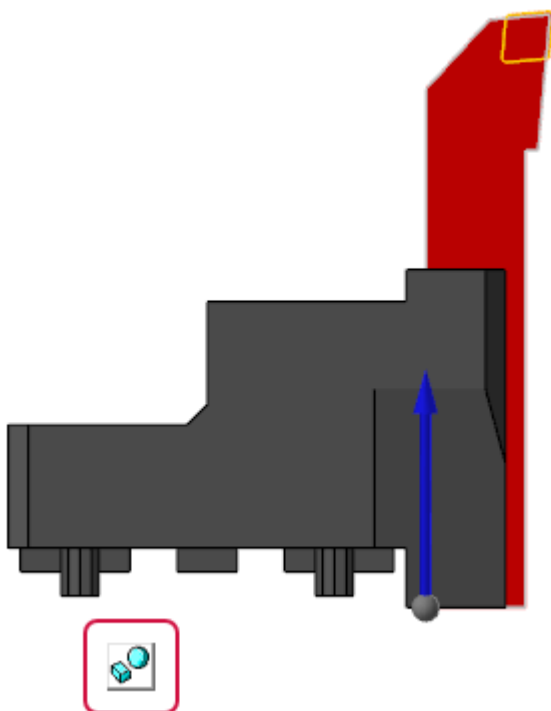
工具突き出し設定のワークフロー改善

Mastercam Mill-Turnは、工具の突き出し長さ設定する新しいワークフローを含みます。グラフィック画面で工具をドラッグして突き出しを手動で調整する場合、Mastercamは通常、工具ホルダの背面から測定した突き出しを表示します。多くの場合、この数字はプログラマーやセットアップ担当者には意味をなしません。新しいワークフローを使用して、ツールロケータのフェース、またはその他の意味のある位置から突き出しを測定し、設計図や加工指示書の値と正確に一致させることができます。

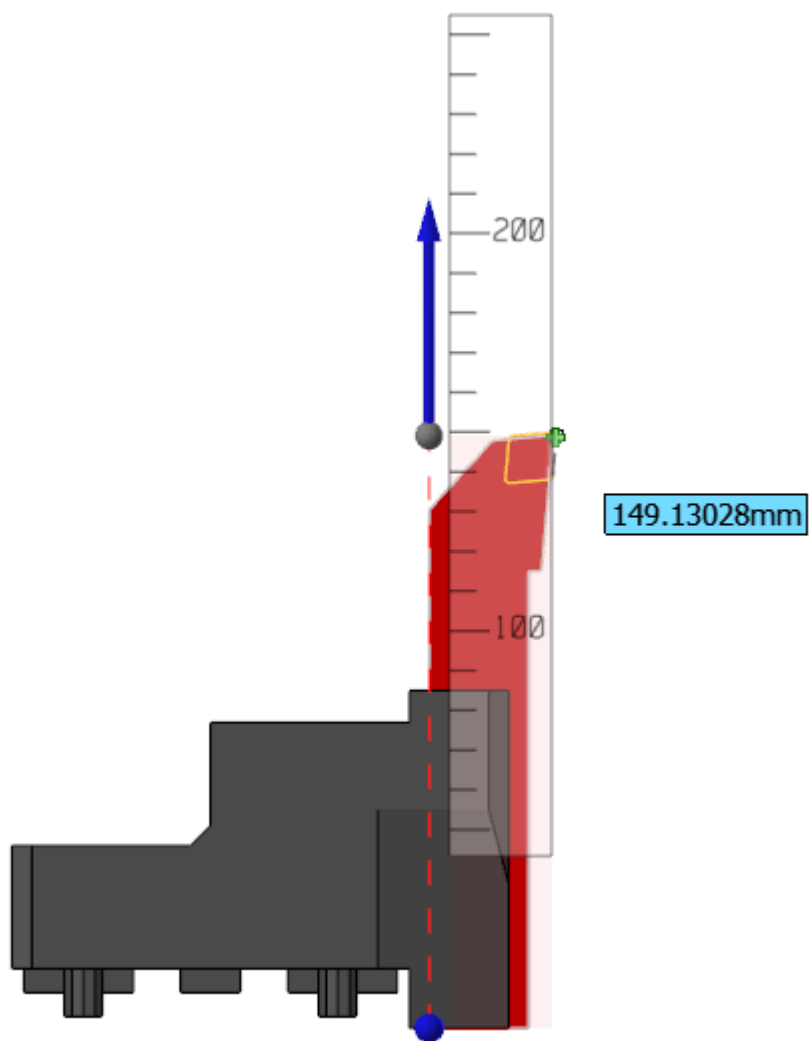
まず、工具設定マネージャを開きます。工具を右クリックし、**突き出し長さを設定**を選択します。



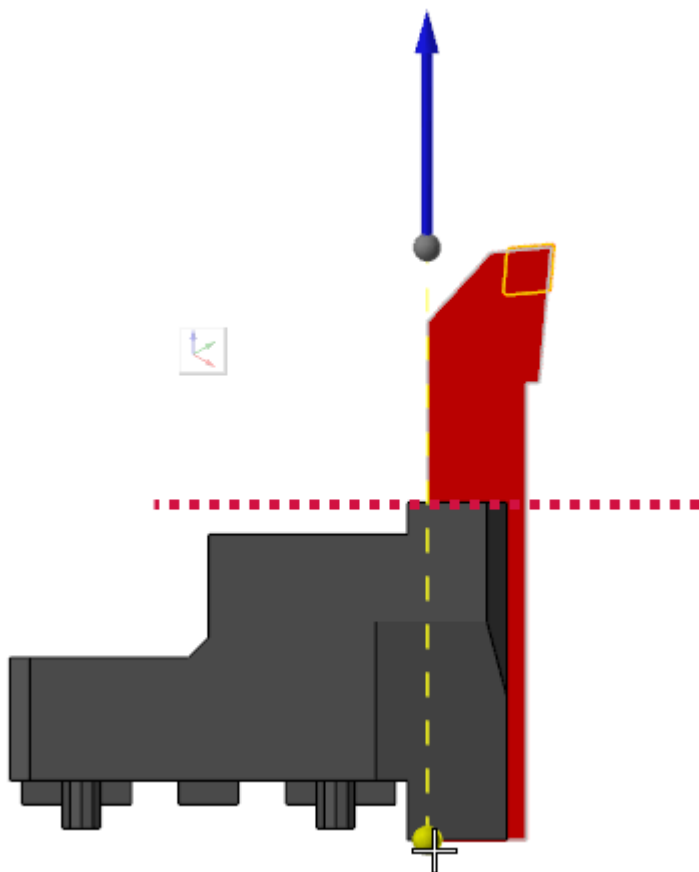
グラフィック画面に工具が表示されたら、新しいモードボタンをクリックします。このボタンは工具をドラッグする **ジオメトリモード** と、指標の矢印や原点をドラッグする **軸モード** を切り替えます。これをクリックすると **軸モード** に切り替わり、ローケターの面にゼロ点を移動することができます。



軸の矢印をクリックし、工具の先端、または工具の最大突き出しを示す別の点までドラッグします。



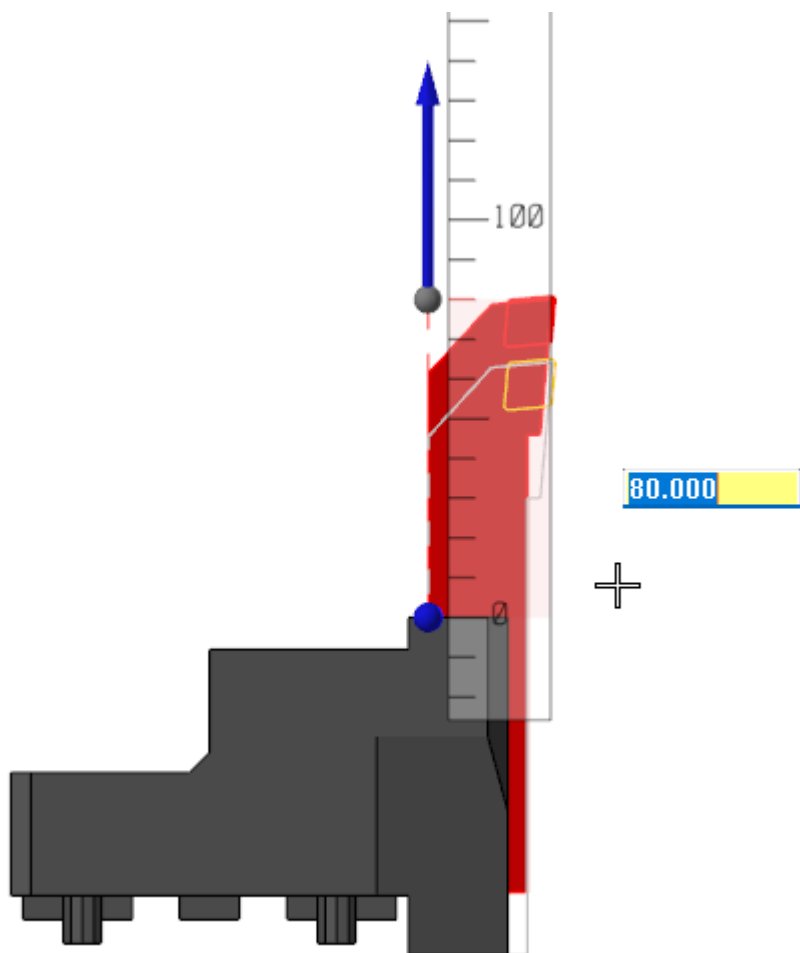
次に、原点を表すボールをローターの面、または投影長さゼロ点を表す位置までドラッグします。



原点の再配置に成功したら、モードボタンをクリックして **ジオメトリモード** に切り替えます。



あとは工具をクリックし、希望の突き出し長さまでドラッグします。また、希望の距離(たとえば80mm)を距離フィールドに直接入力することもできます。



Design の強化

Design機能の主な強化点は以下の通りです。

メッシュ要素間の偏差の解析

Mastercam 2025で導入された偏差分析機能は、要素間の寸法の違いを特定します。前回のリリースでは、解析は点、曲線、サーフェス、ボディ、面のさまざまな組み合わせに限定されていました。このリリースでは、[偏差解析]機能にメッシュのサポートが追加され、設計および検証ワークフローに柔軟性と精度が加わりました。

[偏差の分析]は、ホームタブの[解析]グループにあります。



ドロップダウンの下で、リボンコントロールには比較する5つの要素の組み合わせがあります。以下の解析機能でメッシュをサポートするようになりました：

- **サーフェスからサーフェス** :サーフェスは、サーフェス、ソリッド面、シートソリッド、ソリッドボディ、メッシュの意味になります。
- **曲線とサーフェス** :メッシュのサポートが追加されました。
- **点とサーフェス** :メッシュのサポートが追加されました。

ロフトサーフェスの強化

Mastercam 2026はロフトに新機能を導入しました。ワイヤーフレームジオメトリを使用してロフトサーフェスを作成する場合、サーフェスのスムーズなフローとブレンドを可能にするコントロールが増えました。

チェーン方向の自動整列

Mastercam 2026は、チェーン方向の自動整列を導入し、方向を気にすることなくチェーンをウィンドウ選択できるようになりました。この機能は、複数のチェーンを選択する必要がある場合に時間を節約します。デフォルトでは有効になっていますが、[チェーンの方向を一貫して揃える]オプションの選択を解除することで、機能パネルから無効にすることができます。

サーフェス ルールド/ロフト

🔍 ✕



ベーシック

図形要素

- 方法: ☐ ルールド(R)
☒ ロフト(L)
 タイプ: ☒ サーフェス(S)
☐ シート ソリッド(O)
☐ メッシュ(M)

ロフト チェイン(C) (3)

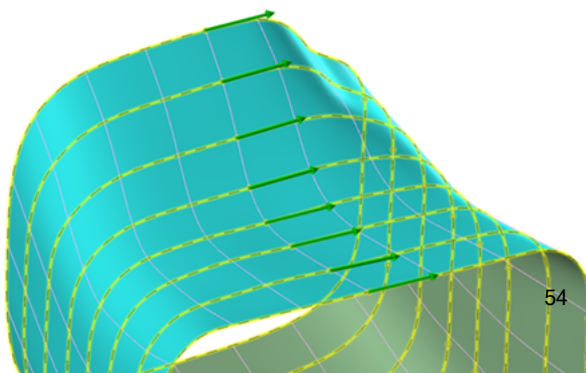
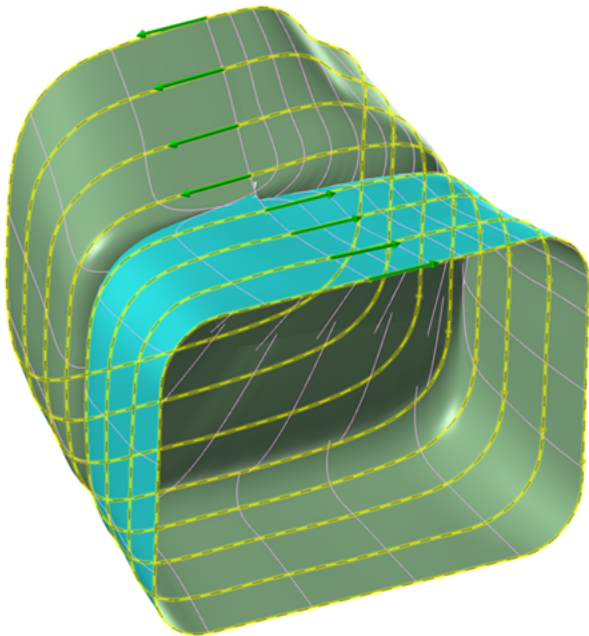
チェイン 1
 チェイン 2
 チェイン 3



☒ チェインの方向を一貫して揃える

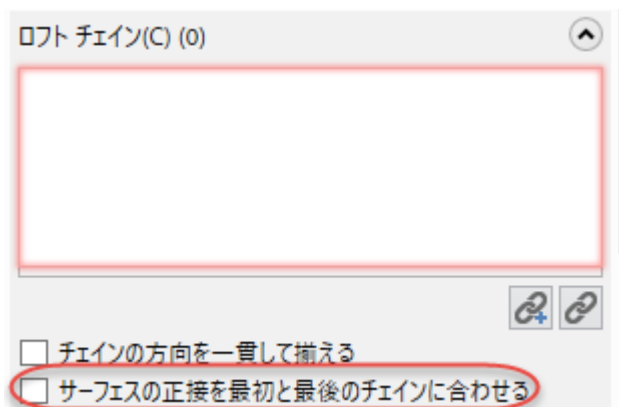
☐ サーフェスの正接を最初と最後のチェインに合わせる

下の画像は、この機能によって、上の画像でバラバラだったチェインの方向がどのように整列されたかを示しています。

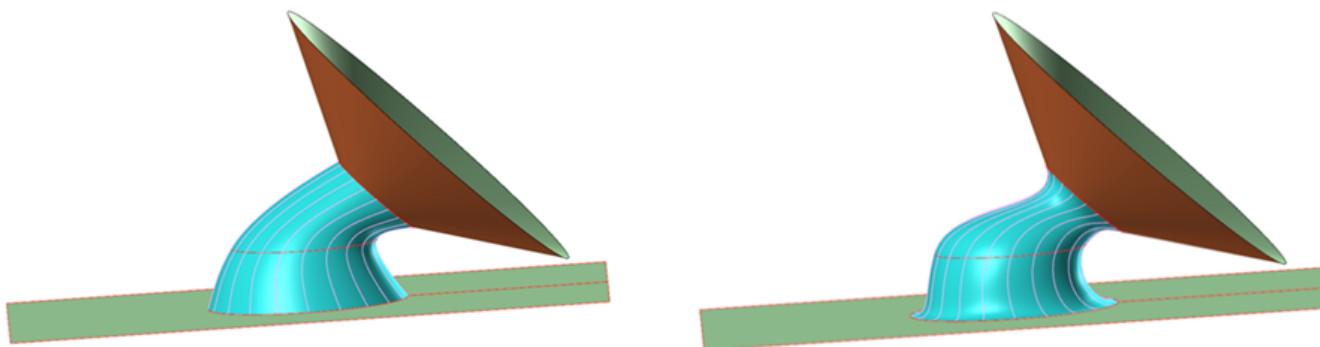


サーフェスの正接を最初と最後のチェーンに合わせる

新しいサーフェス接線一致機能は、既存の隣接するサーフェスでロフトサーフェスをスムーズにブレンドします。サーフェスルールド/ロフト機能パネルで[サーフェスの正接を最初と最後のチェーンに合わせる]オプションを選択することでこの動作を制御できます。



以下の画像では、左の例でオプションが非選択、右では選択されています。各画像のロフトサーフェスが、最初と最後のチェーンに隣接するサーフェスにどのように移行しているかに注目してください。

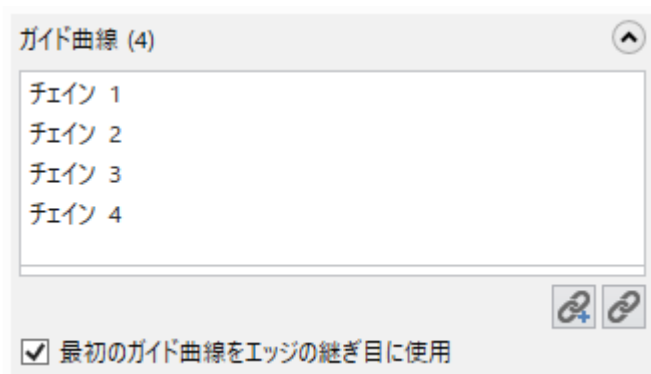


新しい[サーフェスの正接を最初と最後のチェーンに合わせる]オプションは、最初と最後のチェーンに隣接するサーフェスとロフトをブレンドします。これらの正接サーフェスは自動的に認識されるため、手動で選択する必要はありません。

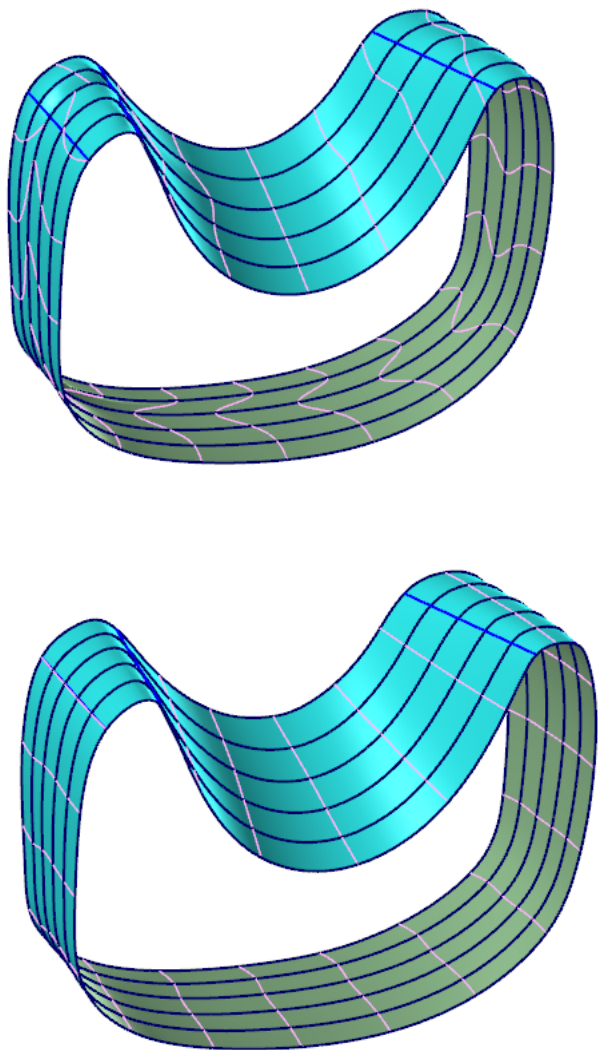
ガイド曲線

[ガイド曲線]は、選択された曲線のチェーンにわたってフローを同期させる新しい方法です。この機能により、曲線を希望のフローに同期させるためにチェーンのグループを手動で分割する必要がなくなります。[ガイド曲線]は簡単に作成でき、ロフトチェーンと交差する必要はありません。

サーフェスルールド/ロフトパネルのリストボックスを使って、ガイド曲線を追加、削除、再選択します。



下の画像は、ガイド曲線が追加され、選択される前と後のチェイングループです。



この機能は、曲線の端点が不均等な場合や凸凹している場合に特に役立ちます。そうすることで、フローが必要な方向に強制的に導かれます。サーフェスの形状は、追加されたガイド曲線に基づいて調整されません。フローを改善することによってサーフェス形状に影響を与えるだけです。

[ガイド 曲線] は [ダイナミックシンクロ] と連動しますが、オプションです。

ダイナミック シンクロ

ダイナミックシンクロオプションが再編成され、更新されました。

- これは、曲線を接続する際に最も効果的な機能ですのため、[等円弧長さ] がデフォルトとして追加されています。これは、曲線に沿って相対的に等しい円弧長さで点を間隔をあけて配置することで機能します。これにより、評価者レベルではスプライン曲線が等速曲線に変わります。
- 平面スライス は [平均] に取って代わり、閉チェーンでのロフトのみ適用されます。

ダイナミックシンクロは、ガイド曲線と相性が良く、滑らかなサーフェスのために、より優れた一貫した流れを作り出します。

ソリッド穴の強化

Mastercam 2026はソリッド穴作成のワークフローを再設計しました。この新しいデザインと後述する追加機能により、穴のコントロールとカスタマイズがより容易になりました。

以前のリリースでは、穴の作成は機能パネルの **ベーシック** タブにあるオプションに限られていました。

穴 ⌵ ✕

?

✓

✓

✕

ベーシック **アドバンス**

オペレーション ⌵

名前(N):

ターゲット(T): 🖱️

平面方位(L) ⌵

📐 🖱️ 📐 🔄 📐 ↔️

位置(O) (1) ⌵

🖱️ 🎯 ✕

テンプレート ⌵

穴スタイル ⌵

タイプ(Y):

📐

単純

▼

直径	10.0	▼ ▲

深さ ⌵

☒ 距離(D): ▼ ▲ 🖱️

ボトム角度(G): ▼ ▲

☐ すべてを通して突き通し(U)

☐ トップ エッジの処理(O) ⌵

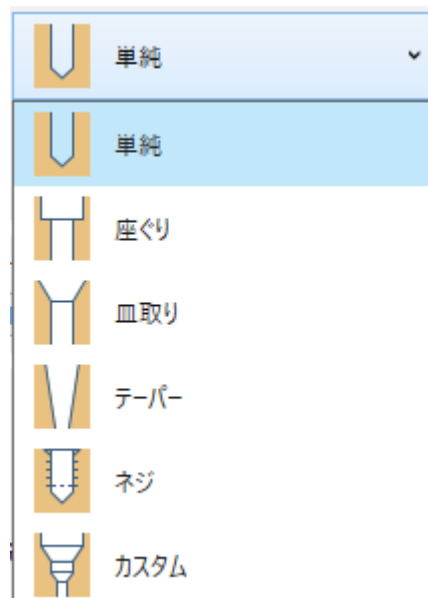
このリリースでは、[穴] 機能パネルは3つのタブで構成されています: **ジオメトリの選択**、**穴のスタイル**、**アドバンス**。これらのタブに搭載された新しい機能により、さまざまな穴のタイプを正確かつコントロールしながら設計することができます。



穴スタイル]タブで穴の設定を作成し、保存する

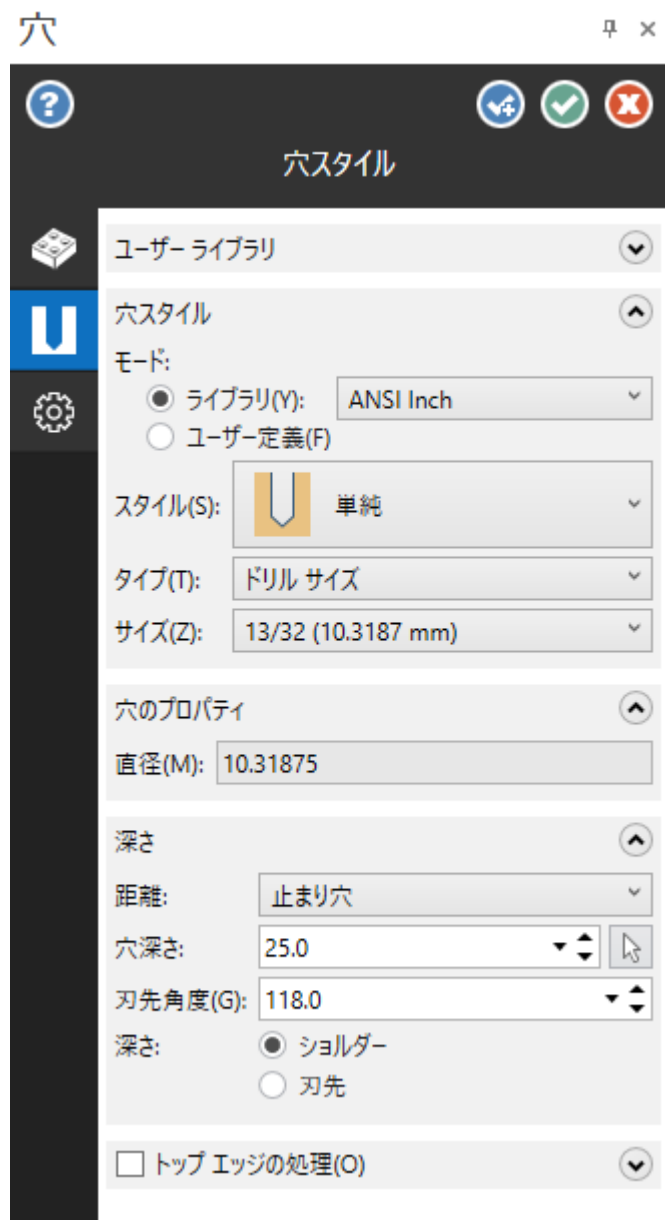
新しい[穴スタイル]タブには、穴を定義するのに役立つ様々なオプションがあります。これらには **スタイル**、**タイプ**、**穴のプロパティ**が含まれます。工業規格ライブラリから選択するか、**ユーザー定義** モードでカスタム定義穴を作成します。カスタム穴を定義したら、それを **ユーザーライブラリ** に保存して、将来使用することができます。

スタイルオプションには、**単純**、**座ぐり**、**皿取り**、**テーパー**、**ネジ**、**カスタム**があります。



これらの **スタイル** の選択とともに、**ライブラリモード** で作成した穴の **タイプ** と **サイズ** も定義できます。特定のオプションは、選択した穴 **スタイル** によって異なります。

ライブラリモード では、ほとんどの **穴のプロパティ** は読み取り専用フィールドです。**ユーザー定義** 穴は、**穴のプロパティ** セクションでより多くの調整とより大きなカスタマイズを可能にします。



ソリッドボディ、エッジ、フェースの選択

以前のバージョンの Mastercam では、ジオメトリを選択するために **選択バー** または **ソリッド選択** ウィンドウを使用することができました。これらの方法はしばしば相反し、選択書いてで問題を引き起こしていました。このリリースでは、ソリッド選択 ウィンドウを排除することで選択工程をストリームライン化しました。これで、ソリッド選択が必要な場合、選択バー がハイライトされ、選択を完了するよう促します。



この変更は、ソリッド面、エッジ、ボディを選択する際の操作性を著しく向上させるものです。ウィンドウを削除することで、複数の選択方法を提供することで発生する問題を解消し、よりスムーズで効率的なワークフローを実現します。

CAD ファイル サポート の更 新

Mastercam 2026 は多くのCADファイルトランスレータのアップデートを含んでいます。

サポートされているファイルフォーマットの完全なリストについては、[Mastercam Translators](#) ページを参照してください。

シミュレーションの機能強化

Mastercam シミュレーター機能の主な強化点は以下の通りです。

シミュレーション速度の微調整

シミュレーションの速度を迅速かつ正確に調整する必要があるユーザーは、シミュレーション速度のコントロールが強化されました。

速度を10%単位で調整するには、Mastercam シミュレーターの再生バーの **遅い** または **速い** ラベルをクリックするだけです。この機能強化により、シミュレーション速度をより直感的かつ効率的に調整できるようになりました。



現在のオペレーションにフォーカス

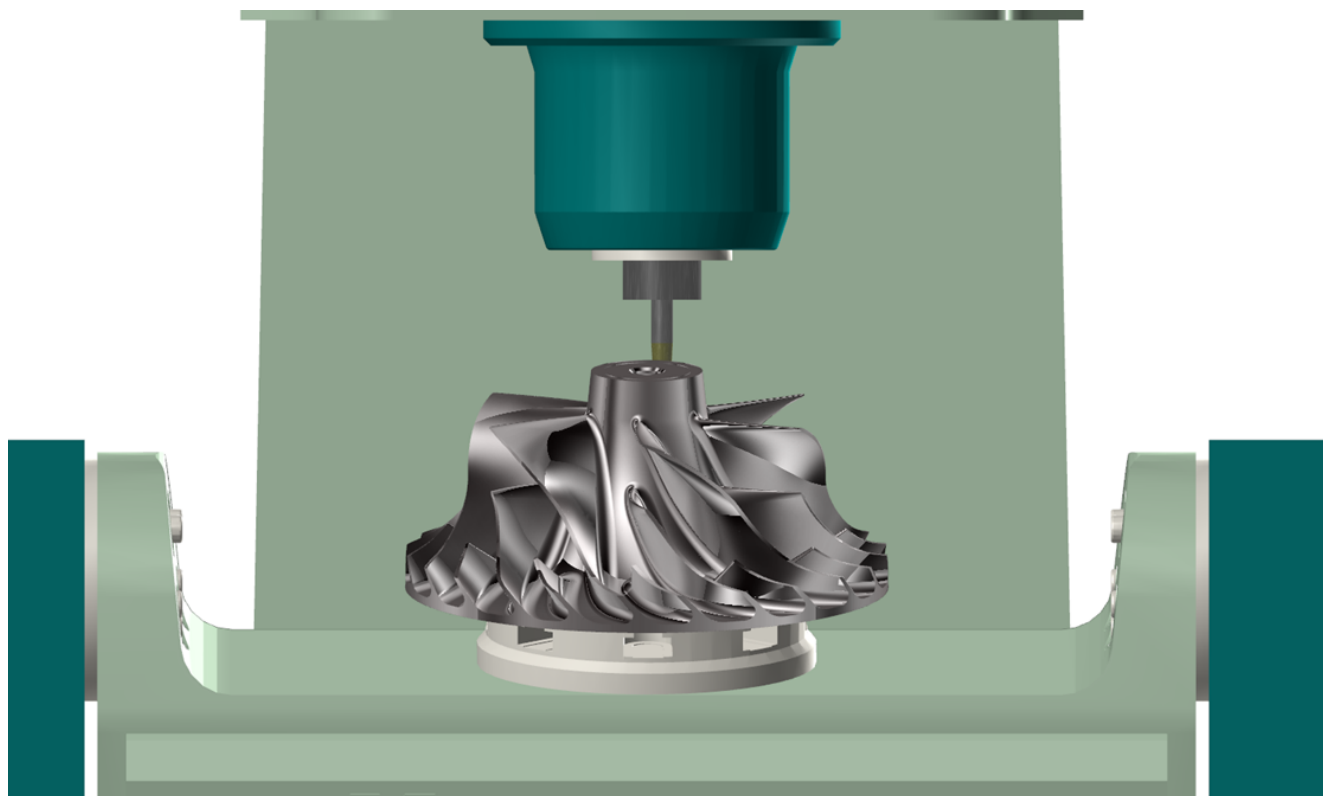
Mastercam シミュレーターの新しい **オペレーション情報** セクションにより、特定のオペレーションを簡単に分析できるようになりました。新しいセクションが **動作情報** ペインに追加されました。オペレーション番号、コメント、送り時間などの詳細情報が表示されます。

オペレーション情報 は、現在シミュレートされているオペレーションに関する情報のみを表示します。**ツールパス情報** セクションは、シミュレーションされたオペレーション一式のデータを提供します。

動作情報	
動作 ID	1 of 1527
経過時間	1.00s
切削中の時間	0.00s
マシン	5AxHeadHead
動作タイプ	輪郭 - 直線
工具番号	2 - 25 Chamfer Mill
工具方位	
工具刃先位置 (WCS)	
工具刃先位置 (T 平面)	
B 軸角度	
軸 値	X=32.432; Y=22.139; Z=301.813; C=0.000; B=0.000
オペレーション情報	
オペレーション名	バリ取り 3 軸
オペレーション番号	ID: 1 (1 / 1)
オペレーション コメント	
送り長さ	490.093
送り時間	3分 37.10秒
早送り長さ	2154.092
早送り時間	10.34s
ツールパス情報	
送り長さ	490.093
送り時間	3分 38.10秒
早送り長さ	2154.092
早送り時間	10.34s
長さ統計	2644.185
総時間	3分 48.44秒
最小/最大 X	-62.361 / 63.989
最小/最大 Y	-27.982 / 37.264
最小/最大 Z	-5.795 / 150.000

Mastercam シミュレーターに反射効果が追加

シミュレーションの写実性を高める新しいコントロールが Mastercam 2026 に追加されました。[材質テクスチャ]オプションは、Mill 加工、ワーク、および ワークピース オブジェクトに反射特性を適用することにより、シミュレーションを向上させます。この機能は、Mastercam シミュレーターのシミュレート モードでのみ使用できます。



このオプションを使うには：

1. [ファイル]メニューを選択し、[バックステージ]メニューから[オプション]を選択します。。
2. [グラフィック]タブをクリックします。
3. Mill 加工、ワーク、ワークピース セクションで、シミュレーションウィンドウに反射を表示するために、各セクションで **材質テクスチャ** オプションを選択します。

この機能では、macchine フォルダに材質イメージを追加し、選択したマシンの.xml ファイルで指定する必要があります。この処理の詳細については、ヘルプを参照してください。

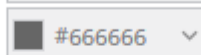
4. **テクスチャの反射率** の値を入力することで反射の強さを制御します。スライダーを使ってこの値を調整することもできます。

Mill 加工

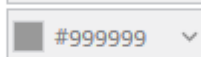
ホルダ色:



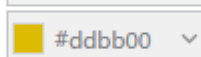
シャンク色:



ショルダー色:



刃長色:



不透明度:



テクスチャ反射率:

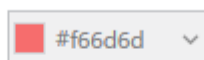


材質テクスチャ

☒ Mill 加工工具に材質テクスチャを表示

ワーク

ワーク色:



不透明度:



テクスチャ反射率:

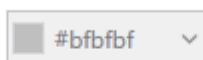


材質テクスチャ

☒ ワークに材質テクスチャを表示

ワークピース

ワークピース色:



不透明度:



テクスチャ反射率:



材質テクスチャ

☒ ワークピースに材質テクスチャを表示

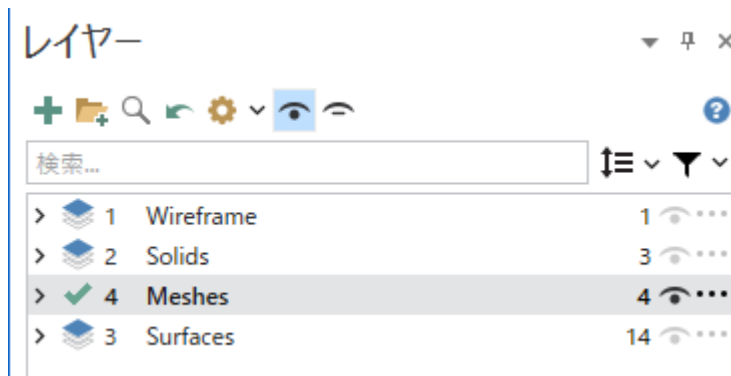
システム強化

以下に挙げるのは、グラフィック、平面、レイヤーを含む Mastercamのコアとなる機能に加えられた改良点です。

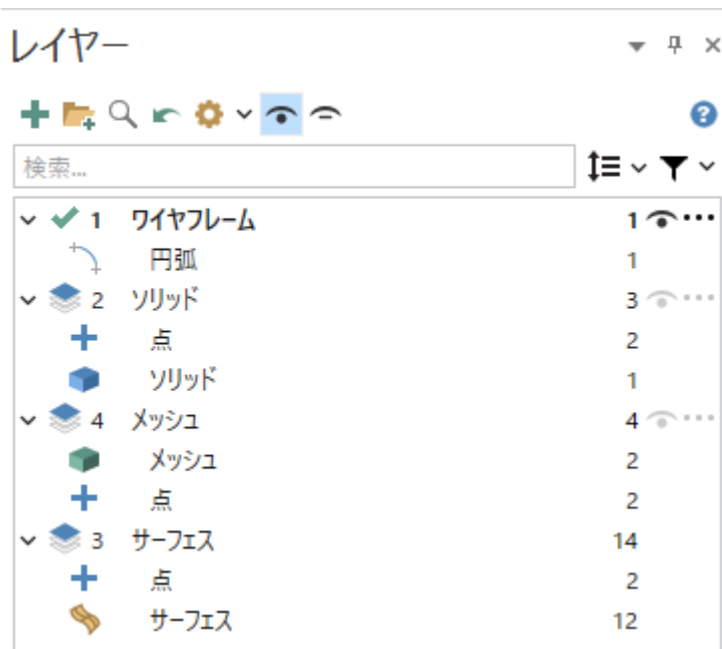
再設計されたレイヤーマネージャ

Mastercam 2026では、レイヤーマネージャのデザインが一新され、レイヤーがツリー構造になっています。新しいマネージャでは、以下のリストに示すような機能を実行できます。

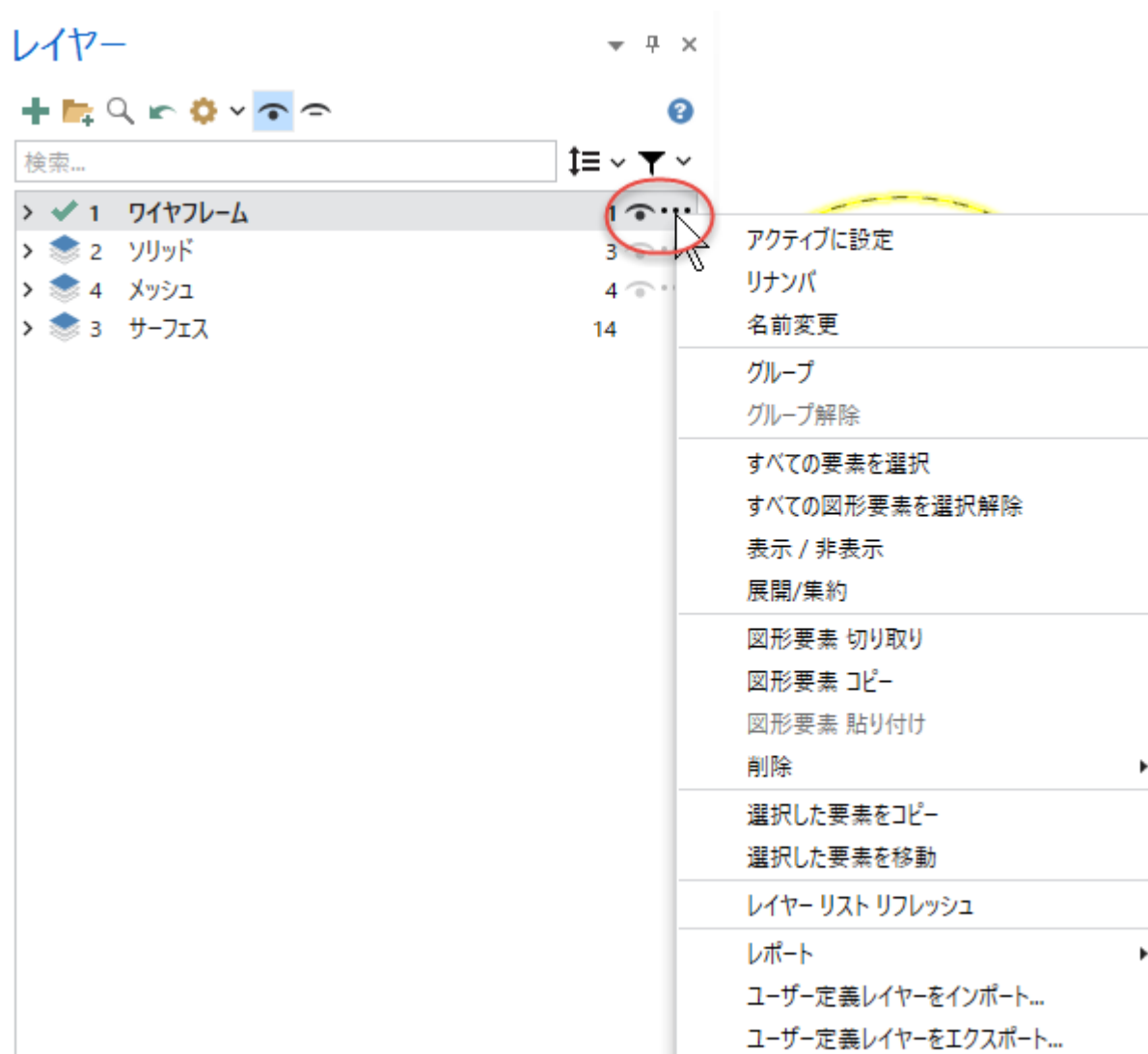
- グループの作成とネスト。
- ツリー内をドラッグ&ドロップ。
- ツリーを検索。
- グループごとにツリーをフィルタリング。
- グループを展開/集約して、整理。
- ジオメトリからレイヤーを検索。
- すべてのレイヤーのリセット。
- 表示オプションのカスタマイズ。
- すべてのレイヤーをオンまたはオフにする。



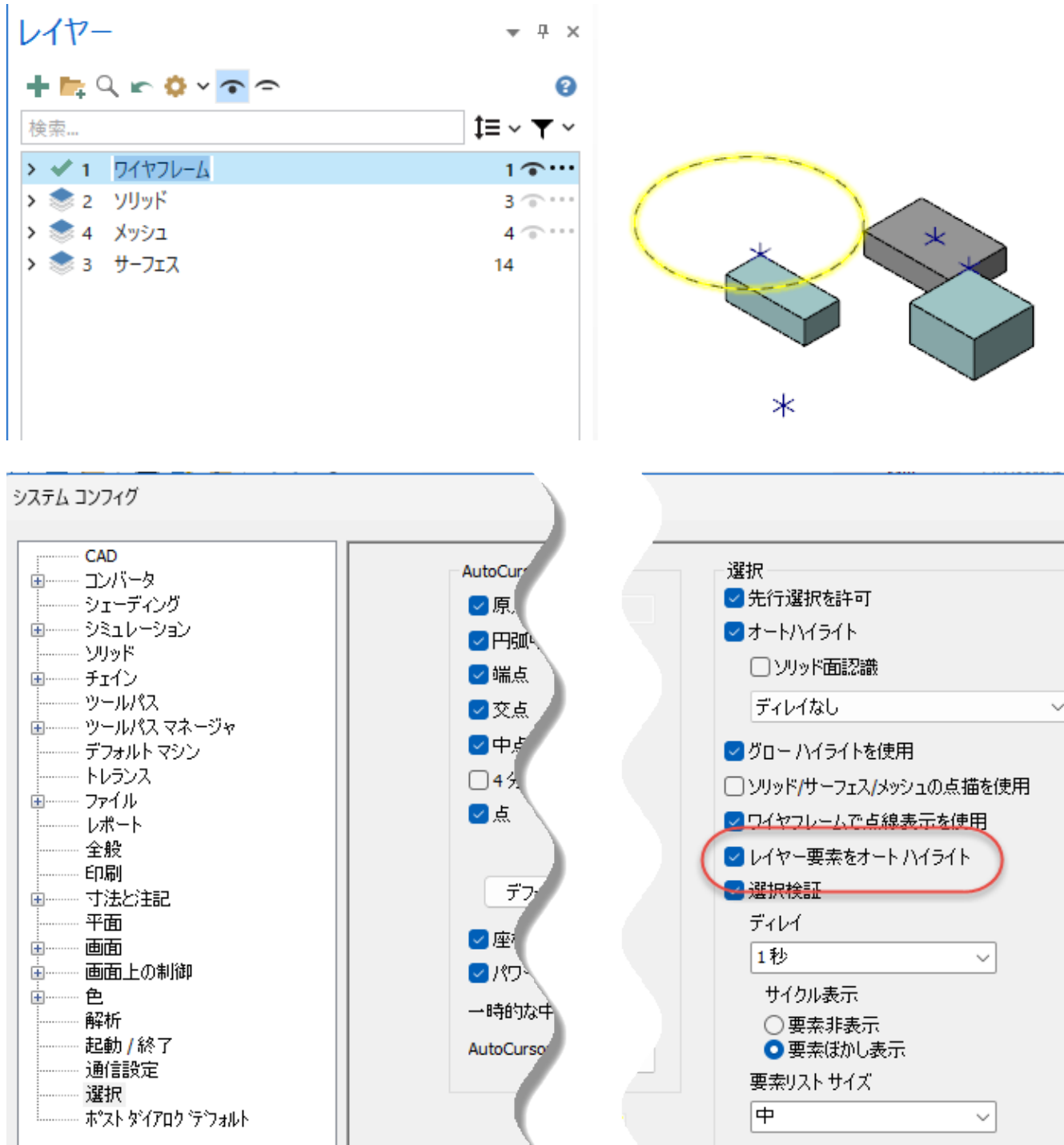
レイヤーマネージャのツリー構造では、レイヤー名の左にある矢印をクリックすることで、任意のレイヤーの要素を確認できます。次の画像は、要素を一覧するために開いているすべてのレイヤーを示しています。各要素ののカウントもリストに表示されます。



その他のアクションアイコンをクリックすると、下図のメニューが表示され、各レイヤーに固有の機能にアクセスできます。各レイヤー内の要素には、切り取り、コピー、削除などの典型的な編集機能のためのドロップダウンメニューも用意されています。各レイヤーには、レイヤー上の要素の数が表示され、レイヤーをオンまたはオフにするための「目」ボタンも表示されます。



レイヤーまたはレイヤーの要素のサマリーをクリックすると、Mastercamはグラフィック画面で関連するジオメトリをハイライトします。次の図は、**Wireframe** レイヤーが選択され、関連するワイヤフレームジオメトリがグラフィック画面でハイライトされていることを示しています。次の2番目の画像は、**システムコンフィグ** ダイアログボックスの**選択** ページを示しており、必要に応じて自動ハイライト機能を切り替えることができます。



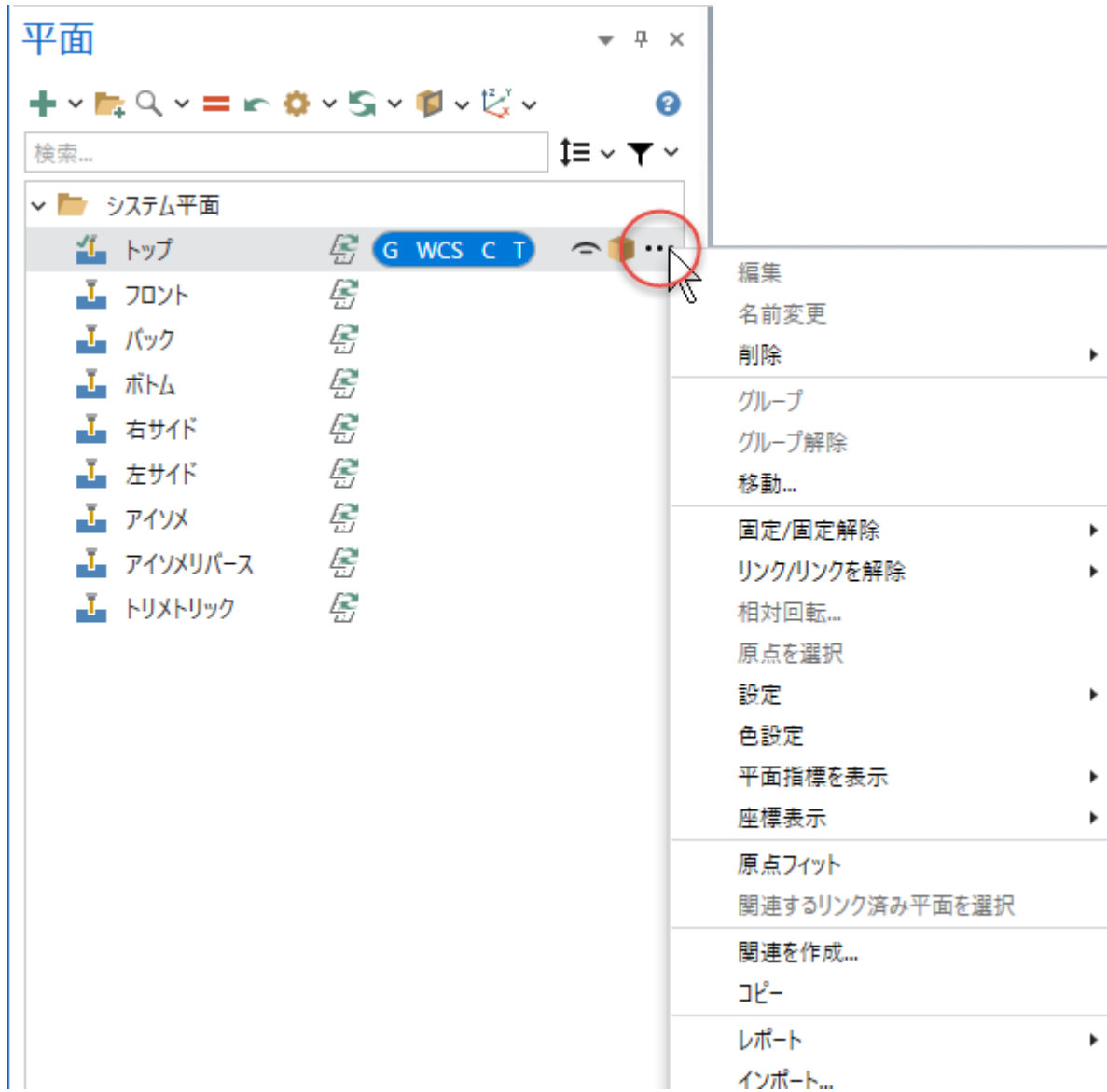
再設計された平面 マネージャ

Mastercam 2026では、平面 マネージャのデザインが一新され、平面がツリー構造になっています。新しいマネージャでは、以下のリストに示すような機能を実行できます。

- グループとネストされたグループを作成。
- ツリー内をドラッグ&ドロップ。
- ジオメトリまたはグラフィック画面の平面に基づいて平面を検索。
- ツリーを検索。
- グループごとにツリーをフィルタリング。
- グループを展開/集約して、整理。
- プロパティ表示のカスタマイズ。
- さまざまな基準で平面を並べ替え。
- 表示オプションのカスタマイズ。
- [追従]のルールを設定。
- 断面ビューの操作。
- 指標表示をカスタマイズ。

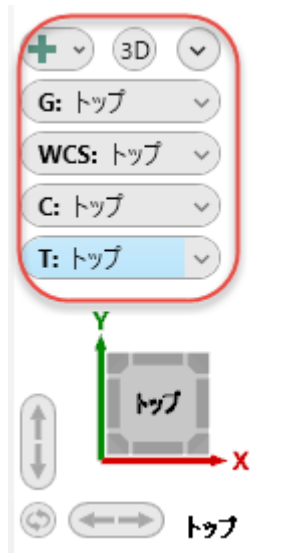
その他のアクション アイコンをクリックすると、下図のメニューが表示され、各平面に固有の機能にアクセスできます。このメニューは、平面を右クリックしても表示されます。リストにある各平面の機能は以下の通りです：

- 平面アイコン
- 平面名
- ワークオフセット番号(または自動オフセットのアイコン)
- 平面のタイプ(グラフィック、WCS、工具、または作業)
- 指標切替
- 断面表示インジケーター



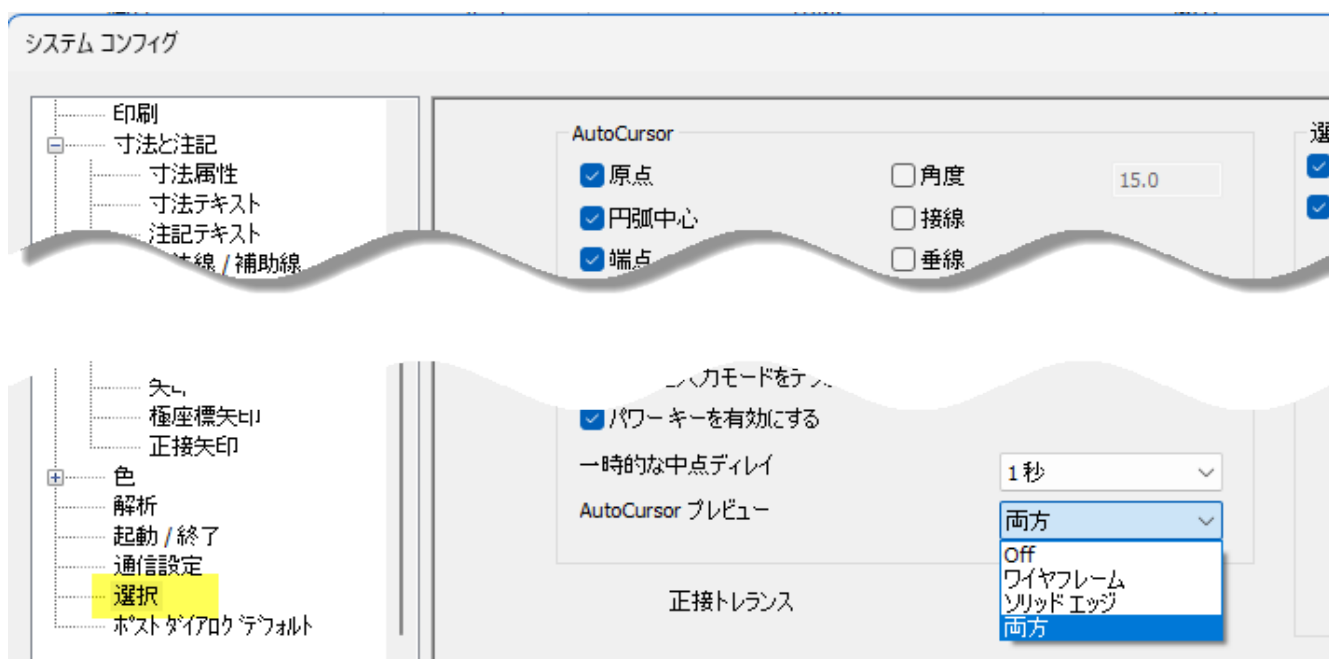
オーバーレイ制御による平面表示の制御

Mastercam 2026はグラフィック画面に平面オーバーレイ制御を追加しました。これらの制御により、平面 マネージャを開くことなく、平面を作成したり、WCS、作業平面、工具平面を変更することができます。また、2D/3D制御やグラフィックビューを変更することもできます。



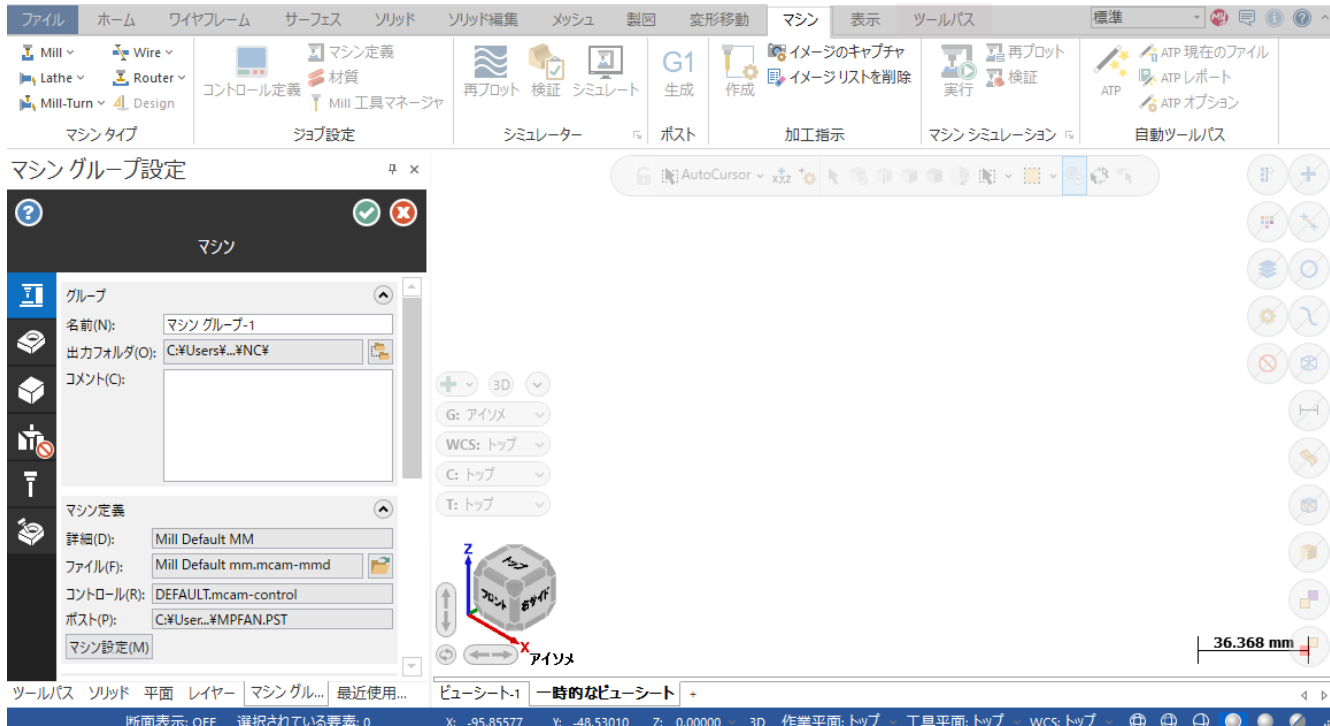
オートカーソルのプレビュー表示を制御する

Mastercamで、要素上にマウスを移動した時に表示される オートカーソル プレビューをカスタマイズできるようになりました。システムコンフィグダイアログボックスの **選択** ページで、ワイヤフレーム、ソリッドエッジ、またはその両方を示すオプションを選択します。プレビューカーソルをオフにすることもできます。



アクセスできない機能を無効にする

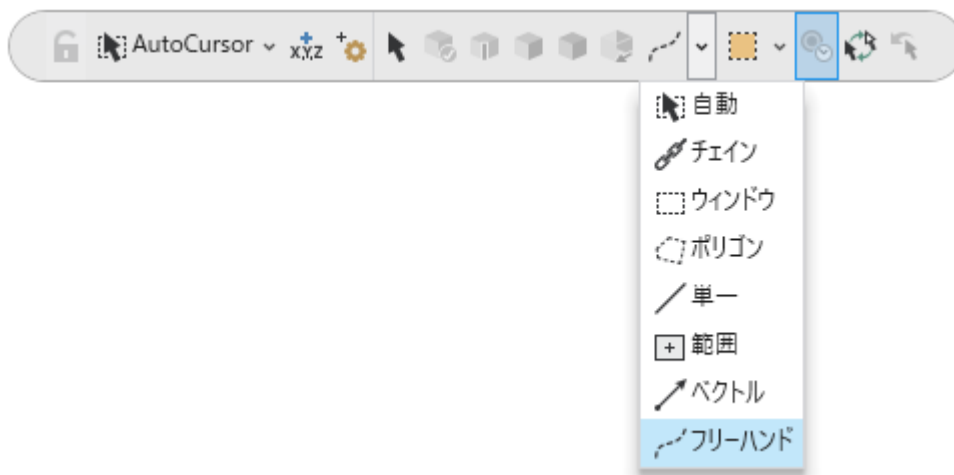
Mastercam 2026 は、他の機能で作業しているときにアクセスできない機能を無効にします。例えば、次の図は、**Mastercamマシングループ設定** パネル内 を示しており、メインの Mastercam リボンの多くの機能を無効にしています。



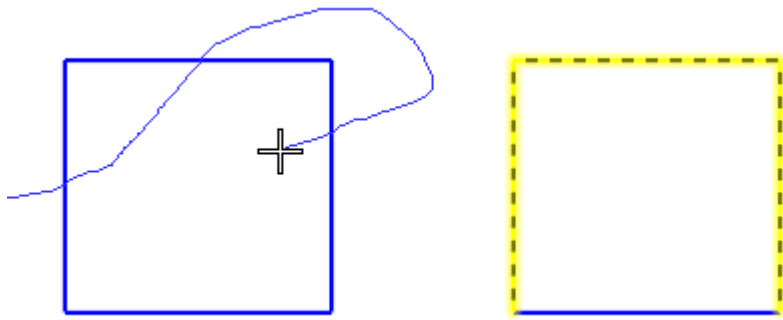
新しいフリーハンド選択

Mastercam 2026 はグラフィック画面の要素をフリーハンドで選択できます。この機能を使うには：

1. [フリーハンド] を[選択バー]から選択します。



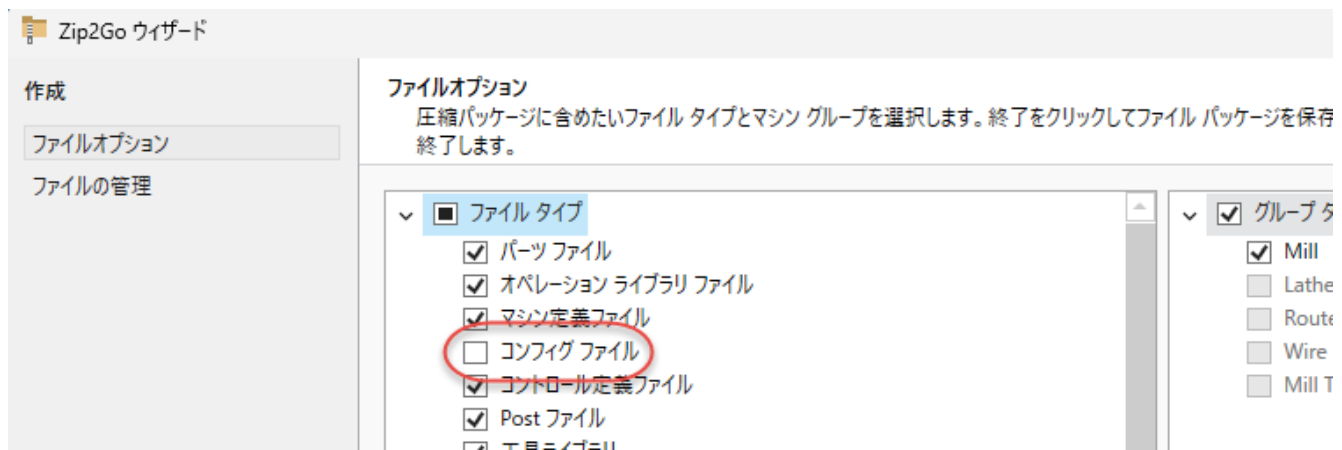
2. マウスボタンを押したまま、要素の上を描画して選択します。



3. クリックして終了します。

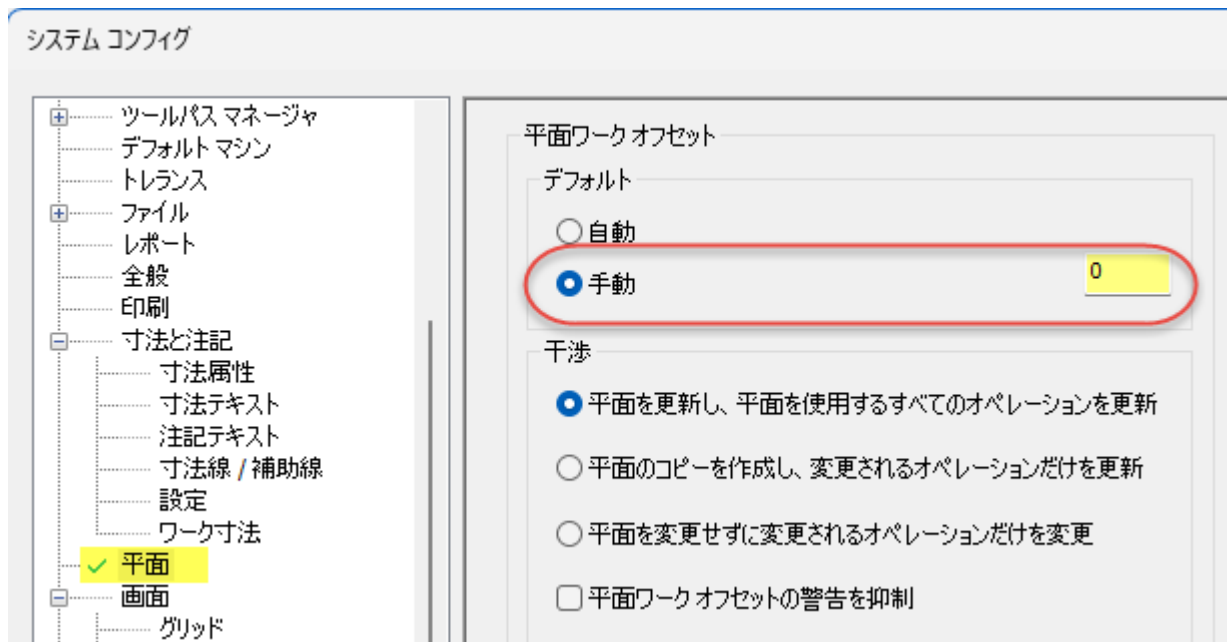
CONTENTファイルにコンフィグを含める

Mastercam は Zip2Go で MCAM-CONTENT ファイルにコンフィグファイルを含めるオプションを持つようになりました。以前のバージョンでは、Mastercamはコンフィグファイルを自動的に追加していました。これで、**コンフィグファイル**は**ファイルオプション**メニューのオプションになりました。デフォルトでは、このオプションは無効になっています。



デフォルトの平面ワークオフセットを設定

デフォルトの平面ワークオフセットを設定できるようになりました。これを行うには、**システムコンフィグ**ダイアログボックスの**平面**ページで、**平面ワークオフセット**の設定を**手動**に変更します。次に、**手動**ボタンの右にあるボックスにオフセットを入力します。新しいデフォルト オフセットは、新しく作成されたオペレーションにのみ適用されることに注意してください。



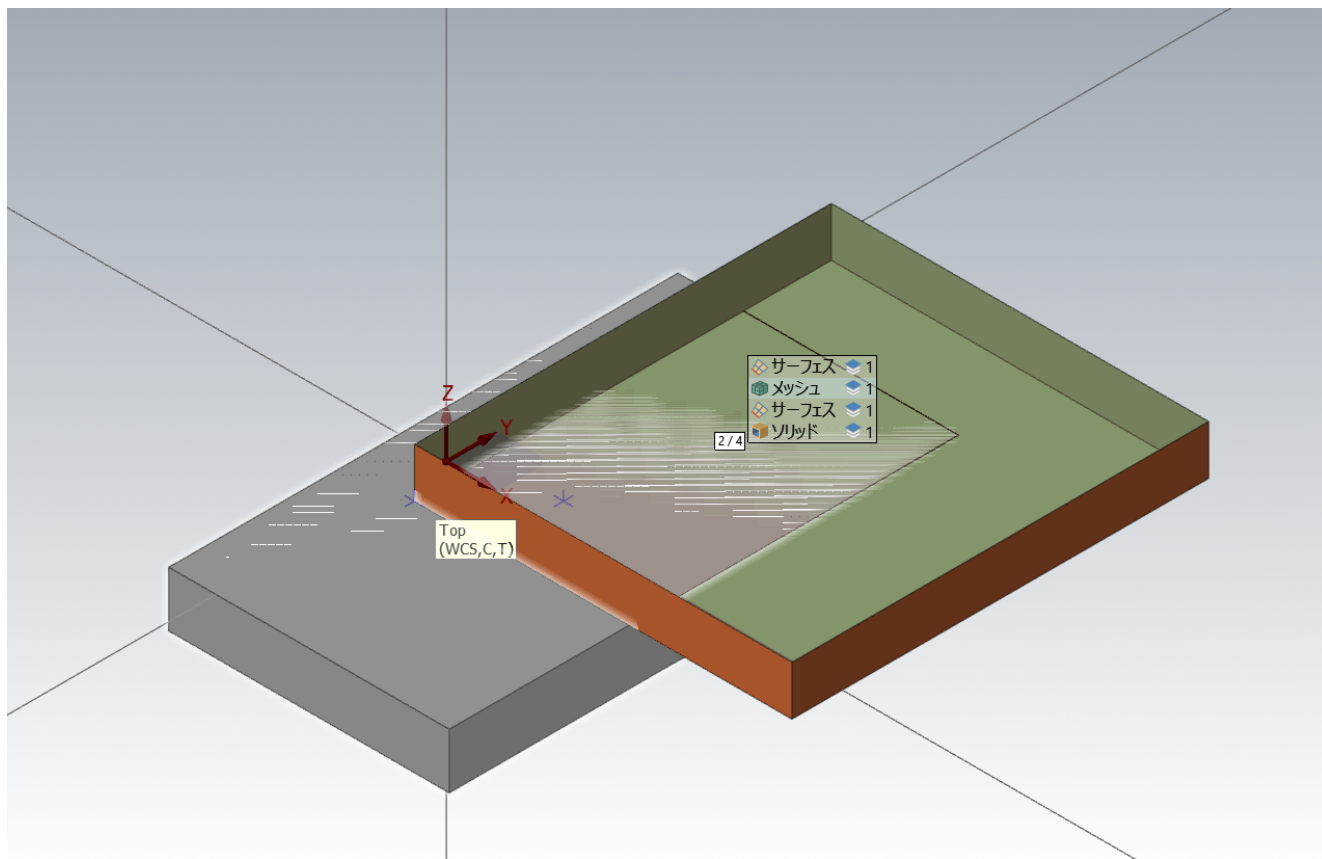
ジオメトリ選択検証

選択検証機能が更新され、ジオメトリの選択がより簡単で正確になりました。以前のバージョンと同様に、グラフィック画面のジオメトリの上にマウスカーソルを移動すると、カーソルが通過するジオメトリのタイプを示すようにカーソルが変化し、クリックするとそのジオメトリが選択されます。

Mastercam 2026では、ジオメトリにカーソルを合わせると、少し遅れてカーソルが変わり、選択できる数(非表示のジオメトリも含む)が表示されます。

- 左クリックでカーソル下にあるジオメトリを選択します。
- 右クリックすると、以下の画像のように選択可能なメニューが表示されます。

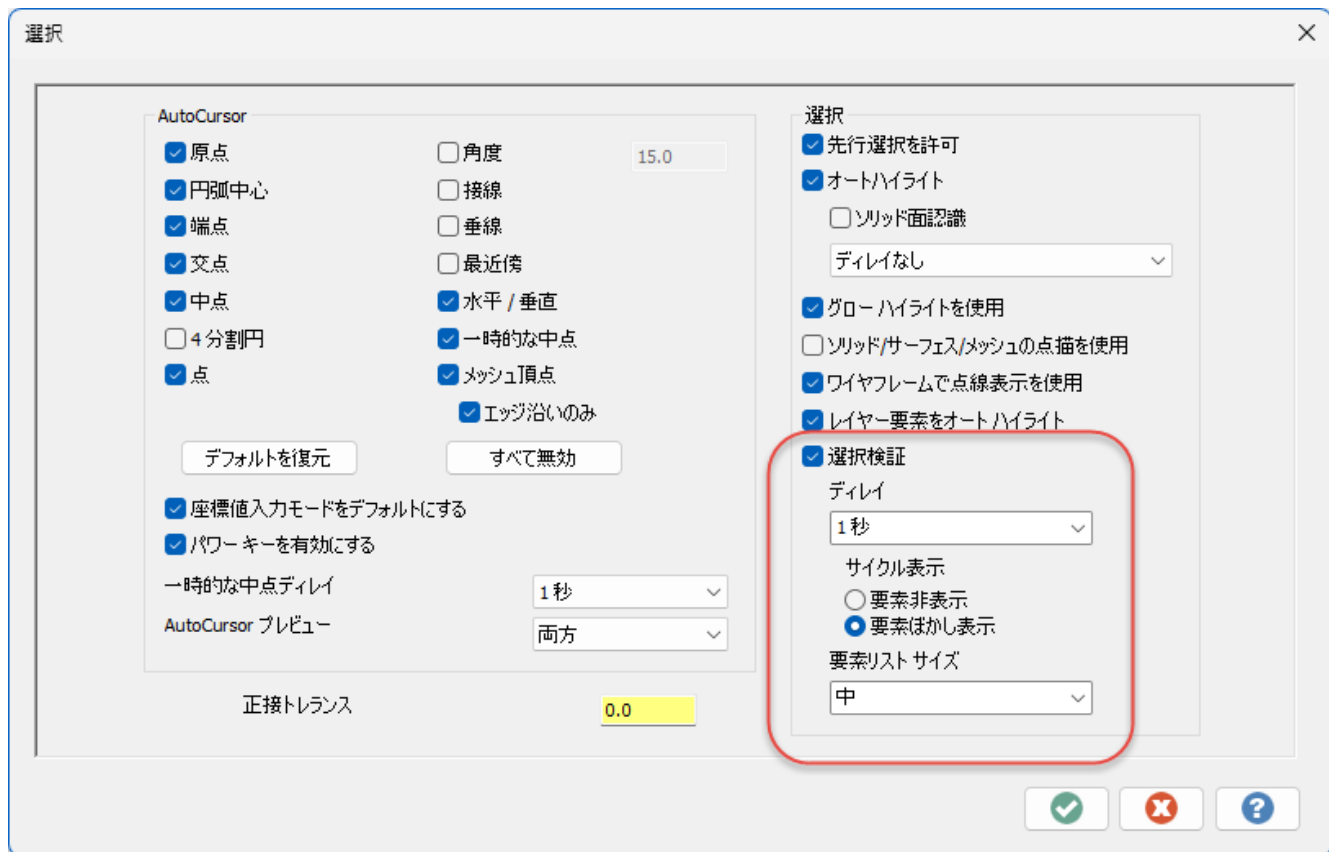
右クリックメニューから必要な要素を選択し、ダブルクリックして選択を確定します。マウスホイールをスクロールするか、右クリックするか、カーソルキーを使って選択肢を循環します。要素リストには、ジオメトリが表示されるレイヤーも表示されます。

**メモ:**

クイックマスクを使用して、選択検証でジオメトリリストに表示されるジオメトリのタイプを制限します。たとえば、サーフェスのみとメッシュのみのクイックマスクを選択すると、これらのタイプの要素のみがジオメトリリストに表示されます。

選択バーで **選択設定** を選択して選択機能をカスタマイズします。**選択** ダイアログボックスでは、遅延時間、要素の表示方法、メニューのサイズを変更できます。これらのカスタマイズは、**システムコンフィグ** ダイアログボックスの **選択** ページでも利用可能です。





マシン システムの強化

以下は、Mastercamのマシンシステムの強化点です。

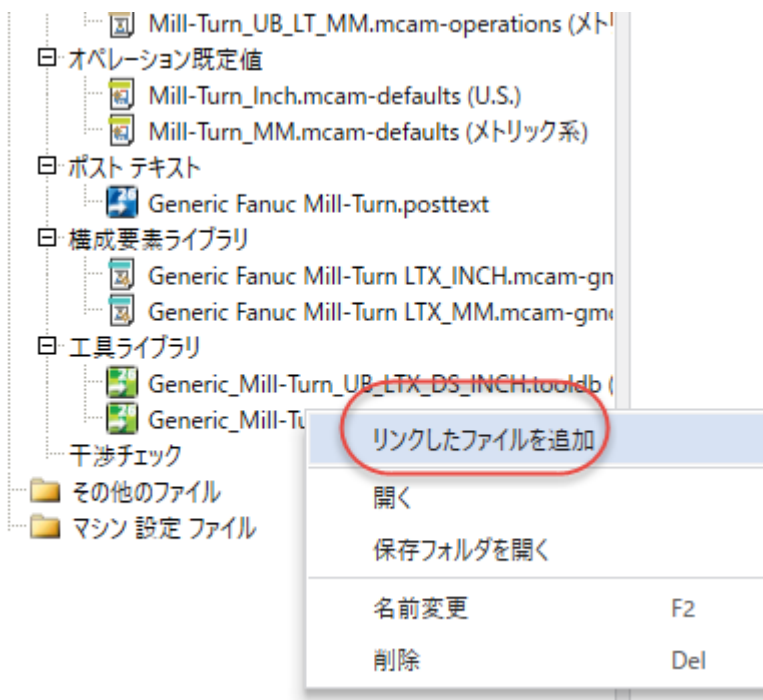
マシン エクスプローラから外部ファイルへのリンク

通常、マシン エクスプローラに一覧表示された個々のファイルはすべて .machine ファイルに並べられされ、すべて一緒に保存されます。しかし、工具ライブラリやデフォルトファイルなど、サーバーや主要なワークステーションに保存されているリソースを好んで使用するユーザーもいます。このような場合、Mastercam 2026では、ファイルそのものではなく、.machine ファイルに外部ファイルへのリンクを含めることができます。

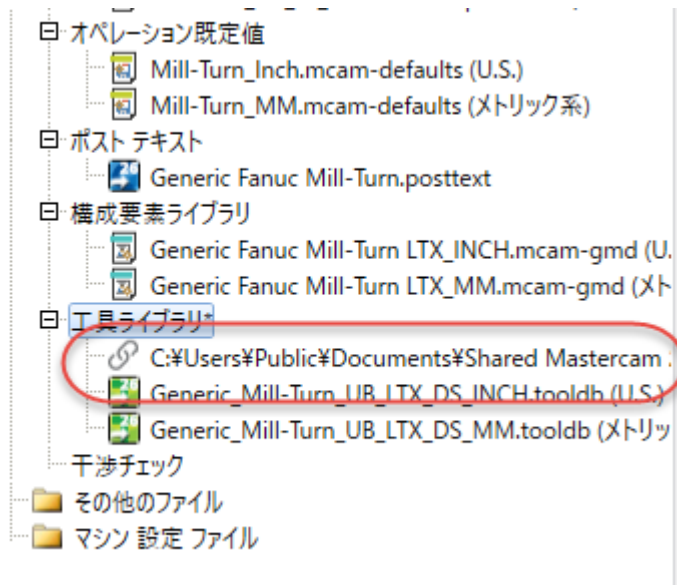
この機能は以下のファイルタイプに対応しています：

- 工具ライブラリ (*.tooldb)
- オペレーション ライブラリ (*.mcam-operations)
- 構成要素 ライブラリ (*.mcam-gmd)
- オペレーション デフォルト ファイル (*.mcam-defaults)

リンクを作成するには、置き換えたいファイルを右クリックし、**リンク ファイルを追加**を選択します。この例では、メートル系の工具ライブラリを置き換えています。



Mastercamは新しいファイルを選択するよう促します。Code Expertに戻ると、Mastercamは特別なアイコンでファイルを表示します。

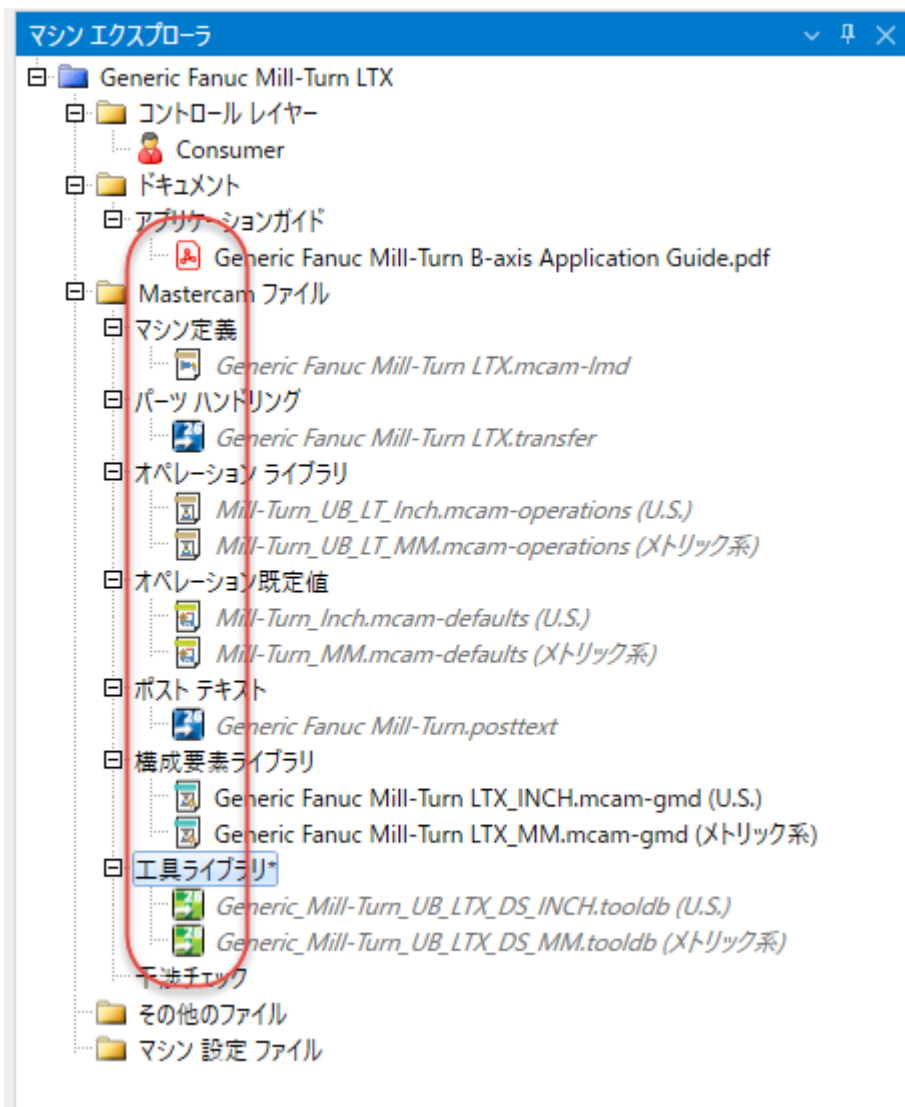


- U.S.(インチ)ファイルとメートルファイルは、それぞれ個別に置き換えることができます。
- **Consumer** ライセンスを持つユーザーは、通常は元のファイルを編集したり置き換えたりすることができなくても、ファイルへのリンクを追加することができます。

元のファイルは .machine ファイルに残ります。ユーザーが .machine ファイルを読み込み、Mastercam がリンクされたファイルを見つけられなかったり、アクセスできなかった場合、元のファイルが代替えとして使用されます。

Code Expertの Mastercam 固有のアイコン

Mastercam 2026のCode Expert は、マシン エクスプローラ インターフェースのアイコンを一新しました。以前のアイコンは一般的なもので、現代の標準に適合していませんでした。Code Expert は、PDF ファイルなどのファイルタイプに対して Windows 標準のアイコンを表示するようになりました。さらに、Mastercam固有のファイルタイプに対応した、わかりやすいアイコンが新たに作成されました。新しいアイコンは Code Expert でより直感的なエクスペリエンスを提供し、典型的な .machine ファイルに含まれる多くのファイルタイプを管理するのに役立ちます。



全般的な強化

以下は、Mastercamの一般的な強化点です。

Mastercam Art 販売終了

Mastercam Artを Mastercam 2026から削除しました。この製品は製造中止となり、現在はサポートされていません。

ご注意！アップデートがご利用可能かもしれません。
詳細については株式会社 ゼネテックのホームページを参
照してください。